注３ **大学番号：２０５**

**認可**

［平成２７年度設置］

計画の区分： 学部の設置

注１

# 京都学園大学　健康医療学部

注２

# 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人京都学園
平成３０年５月１日現在

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については，平成２９年３月３１日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

健康医療学部

＜看護学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４８

＜言語聴覚学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５８

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６２

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７０

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７２

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７５

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８９

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９７

＜健康スポーツ学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０７

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１１

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２２

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２４

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２７

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４３

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４９

# 1　調査対象大学等の概要等

## （1）設　置　者

学校法人京都学園

## （2）大　学　名

京都学園大学

## （3）大学の位置

〒６１５－８５７７
京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地
〒６２１－８５５５
京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## （4）管理運営組織

| 職　　名 | 設　　置　　時 | 変　更　状　況 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 理 事 長 | （タナベ　チカオ）<br>田　辺　親　男<br>（平成２４．１１．１７） | （ナガモリ　シゲノブ）<br>永　守　重　信<br>（平成３０．３．１７） | 任期満了に伴い変更（30） |
| 学　　長 | （ウチヤマ　タカオ）<br>内　山　隆　夫<br>（平成２２．４．１） | （シノハラ　ソウイチ）<br>篠　原　総　一<br>（平成２７．４．１） | 任期満了に伴い変更（27） |
| 学 部 長 | （ヒサ　ヤスオ）<br>久　　育　男<br>（平成２７．４．１） | | |
| 副学部長<br>（学科長等） | （ニシダ　ナオコ）<br>西　田　直　子<br>（平成２７．４．１） | | |
| 副学部長<br>（学科長等） | （ヤナギダ　ヤスヨシ）<br>柳　田　泰　義<br>（平成２７．４．１） | | |

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

## （５） 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

### （５）－① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称（学位） | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| | | 年 | 人 | 年次<br>人 | 人 | |
| 健康医療学部<br>看護学科<br><br>学士（看護学） | 保健衛生学関係<br>（看護学関係） | 4 | 80 | ― | 320 | |

（注）・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

### （５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分＼対象年度 | 平成２７年度 | | 平成２８年度 | | 平成２９年度 | | 平成３０年度 | | 平均入学定員超過率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 人<br>80<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 人 | 人<br>80<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 人 | 人<br>80<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 人 | 人<br>80<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 人 | 1.12倍 | |
| 志願者数 | 381<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 530<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 651<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 541<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | | |
| 受験者数 | 352<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 502<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 624<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 507<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | | |
| 合格者数 | 149<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 211<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 187<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 184<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | | |
| B 入学者数 | 93<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 102<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 86<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 80<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | | |
| 入学定員超過率 B／A | 1.16 | | 1.27 | | 1.07 | | 1.00 | | | |

（注）・ 数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・ （ ）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・ [ ]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

| 対象年度 / 学年 | 平成２７年度 | | 平成２８年度 | | 平成２９年度 | | 平成３０年度 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| １年次 | 93<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 102<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 86<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 80<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | |
| ２年次 | | | 89<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 102<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 85<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | |
| ３年次 | | | | | 83<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 112<br>[ － ]<br>(12) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 平成27年度入学生1名<br>3年次に他学部へ転籍。 |
| ４年次 | | | | | | | 68<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | |
| 計 | 93<br>[ － ]<br>( － ) | | 191<br>[ － ]<br>( － ) | | 271<br>[ － ]<br>( － ) | | 345<br>[ － ]<br>( 12 ) | | |

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 / 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | | 主な退学理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | 退学者数のうち留学生数 | |
| 平成27年度 | 93 人 | 3 人 | 平成27年度 | 3 人 | 人 | 経済的理由(2人)、就職(1人) |
| 平成28年度 | 191 人 | 4 人 | 平成27年度 | 4 人 | 人 | 経済的理由(1人)、進路変更(2人)、修学意欲喪失(1人) |
| | | | 平成28年度 | 人 | 人 | |
| 平成29年度 | 271 人 | 4 人 | 平成27年度 | 1 人 | 人 | 修学意欲喪失(1人) |
| | | | 平成28年度 | 2 人 | 人 | 学力不足(1人)、成績不振(1人) |
| | | | 平成29年度 | 1 人 | 人 | 体調不良(1人) |
| 平成30年度 | 345 人 | 0 人 | 平成27年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成28年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成29年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| 合　計 | 900 人 | 11 人 | | | | |

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{93} = \boxed{3.22}\ \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{191} = \boxed{2.09}\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{271} = \boxed{1.47}\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{345} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

## ２　授業科目の概要

＜健康医療学部　看護学科＞

（１）ー① 授業科目表

**【認可時又は届出時】**

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |

**【平成３０年度】**

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 6 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | 2 | | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | 2 | | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 2 | 4 | 7 | 1 | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 3 | 3 | 1 | | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインＡ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインＢ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ａ | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ｂ | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 薬理学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 疫学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 看護学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅰ（小児の健康と看護） | 1後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 成長発達Ⅱ（成人の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅲ（高齢者の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅳ（女性の生涯発達と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅴ（心の健康と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 日常生活基盤と看護 | 1後 | 2 | | | 1 | 2 | 1 | | | |
| | 公衆衛生看護学概論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 看護体験実習 | 1前 | 1 | | | 2 | 3 | 7 | 7 | 1 | |
| | 高齢者生活体験実習 | 2前 | 1 | | | 1 | | 2 | 2 | | |
| | 小児発達支援実習 | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 2 | **5** | **6** | 1 | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 3 | 3 | 1 | | |
| キャリア教養科目 | キャリアデザインＡ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインＢ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ａ | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ｂ | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 薬理学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 疫学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 看護学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅰ（小児の健康と看護） | 1後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 成長発達Ⅱ（成人の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅲ（高齢者の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅳ（女性の生涯発達と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅴ（心の健康と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 日常生活基盤と看護 | 1後 | 2 | | | 1 | **2** | 1 | | | **0** |
| | 公衆衛生看護学概論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 看護体験実習 | 1前 | 1 | | | 2 | **4** | **6** | 7 | 1 | **0** |
| | 高齢者生活体験実習 | 2前 | 1 | | | 1 | **1** | **3** | **3** | | |
| | 小児発達支援実習 | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 健康回復支援の基礎科目 | 疾病病態学と看護Ⅰ（成人慢性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | 5 |
| | 疾病病態学と看護Ⅱ（成人急性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅲ（老年期疾患） | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅳ（小児・母性） | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | ヘルスアセスメント | 2前 | 1 | | | | 2 | 1 | | | |
| | 看護過程 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | |
| | 看護感染管理技術論 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | 1 |
| | 看護栄養管理技術論 | 2前 | 1 | | | | 2 | 1 | | | 1 |
| | 看護治療支援技術論 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | 2 |
| | 実践基礎看護学実習 | 2後 | 2 | | | 1 | 3 | 6 | 7 | 5 | |
| | 看護倫理 | 4後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| 療養生活支援科目 | 慢性期療養支援演習 | 3前 | 2 | | | | | 1 | | | 1 |
| | 急性期療養支援演習 | 3後 | 2 | | | 2 | 1 | | 1 | | |
| | 家族看護 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | がん看護 | 2後 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |
| | 医療機器論 | 3前 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 急性期療養支援実習 | 4前 | 3 | | | 2 | | | 2 | 2 | |
| | セルフケア支援実習 | 3後 | 3 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| | 高齢者看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高齢者看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| | 高齢者看護学実習 | 3後 | 3 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | |
| | 精神看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | | 2 | | | |
| 療養生活支援科目 | 精神看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 2 | | | |
| | 精神看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | | 2 | | | |
| | 小児看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | 1 | 1 | | | |
| | 小児看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 障がい児看護演習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 小児看護学実習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 母性看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 母性看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| | 母性看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| 看護の発展科目 | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 2 |
| | 看護研究 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 看護研究演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護研究演習Ⅱ | 4後 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護マネジメント論 | 4後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 国際看護論 | 4後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 看護教育論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 災害看護論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 先端医療論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ａ | 4前 | 2 | | | 4 | 4 | 6 | 1 | | |
| | キャリアサポート実践講座Ｂ | 4後 | 2 | | | 6 | 4 | 4 | 1 | | |
| | 看護統合実習 | 4前 | 2 | | | 7 | 4 | 4 | 4 | 5 | |
| コミュニティーケア科目 | 在宅看護概論 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論演習 | 3後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 在宅看護学実習 | 4前 | 2 | | | 1 | | | 1 | 1 | |
| | 学校保健 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 産業保健 | 2後 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 公衆衛生看護管理論 | 2後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 公衆衛生看護活動論 | 2後 | | 2 | | | | 2 | | | |
| | 公衆衛生看護活動展開論 | 3前 | | 2 | | | 1 | 2 | | | |
| | 保健医療福祉行政論 | 3前 | | 2 | | | | 2 | | | 1 |
| | 産業保健・学校保健実習 | 4前 | | 2 | | | 1 | 2 | | 1 | |
| | 公衆衛生看護活動展開実習 | 4前 | | 3 | | | 1 | 2 | | 1 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 健康回復支援の基礎科目 | 疾病病態学と看護Ⅰ（成人慢性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | 5 |
| | 疾病病態学と看護Ⅱ（成人急性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅲ（老年期疾患） | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅳ（小児・母性） | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | ヘルスアセスメント | 2前 | 1 | | | | **2** | 1 | | | **0** |
| | 看護過程 | 2後 | 1 | | | | **2** | 1 | | | **0** |
| | 看護感染管理技術論 | 2後 | 1 | | | | **2** | 1 | | | **1** |
| | 看護栄養管理技術論 | 2前 | 1 | | | | **2** | 1 | | | **1** |
| | 看護治療支援技術論 | 2後 | 1 | | | | **2** | 1 | | | **2** |
| | 実践基礎看護学実習 | 2後 | 2 | | | 1 | **4** | **5** | 7 | 5 | **0** |
| | 看護倫理 | 4後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| 療養生活支援科目 | 慢性期療養支援演習 | 3前 | 2 | | | | | 1 | | | **2** |
| | 急性期療養支援演習 | 3後 | 2 | | | 2 | 1 | | 1 | | |
| | 家族看護 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | がん看護 | 2後 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |
| | 医療機器論 | 3前 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 急性期療養支援実習 | 4前 | 3 | | | 2 | **1** | | 2 | 2 | |
| | セルフケア支援実習 | 3後 | 3 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| | 高齢者看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高齢者看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| | 高齢者看護学実習 | 3後 | 3 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | |
| | 精神看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | **1** | **1** | | | |
| 療養生活支援科目 | 精神看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | **1** | **1** | | | |
| | 精神看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | **1** | **1** | | | |
| | 小児看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | 1 | 1 | | | |
| | 小児看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 障がい児看護演習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 小児看護学実習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 母性看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 母性看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| | 母性看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| 看護の発展科目 | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 2 |
| | 看護研究 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 看護研究演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護研究演習Ⅱ | 4後 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護マネジメント論 | 4後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 国際看護論 | 4後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 看護教育論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 災害看護論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 先端医療論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ａ | 4前 | 2 | | | 4 | **5** | **6** | 1 | | |
| | キャリアサポート実践講座Ｂ | 4後 | 2 | | | 6 | **5** | **3** | 1 | | |
| | 看護統合実習 | 4前 | 2 | | | 7 | 4 | **5** | **6** | 5 | |
| コミュニティーケア科目 | 在宅看護概論 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論演習 | 3後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 在宅看護学実習 | 4前 | 2 | | | 1 | | | 1 | 1 | |
| | 学校保健 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 産業保健 | 2後 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 公衆衛生看護管理論 | 2後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 公衆衛生看護活動論 | 2後 | | 2 | | | | 2 | | | |
| | 公衆衛生看護活動展開論 | 3前 | | 2 | | | 1 | 2 | | | |
| | 保健医療福祉行政論 | 3前 | | 2 | | | | 2 | | | 1 |
| | 産業保健・学校保健実習 | 4前 | | 2 | | | 1 | 2 | | 1 | |
| | 公衆衛生看護活動展開実習 | 4前 | | 3 | | | 1 | 2 | | 1 | |

【平成２７年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 5 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 2 | 4 | 7 | 1 | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 3 | 3 | 1 | | |

【平成２８年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 5 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | 2 | | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | 2 | | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 2 | 4 | 7 | 1 | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 3 | 3 | 1 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインA | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインB | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学A | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 薬理学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 疫学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 看護学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅰ（小児の健康と看護） | 1後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 成長発達Ⅱ（成人の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅲ（高齢者の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅳ（女性の生涯発達と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅴ（心の健康と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 日常生活基盤と看護 | 1後 | 2 | | | 1 | 2 | 1 | | | |
| | 公衆衛生看護学概論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 看護体験実習 | 1前 | 1 | | | 2 | 3 | 7 | 7 | 1 | |
| | 高齢者生活体験実習 | 2前 | 1 | | | 1 | | 2 | 2 | | |
| | 小児発達支援実習 | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| 健康回復支援の基礎科目 | 疾病病態学と看護Ⅰ（成人慢性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | 5 |
| | 疾病病態学と看護Ⅱ（成人急性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅲ（老年期疾患） | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅳ（小児・母性） | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | ヘルスアセスメント | 2前 | 1 | | | | 2 | 1 | | | |
| | 看護過程 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | |
| | 看護感染管理技術論 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | 1 |
| | 看護栄養管理技術論 | 2前 | 1 | | | | 2 | 1 | | | 1 |
| | 看護治療支援技術論 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | 2 |
| | 実践基礎看護学実習 | 2後 | 2 | | | 1 | 3 | 6 | 7 | 5 | |
| | 看護倫理 | 4後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインA | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインB | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学A | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 薬理学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 疫学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 看護学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅰ（小児の健康と看護） | 1後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 成長発達Ⅱ（成人の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅲ（高齢者の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅳ（女性の生涯発達と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅴ（心の健康と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 日常生活基盤と看護 | 1後 | 2 | | | 1 | 2 | 1 | | | |
| | 公衆衛生看護学概論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 看護体験実習 | 1前 | 1 | | | 2 | 3 | 7 | 7 | 1 | |
| | 高齢者生活体験実習 | 2前 | 1 | | | 1 | | 2 | 2 | | |
| | 小児発達支援実習 | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| 健康回復支援の基礎科目 | 疾病病態学と看護Ⅰ（成人慢性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | 5 |
| | 疾病病態学と看護Ⅱ（成人急性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅲ（老年期疾患） | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅳ（小児・母性） | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | ヘルスアセスメント | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 1 |
| | 看護過程 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | |
| | 看護感染管理技術論 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | 1 |
| | 看護栄養管理技術論 | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 2 |
| | 看護治療支援技術論 | 2後 | 1 | | | | 2 | 1 | | | 2 |
| | 実践基礎看護学実習 | 2後 | 2 | | | 1 | 3 | 6 | 7 | 5 | |
| | 看護倫理 | 4後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 療養生活支援科目 | 慢性期療養支援演習 | 3前 | 2 | | | | | 1 | | | 1 |
| | 急性期療養支援演習 | 3後 | 2 | | | 2 | 1 | | 1 | | |
| | 家族看護 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | がん看護 | 2後 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |
| | 医療機器論 | 3前 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 急性期療養支援実習 | 4前 | 3 | | | 2 | | | 2 | 2 | |
| | セルフケア支援実習 | 3後 | 3 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| | 高齢者看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高齢者看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| | 高齢者看護学実習 | 3後 | 3 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | |
| | 精神看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | | 2 | | | |
| 療養生活支援科目 | 精神看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 2 | | | |
| | 精神看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | | 2 | | | |
| | 小児看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | 1 | 1 | | | |
| | 小児看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 障がい児看護演習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 小児看護学実習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 母性看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 母性看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| | 母性看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| 看護の発展科目 | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 2 |
| | 看護研究 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 看護研究演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護研究演習Ⅱ | 4後 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護マネジメント論 | 4後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 国際看護論 | 4後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 看護教育論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 災害看護論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 先端医療論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | キャリアサポート実践講座A | 4前 | 2 | | | 4 | 4 | 6 | 1 | | |
| | キャリアサポート実践講座B | 4後 | 2 | | | 6 | 4 | 4 | 1 | | |
| | 看護統合実習 | 4前 | 2 | | | 7 | 4 | 4 | 4 | 5 | |
| コミュニティーケア科目 | 在宅看護概論 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論演習 | 3後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 在宅看護学実習 | 4前 | 2 | | | 1 | | | 1 | 1 | |
| | 学校保健 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 産業保健 | 2後 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 公衆衛生看護管理論 | 2後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 公衆衛生看護活動論 | 2後 | | 2 | | | | 2 | | | |
| | 公衆衛生看護活動展開論 | 3前 | | 2 | | | 1 | 2 | | | |
| | 保健医療福祉行政論 | 3前 | | 2 | | | | 2 | | | 1 |
| | 産業保健・学校保健実習 | 4前 | | 2 | | | 1 | 2 | | 1 | |
| | 公衆衛生看護活動展開実習 | 4前 | | 3 | | | 1 | 2 | | 1 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 療養生活支援科目 | 慢性期療養支援演習 | 3前 | 2 | | | | | 1 | | | 1 |
| | 急性期療養支援演習 | 3後 | 2 | | | 2 | 1 | | 1 | | |
| | 家族看護 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | がん看護 | 2後 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |
| | 医療機器論 | 3前 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 急性期療養支援実習 | 4前 | 3 | | | 2 | | | 2 | 2 | |
| | セルフケア支援実習 | 3後 | 3 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| | 高齢者看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高齢者看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| | 高齢者看護学実習 | 3後 | 3 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | |
| | 精神看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | | 2 | | | |
| 療養生活支援科目 | 精神看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 2 | | | |
| | 精神看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | | 2 | | | |
| | 小児看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | 1 | 1 | | | |
| | 小児看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 障がい児看護演習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 小児看護学実習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 母性看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 母性看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| | 母性看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| 看護の発展科目 | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 2 |
| | 看護研究 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 看護研究演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護研究演習Ⅱ | 4後 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護マネジメント論 | 4後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 国際看護論 | 4後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 看護教育論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 災害看護論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 先端医療論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | キャリアサポート実践講座A | 4前 | 2 | | | 4 | 4 | 6 | 1 | | |
| | キャリアサポート実践講座B | 4後 | 2 | | | 6 | 4 | 4 | 1 | | |
| | 看護統合実習 | 4前 | 2 | | | 7 | 4 | 4 | 4 | 5 | |
| コミュニティーケア科目 | 在宅看護概論 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論演習 | 3後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 在宅看護学実習 | 4前 | 2 | | | 1 | | | 1 | 1 | |
| | 学校保健 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 産業保健 | 2後 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 公衆衛生看護管理論 | 2後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 公衆衛生看護活動論 | 2後 | | 2 | | | | 2 | | | |
| | 公衆衛生看護活動展開論 | 3前 | | 2 | | | 1 | 2 | | | |
| | 保健医療福祉行政論 | 3前 | | 2 | | | | 2 | | | 1 |
| | 産業保健・学校保健実習 | 4前 | | 2 | | | 1 | 2 | | 1 | |
| | 公衆衛生看護活動展開実習 | 4前 | | 3 | | | 1 | 2 | | 1 | |

【平成２９年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 6 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | 1 | | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | 2 | | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | 2 | | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミA | 1前 | 2 | | | 2 | 5 | 6 | 1 | | |
| | スタートアップゼミB | 1後 | | 2 | | 4 | 3 | 3 | 1 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインＡ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインＢ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ａ | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ｂ | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 薬理学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 疫学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 看護学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅰ（小児の健康と看護） | 1後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 成長発達Ⅱ（成人の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅲ（高齢者の健康と看護） | 1後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅳ（女性の生涯発達と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 成長発達Ⅴ（心の健康と看護） | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 日常生活基盤と看護 | 1後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| | 公衆衛生看護学概論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 看護体験実習 | 1前 | 1 | | | 2 | 4 | 6 | 7 | 1 | 1 |
| | 高齢者生活体験実習 | 2前 | 1 | | | 1 | 1 | 3 | 3 | | |
| | 小児発達支援実習 | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| 健康回復支援の基礎科目 | 疾病病態学と看護Ⅰ（成人慢性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | 5 |
| | 疾病病態学と看護Ⅱ（成人急性期疾患） | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅲ（老年期疾患） | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | 4 |
| | 疾病病態学と看護Ⅳ（小児・母性） | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | ヘルスアセスメント | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 1 |
| | 看護過程 | 2後 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 1 |
| | 看護感染管理技術論 | 2後 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 2 |
| | 看護栄養管理技術論 | 2前 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 2 |
| | 看護治療支援技術論 | 2後 | 1 | | | | 1 | 1 | | | 3 |
| | 実践基礎看護学実習 | 2後 | 2 | | | 1 | 3 | 5 | 7 | 5 | 1 |
| | 看護倫理 | 4後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 療養生活支援科目 | 慢性期療養支援演習 | 3前 | 2 | | | | | 1 | | | 2 |
| | 急性期療養支援演習 | 3後 | 2 | | | 2 | 1 | | 1 | | |
| | 家族看護 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | がん看護 | 2後 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |
| | 医療機器論 | 3前 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 急性期療養支援実習 | 4前 | 3 | | | 2 | | | 2 | 2 | |
| | セルフケア支援実習 | 3後 | 3 | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| | 高齢者看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高齢者看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| | 高齢者看護学実習 | 3後 | 3 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | |
| | 精神看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | 1 | 1 | | | |
| 療養生活支援科目 | 精神看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 精神看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 小児看護学援助論 | 2前 | 2 | | | | 1 | 1 | | | |
| | 小児看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 障がい児看護演習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 小児看護学実習 | 3後 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 母性看護学援助論 | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 母性看護学援助論演習 | 3前 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| | 母性看護学実習 | 3後 | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | | |
| 看護の発展科目 | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 2 |
| | 看護研究 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 看護研究演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護研究演習Ⅱ | 4後 | 1 | | | 8 | 5 | 8 | 2 | | |
| | 看護マネジメント論 | 4後 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 国際看護論 | 4後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 看護教育論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 災害看護論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 先端医療論 | 4後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | キャリアサポート実践講座A | 4前 | 2 | | | 4 | 5 | 5 | 1 | | |
| | キャリアサポート実践講座B | 4後 | 2 | | | 6 | 5 | 3 | 1 | | |
| | 看護統合実習 | 4前 | 2 | | | 7 | 4 | 4 | 4 | 5 | |
| コミュニティーケア科目 | 在宅看護概論 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論 | 3前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 在宅看護援助論演習 | 3後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 在宅看護学実習 | 4前 | 2 | | | 1 | | | 1 | 1 | |
| | 学校保健 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 産業保健 | 2後 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| | 公衆衛生看護管理論 | 2後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 公衆衛生看護活動論 | 2後 | | 2 | | | | 2 | | | |
| | 公衆衛生看護活動展開論 | 3前 | | 2 | | | 1 | 2 | | | |
| | 保健医療福祉行政論 | 3前 | | 2 | | | | 2 | | | 1 |
| | 産業保健・学校保健実習 | 4前 | | 2 | | | 1 | 2 | | 1 | |
| | 公衆衛生看護活動展開実習 | 4前 | | 3 | | | 1 | 2 | | 1 | |

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

**【平成２７年度】**

・教育課程の充実をはかるため、「スポーツ実技」の担当者に兼任教員２名を追加し、教員配置を「兼３」から「兼５」に変更。
・教員審査にて「不可」となり、専任教員の補充が必要となった「慢性期療養支援演習」の専任教員１名については平成28年度に専任教員採用等設置計画変更書提出予定。

**【平成２８年度】**

・教育課程の充実をはかるため、「総合英語Ⅰ」の兼担・兼任教員の配置を「兼７」から「兼８」に変更。
・教育課程の充実をはかるため、「総合英語Ⅱ」の兼担・兼任教員の配置を「兼７」から「兼８」に変更。
・「ヘルスアセスメント」担当の准教授１名（鈴木）が病気療養のため、一時的に兼任教員1名を採用し、教員配置を「准教授２、講師１」を「准教授１、講師１、兼１」に変更。
・「看護栄養管理技術論」担当の准教授１名が病気療養のため、一時的に兼任教員1名を採用し、教員配置を「准教授２、講師1、兼１」を「准教授１、講師１、兼２」に変更。
・「慢性期療養支援演習」の補充が必要な専任教員1名については平成28年度に教員募集を行ったが採用に至らず、平成29年度に専任教員採用等設置計画変更書提出予定。

**【平成２９年度】**

・「スポーツ実技」の担当者に兼任講師１名を加え、教員配置を「兼５」から「兼６」に変更。
・「食の安全安心」の担当者に兼任講師１名を加え、教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・「スタートアップゼミA」担当の矢山講師が准教授に昇格し、教員配置を「教授２、准教授４、講師７、助教１」を「教授２、准教授５、講師６、助教１」に変更。AC教員審査済。
・「日常生活基盤と看護」担当の准教授１名が病気療養のため、一時的に兼任教員１名を採用し教員配置「准教授２、講師１」を「准教授１、講師１、兼１」に変更。
・「看護体験実習」担当の講師が准教授に昇格し、病気療養の准教授１名の代わりに兼任教員１名を採用し、教員配置「教授２、准教授３、講師７、助教７、助手１」を「教授２、准教授４、講師６、助教７、助手１、兼１」に変更。AC教員審査済。
・「高齢者生活体験実習」の担当者に、矢山准教授、光井講師、上野助教を追加し、教員配置を「教授１、講師２、助教２」を「教授１、准教授１、講師３、助教３」に変更。
・「ヘルスアセスメント」担当の講師１（岡田）が退職したため、講師（江頭）を採用し担当者を変更。担当　江頭典江（講師）平成28年12月　教員審査済　　判定　可。教員配置は「准教授１（和田）、講師１（江頭）、兼１」に変更。
・「看護過程」担当の准教授１名が病気療養のため、一時的に兼任教員１名を採用し、教員配置「准教授２、講師１」を「准教授１、講師１、兼１」に変更。
・「看護感染管理技術論」担当の准教授１名が病気療養のため、一時的に兼任教員1名を採用し、教員配置を「准教授２、講師1、兼１」を「准教授１、講師１、兼２」に変更。
・「看護栄養管理技術論」担当の准教授１名が病気療養のため、一時的に兼任教員1名を採用し、教員配置を「准教授２、講師1、兼１」を「准教授１、講師１、兼２」に変更。
・「看護治療支援技術論」担当の准教授１名が病気療養のため、一時的に兼任教員1名を採用し、教員配置を「准教授２、講師1、兼２」を「准教授１、講師１、兼３」に変更。
・「実践基礎看護学実習」担当の准教授１名が病気療養のため、一時的に兼任教員1名を採用した。また、講師1名が准教授に昇格したため、教員配置を「教授１、准教授３、講師６、助教７、助手５」を「教授１、准教授３、講師５、助教７、助手５、兼１」に変更。
　「准教授１、講師１、兼３」に変更。
・「慢性期療養支援演習」の補充が必要な専任教員1名については平成28年度に教員募集を行ったが採用に至らず、やむを得ず平成29年度は兼任教員１名を採用して対応した。
・「精神看護学援助論」担当の矢山講師が准教授に昇格し、教員配置を「講師２」から「准教授１、講師１」に変更。
・「精神看護学援助論演習」担当の矢山講師が准教授に昇格し、教員配置を「教授１、講師２」から「教授１、准教授１、講師１」に変更。
・「精神看護学実習」担当の矢山講師が准教授に昇格し、教員配置を「教授１、講師２」から「教授１、准教授１、講師１」に変更。
・「キャリアサポート実践講座A」担当の矢山講師が准教授に昇格し、教員配置を「教授４、准教授４、講師６、助教１」を「教授４、准教授５、講師５、助教１」に変更。
・「キャリアサポート実践講座B」担当の矢山講師が准教授に昇格し、教員配置を「教授６、准教授４、講師４、助教１」を「教授４、准教授５、講師３、助教１」に変更。

**【平成３０年度】**

・「日常生活基盤と看護」担当の准教授１名が復帰し、教員配置「准教授１、講師１、兼１」を「准教授２、講師１」に変更。
・「看護体験実習」担当の准教授１名が復帰し、教員配置を「教授２、准教授４、講師６、助教７、助手１」に変更。
・「ヘルスアセスメント」担当の准教授１名が復帰し、教員配置「准教授１、講師１、兼１」を「准教授２、講師１」に変更。
・「看護過程」担当の准教授１名が復帰し、教員配置を「准教授２、講師１」に変更。
・「看護感染管理技術論」担当の准教授１名が復帰し、教員配置「准教授１、講師1、兼２」を「准教授２、講師１、兼１」に変更。
・「看護栄養管理技術論」担当の准教授１名が復帰し、教員配置「准教授１、講師1、兼２」を「准教授２、講師１、兼１」に変更。
・「看護治療支援技術論」担当の准教授１名が復帰し、教員配置「准教授１、講師1、兼３」を「准教授２、講師１、兼２」に変更。
・「実践基礎看護学実習」担当の准教授１名が復帰し、教員配置「教授１、准教授３、講師５、助教７、助手５、兼１」を「教授１、准教授４、講師５、助教７、助手５」に変更。
・「慢性期療養支援演習」の補充が必要な専任教員１名については、平成２８年度に引き続き、平成２９年度においても教員公募を行った。その結果、当該科目を担当するにふさわしい教育・研究業績のある教員の応募があり、教員審査を受け「適格」の判定を受けたが、平成３０年１月に個人的理由で急遽着任が不可能となった。このため、再度募集を行った結果、適切な人材が確保できることになり、現在平成３０年度第１回AC教員審査の申請中である。AC教員審査で「適格」の判定を得次第、専任教員として採用し、「慢性期療養支援演習」の担当を依頼する予定である。
・「急性期療養支援実習」の担当者に准教授を１名追加、教員配置を「教授２、助教２、助手２」を「教授２、准教授１、助教２、助手２」に変更。
・「キャリアサポート実践講座A」担当者に前川講師を追加し、教員配置を「教授４、准教授５、講師５、助教１」を「教授４、准教授５、講師６、助教１」に変更。AC教員審査済。
・「看護統合実習」担当者に松井講師、尾山助教、林助教を追加し、教員配置を「教授７、准教授４、講師４、助教５、助手５」を「教授７、准教授４、講師５、助教６、助手５」に変更。AC教員審査済。

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
　　変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
　　・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
　　・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、
　　平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（2） 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計（A） | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 66 科目 | 88 科目 | 0 科目 | 154 科目 | 66 科目<br>[ 0 ] | 88 科目<br>[ 0 ] | 0 科目<br>[ 0 ] | 154 科目<br>[ 0 ] | |

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［ ］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単 位 数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由，代替措置の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単 位 数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由，代替措置の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{154} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

## ３　施設・設備の整備状況，経費

| 区　　分 | 内　　容 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| (1) 校地等 | 区　　分 | 専　　用 | 共　　用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | |
| | 校舎敷地 | 137,328.84㎡<br>~~138,026.40㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 137,328.84㎡<br>~~138,026.40㎡~~ | 借地面積<太秦><br>32,571.96㎡<br>借用期間：60年<br>購買部駐車場分<br>(697.59㎡)を校舎敷地からその他に変更(27) |
| | 運動場用地 | 64,393.49㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 64,393.49㎡ | |
| | 小　　計 | 201,722.33㎡<br>~~202,419.89㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 201,722.33㎡<br>~~202,419.89㎡~~ | |
| | そ の 他 | 62,603.59㎡<br>~~61,906.03㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 62,603.59㎡<br>~~61,906.03㎡~~ | |
| | 合　　計 | 264,325.92㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 264,325.92㎡ | |
| (2) 校　　舎 | 専　　用 | 共　　用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | 食品開発センター登記時に0.54㎡増加、倉庫119.88㎡、購買部199.6㎡追加(27)<br>京都太秦キャンパス登記時に89.64㎡減少(28) |
| | 65,169.11㎡<br>~~65,258.75㎡~~<br>65,258.75㎡<br>~~(64,938.73㎡)~~ | 0㎡<br>(　　0㎡) | 0㎡<br>(　　0㎡) | 65,169.11㎡<br>~~65,258.75㎡~~<br>65,258.75㎡<br>~~(64,938.73㎡)~~ | |

| (3) 教　室　等 | 講　義　室 | 演　習　室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 82室 | 49室<br>~~51室~~ | 96室 | 12室<br>~~13室~~<br>(補助職員　4人) | 2室<br>(補助職員　2人) | バイオ環境館演習室2室を研究室に変更(28)<br>情報処理教室を一般教室に転用したため(30) |

| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | 室　　数 | |
|---|---|---|---|
| | 健康医療学部　看護学科 | 24　　室 | |

| (5) 図書・設備 | 新設学部等の名称 | 図　書<br>〔うち外国書〕<br>冊 | 学術雑誌<br>〔うち外国書〕<br>種 | 電子ジャーナル<br>〔うち外国書〕 | 視聴覚資料<br>点 | 機械・器具<br>点 | 標　本<br>点 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 健康医療学部<br>看護学科 | 31,832〔1,796〕<br>32,799〔1,796〕<br>~~31,927〔1,796〕~~<br>~~30,969〔1,685〕~~<br>~~(28,832〔1,556〕)~~ | 112〔　78　〕<br>(112〔　78　〕) | 80〔　76　〕<br>80〔　76　〕 | 150<br>181<br>~~128~~<br>~~(60)~~ | —<br>(　—　) | —<br>(　—　) | 大学全体での共用部を含む図書 26,785冊<br>〔 1,395冊 〕<br>図書の充実を行ったため(28)(29)(30) |
| | 計 | 31,832〔1,796〕<br>32,799〔1,796〕<br>~~31,927〔1,796〕~~<br>~~30,969〔1,685〕~~<br>~~(28,832〔1,556〕)~~ | 112〔　78　〕<br>(112〔　78　〕) | 80〔　76　〕<br>80〔　76　〕 | 150<br>181<br>~~128~~<br>~~(60)~~ | —<br>(　—　) | —<br>(　—　) | |

| (6) 図　書　館 | 面　　積 | 閲覧座席数 | 収納可能冊数 | |
|---|---|---|---|---|
| | 4228.97㎡ | 703席 | 462,000冊 | |

| (7) 体　育　館 | 面　　積 | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | |
|---|---|---|---|
| | 5046.41㎡ | 野球場1面、テニスコート8面、弓道場1施設、ゴルフ練習場1施設、アーチェリー場1施設 | |

| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区　　分 | 開設年度 | 完成年度 | 区　　分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 教員１人当り研究費等 | 260千円 | 260千円 | 図書購入費 | 6000千円 | 6000千円 | 6000千円 | |
| | | 共同研究費等 | 4000千円 | 16000千円 | 設備購入費 | 4000千円 | 4000千円 | 4000千円 | |
| | 学生１人当り納付金 | 第１年次 | 第２年次 | 第３年次 | 第４年次 | 第５年次 | 第６年次 | | |
| | | 1900千円 | 1700千円 | 1700千円 | 1700千円 | －千円 | －千円 | | |
| | 学生納付金以外の維持方法の概要 | 私立大学等経常費補助金、資産運用収入　等 | | | | | | | |

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# ４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

| 大学の名称 | 京都学園大学 | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次<br>人 | 人 | | 倍 | | | |
| 経済経営学部 | | | | | | 1.17 | | | |
| 経済学科 | 4 | 170 | － | 620 | 学士（経済学） | 1.16 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | 経済学科、経営学科入学定員<br>平27～29　150<br>平30～　170 |
| 経営学科 | 4 | 170 | － | 620 | 学士（経営学） | 1.19 | 平成27年度 | | |
| 人文学部 | | | | | | 0.90 | | | |
| 心理学科 | 4 | 80 | － | 320 | 学士（人文） | 0.80 | 平成27年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 歴史文化学科 | 4 | 90 | － | 360 | 学士（人文） | 0.99 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | |
| バイオ環境学部 | | | | | | 0.81 | | | |
| バイオサイエンス学科 | 4 | 65 | － | 335 | 学士（バイオ環境） | 0.76 | 平成18年度 | | ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ学科入学定員<br>平27～29　90<br>平30　65 |
| バイオ環境デザイン学科 | 4 | 55 | － | 235 | 学士（バイオ環境） | 0.87 | 平成18年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | ﾊﾞｲｵ環境ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科入学定員<br>平27～29　60<br>平30　55 |
| 食農学科 | 4 | 70 | － | 310 | 学士（バイオ環境） | 0.83 | 平成27年度 | | 食農学科入学定員<br>平27～29　80<br>平30　70 |
| 健康医療学部 | | | | | | 1.08 | | | |
| 看護学科 | 4 | 80 | － | 320 | 学士（看護学） | 1.12 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | |
| 言語聴覚学科 | 4 | 30 | － | 120 | 学士（言語聴覚学） | 0.93 | 平成27年度 | | |
| 健康スポーツ学科 | 4 | 90 | － | 360 | 学士（健康ｽﾎﾟｰﾂ学） | 1.09 | 平成27年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 経済学部 | | | | | | | | | |
| 経済学科 | 4 | － | － | － | 学士（経済学） | － | 昭和44年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 経営学部 | | | | | | | | | |
| 経営学科 | 4 | － | － | － | 学士（経営学） | － | 平成3年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 事業構想学科 | 4 | － | － | － | 学士（経営学） | － | 平成14年度 | | 平成27年より学生募集停止 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法学部 | | | | | | | | | |
| 法学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（法学） | ― | 平成元年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 人間文化学部 | | | | | | | | | |
| 心理学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| メディア社会学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| 歴史民俗・日本語日本文化学科 | | | | | | | | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 歴史民俗学専攻 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| 日本語日本文化専攻 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| 国際ヒューマン・コミュニケーション学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成21年度 | | 平成27年より学生募集停止 |

| 大学の名称 | 京都学園大学　大学院 | 備考 |
|---|---|---|

| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 年 | 人 | 年次<br>人 | 人 | | 倍 | | | |
| 経済学研究科 | | | | | | | | | |
| 経済学専攻 | 2 | 5 | ― | 10 | 修士（経済学） | 0.70 | 平成7年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 経営学研究科 | | | | | | | | | |
| 経営学専攻 | 2 | 5 | ― | 10 | 修士（経営学） | 0.30 | 平成7年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 法学研究科 | | | | | | | | | |
| ビジネス法学専攻 | 2 | ― | ― | ― | 修士（法学） | ― | 平成6年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成30年より学生募集停止 |
| 人間文化研究科 | | | | | | | | | |
| 人間文化専攻 | 2 | 10 | ― | 20 | 修士（文化研究）<br>修士（社会情報）<br>修士（心理学） | 0.55 | 平成14年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| バイオ環境研究科 | | | | | | | | | |
| 博士課程前期<br>バイオ環境専攻 | 2 | 20 | ― | 40 | 修士（バイオ環境） | 0.07 | 平成22年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 博士課程後期<br>バイオ環境専攻 | 3 | 3 | ― | 9 | 博士（バイオ環境） | 0.11 | 平成22年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## ６　留意事項等に対する履行状況等

| 区　　分 | 留　意　事　項　等 | | 履　行　状　況 | | 未履行事項についての実施計画 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・教員の補充を必要とされた１授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 | 留意事項１ | ・留意事項の授業科目は、平成29年度に開講する「慢性期療養支援演習」である。授業では慢性疾患に伴う健康問題を抱えた患者やその家族に対する援助などを学修する。そのためこの科目を担当するに相応しい教育・研究業績のある教員を、候補を絞って検討中である。（27）<br><br>・平成29年度に開講する「慢性期療養支援演習」の科目を担当するに相応しい教育・研究業績のある教員を、平成28年度中に教員審査を受ける予定である。（28）<br><br>平成29年度に開講する「慢性期療養支援演習」の科目を担当するに相応しい教育・研究業績のある教員を募集したが、適切な人材が得られなかったので非常勤講師として成人看護学教授を任用し、「慢性期療養支援演習」の12コマの担当を依頼し展開する予定である。また、「慢性期療養支援演習」を担当する教員を募集し平成29年度の早い時期に教員審査を受ける予定である。(29)<br><br>平成30年度に開講する「慢性期療養支援演習」の科目を担当するに相応しい教育・研究業績のある教員の応募があり、教員審査を受け「適格」の判定を受けたが、1月に本学への異動が個人的理由で急遽不可能となった。そのため、再募集を行った結果、成人看護学教授として適切な人材が確保できることになり、現在教員審査の申請中である。そのため、「慢性期療養支援演習」を兼務可能な教授を任用したうえで、担当部分について依頼し展開する予定である。(30) | 履行済 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・教員の学位取得を推進するため、原則週1日を「研究・研修日」として確保することとしているが、実習期間中においても、学位を取得するための推進方策が担保されるよう、大学の体制や制度を整えることが望ましい。 | その他意見 | ・実習期間中においても教員が研究日を確保するためには、専任教員の他に実習を担当できる非常勤助手の配置が必要である。平成27年度・28年度は実習時間や就任教員数から、研究日の確保に支障を来さない。しかし平成29年度の領域別実習からは実習時間が多くなることから、非常勤助手の配置が必要である。そのため平成29年度までに運用が可能となるよう、非常勤助手の採用について検討する。（27）<br><br>・実習期間中においても教員が研究日を確保するためには、専任教員の他に実習を担当できる非常勤助手の配置が必要である。平成29年度の領域別実習からは実習時間が多くなることから、非常勤助手の配置が必要であるため、平成29年度までに運用が可能となるよう、非常勤助手の採用について準備している。（28）<br><br>実習期間中においても教員が研究日を確保するためには、専任教員の他に実習を担当できる非常勤助手の配置が必要である。平成29年度の領域別実習からは実習時間が多くなることから、非常勤助手の配置が必要であるため、平成29年度までに運用が可能となるよう、非常勤助手4名を確保している。（29）<br><br>実習期間中に教員の研究日を確保するためには、専任教員の他に実習を担当できる非常勤助手の配置が必要である。平成29年度の領域別実習からは在宅看護学実習、公衆衛生看護学実習、急性期看護学実習実習が始まることと、対象学生の人数が増えるため、平成30年度も非常勤助手8名程度を確保している。（30） | 履行済 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・8月補正で教育方針として地域の看護職の養成とある点について、きちんと地域に定着することを工夫する事 | その他意見<br>（口頭伝達） | ・学生が卒業後、地域（京都府）に定着するためには、地域における医療・看護の魅力や、地域の課題等を学生自身が体験し感じ取ることが重要である。本学では、看護師不足が課題となっている京都府北部の現状を体験するために、北部で臨地実習の必要性があると判断し、実習施設を２か所確保した。また３年次実習の他、４年次最後の実習である統合実習においても北部での臨地実習を行うこととしている。<br>・学生が地域に定着するためには、学生時代から地域との関係を深めることが重要である。そのため１年次からボランティア活動等を積極的に行い、地域との関係を深める必要がある。初年度である今年は、大学の地元である右京区が発信して実施している右京区まちづくり活動等に、学生と教員が参加する予定である。（27）<br><br>・実習病院の説明会を企画し、1～4年次に実習する病院に呼びかけ、各学年の学生に就職のアピールまたは病院の特徴について説明会を行った。説明会には京都府内の北部は弥栄病院、南部は山城医療センターなど13の病院看護部から参加があり、病院の看護部や学生から好評で、熱心に参加しており、今後も継続する予定である。<br><br>・学生のボランティア活動として、「育Gの会クローバー」（京都学園大学）を立ち上げ、右京子育てこみゅにてぃー “クローバーKGU”という催しを6回行い、地域からの親子、シニアの延べ年間参加者199名があり、教員、学生のと交流を図った。また、京都市山科保健所の幼児との交流会にボランティアで参加し、保健師業務を理解した。(28) | 履行済 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | （・8月補正で教育方針として地域の看護職の養成とある点について、きちんと地域に定着することを工夫する事） | | ・3年生対象に実習病院の説明会を企画し、インターシップや病院見学など地域の病院や施設に看護職員として就職するように説明会を本学の看護学科キャリアサポート委員会と大学キャリアサポートセンターが連携して12月に企画する予定である。説明会には京都府内の北部は弥栄病院、南部は山城医療センターなど40病院に病院説明会の依頼を送る予定である。<br>・地域への学生のボランティア活動として、「育Gの会クローバー」（京都学園大学）を立ち上げ、右京子育てこみゅにてぃー “クローバーKGU”という催しを６回行い、右京区内の子育て世代へ、シニア世代の食育指導員による食事の説明や絵本の読み聞かせ、野菜作りを通して食の大切さを伝え、クラッシック音楽の生演奏も行った。地域からの親子、シニアの延べ年間参加者108名があり、学生30名との交流を図った。また、京都市右京保健所や山科保健所の幼児との交流会にボランティアで参加し、保健師業務の一部を理解している。（29）<br><br>・3年生対象に実習病院の説明会を企画し、インターシップや病院見学など地域の病院や施設に看護職員として就職するように説明会を本学の看護学科キャリアサポート委員会と大学キャリアサポートセンターが連携して12月に企画する予定である。説明会には京都府内の北部は弥栄病院、南部は山城医療センターなど40病院に病院説明会の依頼を送る予定である。<br>・地域への学生のボランティア活動として、「育Gの会クローバー」（京都学園大学）が誕生して3年になり、右京子育てこみゅにてぃー “クローバーKGU”という催しを2017年度は6回行った。右京区内の子育て世代へ、シニア世代の食育指導員による食事の説明や絵本の読み聞かせ、野菜作りを通して食の大切さを伝え、クラッシック音楽の生演奏も行った。地域からの親子、シニアの延べ年間参加者122名があり、学生１６名との交流を図った。また、京都市右京保健所や山科保健所依頼の学生ボランティアへの参加し、保健師業務の一部理解へつなげている。（30） | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | ・定年規定の趣旨を踏まえつつ、バランスのとれた年齢構成になるように、教員組織編成の将来構想を検討してる。現時点では、教員の専門領域のバランスは取れていると考えているので、教員の退職時には、その教員と同じ専門分野の教員（准教授クラス）を採用することとしたい。年齢的には20代、30代の若手教員が少ないので、この年代の優秀な若手教員の確保にも努めていきたい。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 | 改善意見 | 教員構成とカリキュラム構成、研究活動とはリンクすることを理解しており、学科内若手教員を中心に完成年度以降のカリキュラム検討にすでに入っており、毎月一回の会議で検討し、必要に応じて定例学科会議で進捗状況を報告いただいている。この検討会議での提案を基にして全学的なカリキュラム改革とのバランスとも調整を加え、若手教員獲得を優先した採用人事計画をたてる予定である。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 定年規程の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていくため、教員組織編成の将来構想について検討を開始し、定年予定教員の担当分野の若手教員を公募し、２名を准教授として4/1付け採用と決定した。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 人文学部心理学科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 | 改善意見 | オープンキャンパスや高校訪問等の学生確保の方法を改善した結果、人文学部心理学科の今年度定員充足率は、０．８３倍に回復することができた。次年度も、定員充足に向けてさらなる努力をしたい。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成29年は届出時の予定通りに進行している。設置時に申請していた京大名誉教授を迎え、退職年齢を越える専任教員は4名となった。今後とも専任教員の退職の際には、40～50歳代の人材を中心に、公募も含めて人選を行いつつ、人材を採用する計画である。 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成３０年度末に退職が予定される教員(1名)について、教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、２０代、３０代の優秀な若手教員を確保していきたい。 | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用する計画である。(定年退職年齢を超える教員の割合は3/9から2/9に減少する計画である。) |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 | 改善意見 | 学科で検討した完成年度後の教員組織編成の将来構想に基づき、平成３０年度末に退職が予定される教員(3名)の後任人事のために、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用していく予定である。 | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用する計画である。(定年退職年齢を超える教員の割合は5/12から2/12に減少する計画である。) |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成２９年度の報告時には定年年齢を超える教員は６名であったが、平成２９年度末に３名が任期満了で退職となった。任期満了で退職となった教員の後任として５０歳代の教員２名を専任教員として経営学科に異動させた。平成３０年度に新たに１名が定年年齢を超えることになったが、定年年齢を超える教員数は４名に減少した。(定年退職年齢を超える教員の割合は6/22から4/20に減少した。) | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、若手教員の補充を行い、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていく計画である。 |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 定年年齢を超える１名（教職課程担当）の後任人事に伴って、当該教員を他学科に異動させたが、後任の選考の結果、採用には至らなかった。このため定年年齢を超える専任教員の数は1名減少し、３名となった。(定年退職年齢を超える教員の割合は4/11から3/10に減少した。) | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていく計画である。 |

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7　その他全般的事項

＜健康医療学部　看護学科＞

### （1） 設置計画変更事項等

| 設　置　時　の　計　画 | 変更内容・状況，今後の見通しなど |
|---|---|
| 該当なし | |

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### （2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

2013年10月に教育開発センターが設置され、教育開発センター長の下にFSD推進委員会を設置している。

なお、2016年8月1日の教育開発センター規程改正により、委員会名称を「FD・SD推進委員会」に変更している。（別紙①）

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2014年度　FSD推進委員会10回開催（2014.4.23、2014.5.14、2014.6.11、2014.7.9、2014.10.8、2014.11.12、2014.12.10、2015.1.14、2015.2.18、2015.3.11）

2015年度　FSD推進委員会9回開催（2015.4.8、2015.5.13、2015.6.10、2015.7.8、2015.10.7、2015.11.4、2015.12.9、2016.2.10、2016.3.9）

2016年度　FD・SD推進委員会10回開催（2016.4.13、2016.5.11、2016.6.8、2016.7.13、2016.9.7、2016.10.12、2016.11.9、2016.12.14、2017.2.8、2017.3.8）

2017年度　FD・SD推進委員会7回開催（2017.4.12、2017.5.17、2017.6.14、2017.7.12、2017.10.11、2017.12.13、2018.2.14）

2018年度　FD・SD推進委員会1回開催（2018.4.11）

ｃ 委員会の審議事項等

2014年度第1回（2014.4.23）
議題
（1）平成26年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成26年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤外部団体に関わるFD活動について（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業　等）
（3）平成26年度授業評価アンケート項目について（案）
報告事項
（1）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について

2014年度第2回（2014.5.14）
議題
（1）平成26年度外部団体への本学派遣委員の選任について
①大学コンソーシアム京都　FDフォーラム担当　委員
②大学コンソーシアム京都　FD研修企画　委員
報告事項
（1）平成26年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成26年度FSD推進委員会の運営メンバーについて
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について
（4）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について
（5）カリキュラム・マップおよびにツリーの策定について
（6）平成25年度人間力測定の結果について
（7）平成25年度カリキュラムマトリクスの集計結果について
（8）春学期の授業公開について

2014年度第3回（2014.6.11）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）平成26年度各学部FD活動および事務職員SD活動方針について
（2）春学期授業参観のアンケート調査の集計ならびに意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）平成25年度人間力測定の結果について
（5）平成26年度カリキュラムマトリクスの集計結果について
（6）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について
（7）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第4回（2014.7.9）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）第1回FD研修会の実施報告
（2）春学期公開授業の参観アンケートの各学部意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートについて
（4）学部及び研究科における成績評価基準の設定について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第5回（2014.10.8）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）第2・3回FD研修会ならびに第1回SD研修会の実施報告
（2）春学期の授業評価アンケートの結果について
（3）秋学期の授業公開の実施について
（4）秋学期授業評価アンケートの実施について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第6回（2014.11.12）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
（2）大学コンソーシアム京都FDフォーラムのポスターセッションの参加について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施について
（2）第4回FD研修会ならびに第2回SD研修会の実施報告
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第7回（2014.12.10）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）大学コンソーシアム京都FDフォーラムについて
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第8回（2015.1.14）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施状況について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第9回（2015.2.18）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施状況について
（2）ベストティーチャー賞の候補者について
（3）2014年度FD・SD推進活動の報告書作成について
（4）FD研修会、SD研修会の実施報告について
（5）大学コンソーシアム京都　FDフォーラムの参加者について
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第10回（2015.3.11）
議題
（1）2014年度FD・SD推進活動の報告書（案）について
（2）第9回FD研修会（案）について
報告事項
（1）平成26年度FSD推進委員会事業について
（2）ベストティーチャー賞について
（3）FD研修会の実施報告について
（4）大学コンソーシアム京都　FDフォーラムについて

2015年度第1回（2015.4.8）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤人間力測定について
⑥キャリアポートフォリオ（マイステップ）について
⑦カリキュラム・マトリックスについて
⑧外部団体に関わるFD活動について（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業、新人研修等）
（3）平成27年度の委員の分担について
報告事項
（1）2014年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2015年度第2回（2015.5.13）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）FD推進委員会事業に関わる全学的取組みについて
（2）2014年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（3）大学コンソーシアム京都FD企画研究委員会委員の選出について
その他
（1）2015年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD部会の方針について（依頼）

2015年度第3回（2015.6.10）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業公開アンケート集計ならびに各学部での意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）2014年度FD・SD推進活動報告書について
（5）大学コンソーシアム京都FD企画研究委員会委員の選出について
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）学部でのFD活動に関する経費について
（2）複数教員担当の授業科目に対する授業評価アンケートの取り扱いについて

2015年度第4回（2015.7.8）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業評価アンケートの実施状況について
（3）大学コンソーシアム京都FD事業担当者からの報告
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）IR委員会の実施状況について

2015年度第5回（2015.10.7）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成27年度秋学期授業公開の実施について
（3）平成27年度秋学期授業評価アンケートの実施について
報告事項
（1）第1回FD研修会のアンケート集計結果について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）FDフォーラムについて

2015年度第6回（2015.11.4）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートの実施について
（3）カリキュラム・マトリックスアンケート調査（シラバスへの表示方法の改定）について
報告事項
（1）平成27年度授業公開後の意見交換会について
（2）学生満足度調査の実施について
（3）第2回FD研修会のアンケート集計結果について
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第7回（2015.12.9）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度秋学期授業公開後の意見交換会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートのコメント入力について
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第8回（2016.2.10）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
報告事項
（1）平成27年度秋学期授業公開後の意見交換会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートについて
（3）ベストティーチャー賞の選出について
（4）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（5）FD研修会・SD研修会のアンケートについて
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第9回（2016.3.9）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
（2）平成27年度Best Teacher賞の選考について（案）
報告事項
（1）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第1回（2016.4.13）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤人間力測定について
⑥キャリアポートフォリオ（マイステップ）について
⑦外部団体に関わるFD活動について
（3）平成28年度の委員の分担について
報告事項
（1）2015年度FSD推進活動の報告書の作成について

2016年度第2回（2016.5.11）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）春学期授業評価アンケートの実施について
（2）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（3）2015年度 各事業の実施率について
その他
（1）2016年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD部会の方針について（依頼）

2016年度第3回（2016.6.8）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業公開アンケート集計ならびに各学部での意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）2015年度FD・SD推進活動報告書について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第4回（2016.7.13）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業評価アンケートの実施状況について
・未実施リスト
・集計表
・コメントへの対応
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
・春学期授業公開アンケートの意見交換会について
その他
・FD研修会の参加状況について
・春学期授業評価アンケート実施要領について

2016年度第5回（2016.9.7）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
報告事項
（1）春学期授業評価アンケートの実施状況について
・学生からのコメントの対応について
（2）授業公開の実施率について
（3）第1回FD研修会のアンケート集計結果について
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第6回（2016.10.12）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成28年度秋学期授業公開の実施について
（3）授業公開コメント提出方法の変更について
（4）秋学期授業評価アンケートの実施および、実施科目について
報告事項
（1）第2回FD研修会のアンケート集計結果について【資料4】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第7回（2016.11.9）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度授業公開後の意見交換会について
（2）第3回FD研修会のアンケート集計結果について【資料2】
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第8回（2016.12.14）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度授業公開後の意見交換会について【資料2】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第9回（2017.2.8）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度秋学期授業評価アンケートについて
①学生のコメントに対する対応について
②教員のコメント入力について
（2）ベストティーチャー賞の選出について
（3）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（4）FD研修会、SD研修会のアンケートについて
①第4回FD、第3回SD研修会アンケート
②第5回SD研修会アンケート
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）大学コンソーシアム京都「新任教員FD合同研修」の案内について

2016年度第10回（2017.3.8）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①SD研修会について
（2）2016年度ベストティチャー賞の選考について（案）
（3）授業評価アンケート集計表について（案）
（4）大学設置基準の改正に伴う、SD義務化について（案）
報告事項
（1）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について【資料5】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）大学コンソーシアム京都「新任教員FD合同研修」の案内について

2017年度第1回（2017.4.12）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤外部団体に関わるFD活動について
（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業　等）
（3）平成29年度の委員の分担について
報告事項
（1）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2017年度第2回（2017.5.17）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD推進部会の方針について（依頼）
（2）2017年度秋学期のFD・SD推進委員会の開催について

2017年度第3回（2017.6.14）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）事務職員一覧について
（3）Best Teacher賞について
報告事項
（1）2017年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD推進部会の方針について
（2）2016年度FD・SD推進活動報告書について
（3）授業公開アンケートについて
（4）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について

2017年度第4回（2017.7.12）
議題
（1）授業公開の各学部意見交換会について
（2）授業公開の方針確認について
（3）授業評価アンケートについて
（4）FD・SD推進活動報告書のWeb報告実施について
報告事項
（1）2017年度春学期　学生による授業評価アンケートについて
（2）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について

2017年度第5回（2017.10.11）
議題
（1）FD・SD研修会について
①2017年度の今後の予定
②FD研修会のビデオ視聴の取り扱いについて
（2）FD・SD推進活動報告書ネット掲載原案について
（3）授業公開の方針について
（4）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について
（2）その他

2017年度第6回（2017.12.13）
議題
（1）FD・SD研修会について
①2017年度の今後の予定
（2）授業公開について
（3）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について
（2）第23回FDフォーラムの開催について

2017年度第7回（2018.2.14）
議題
（1）FD・SD研修会について
（2）授業公開について
（3）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度FD・SD推進活動報告書作成スケジュールについて
（2）2017年度第7回FD・SD研修会のアンケート結果について
（3）次年度について

2018年度第1回（2018.4.11）
議題
（1）2018年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）2018年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
（3）2018年度の委員の分担について
報告事項
（1）2017年度FD・SD推進活動報告書の作成について

② 実施状況

ａ 実施内容

2014年度

・全学FD研修会・・・授業方法、中退予防、キャリア教育、ハラスメント対策、学生支援事業など

・SD研修会・・・各部署の現状・課題、情報の発信と共有、事務体制整備に向けた課題、教職協働の教育改善など

・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開

・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2015年度

・全学FD研修会・・・授業方法、中退予防、キャリア教育、ハラスメント対策、学生支援事業など

・SD研修会・・・副担任制度の現状と課題・学生支援のあり方についてなど

・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開

・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2016年度

・全学FD研修会・・・授業方法、メンタルヘルスケア、ハラスメント対策、ポリシー策定など

・SD研修会・・・グローバル化に求められる人材、奨学金など

・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開

・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2017年度

・全学FD研修会・・・科研費の管理運営、大学入試改革、授業の事例報告、カリキュラムツリー作成など

・SD研修会・・・障害のある学生支援、ハラスメント対策など

・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開

・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

b　実施方法

2014年度

・全学FD研修会・・・年9回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）

・SD研修会・・・年4回実施

・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入

・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FSD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

2015年度

・全学FD研修会・・・年6回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）

・SD研修会・・・年1回実施

・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入

・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FSD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

2016年度

・全学FD研修会・・・年7回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）

・SD研修会・・・年6回実施（うち4回は全学FD研修会と共催）

・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入

・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

2017年度

・全学FD研修会・・・年8回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）

・SD研修会・・・年8回実施（うち5回は全学FD研修会と共催）

・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入

・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

c　開催状況（教員の参加状況含む）

2014年度

・全学FD研修会・・・2014.6.18（60名）、7.16（73名）、9.17（73名）、10.15（38名）、12.17（41名）、
2015.1.28（61名）、2.18（58名）、2.25（35名）、3.20（41名）

・SD研修会・・・2014.8.5（38名）、10.17（55名）、12.25（54名）、2015.2.12（44名）

・授業公開・・・（春学期）2014.5.26～5.31実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2014.11.5～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済学部（2014.7.24、11.19）、経営学部（2014.6.18、11.19）、
法学部（2014.6.18、11.19）、人間文化学部（2014.6.18、11.26）、
バイオ環境学部（2014.6.18、11.19）

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2015.3.14）

2015年度

・全学FD研修会・・・2015.6.17（64名）、9.16（83名）、12.16（48名）、
2016.1.20（43名）、2.17（58名）、3.16（61名）

・SD研修会・・・2015.12.22（82名）

・授業公開・・・（春学期）2015.5.25～5.30実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2015.11.5～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2015.7.15、12.16）、健康医療学部（2015.6.24、11.25）、
人文学部（2015.6.17、7.15、12.16）、バイオ環境学部（2015.6.17、12.16）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2016.3.12）

2016年度

・全学FD研修会・・・2016.7.20（105名）、9.21（83名）、10.19/11.16（85名）、
2017.1.18/25（82名）、1.20（45名）、2.9/15（67名）、2.10（20名）

・SD研修会・・・2016.8.8（32名）、10.19/11.16（19名）、
2017.1.18/25（68名）、2.9/15（53名）、2.10（12名）、3.22/23（36名）

・授業公開・・・（春学期）2016.5.27～6.9実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2016.10.31～11.12実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2016.6.27、11.24）、
健康医療学部（2016.6.22、9.1、11.30、12.22）、
人文学部（2016.6.15、11.16）、バイオ環境学部（2016.7.20、11.23）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2017.3.11）

2017年度

・全学FD研修会・・・2017.4.19/26（80名）、5.24（77名）、6.21（65名）、9.27（31名）
2017.9.29（25名）、11.22（26名）、2018.2.7（44名）、2.21/28（75名）

・SD研修会・・・2017.4.19/26（16名）、4.25（18名）、5.23/31（70名）、5/24（13名）、
2017.9.27（6名）、2018.1.26（55名）、2.7（22名）、2.21/28（21名）

・授業公開・・・（春学期）2017.5.26～6.9実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2017.10.30～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2017.6.21、11.15）、
健康医療学部（2017.6.28、7.11、7.26）、
人文学部（2017.6.21、11.22）、バイオ環境学部（2017.6.21、11.22）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2018.3.10）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学FD・SD推進委員会で検討された内容は、各学部のFD委員会において更に検討されている。
授業公開は、2013年度秋学期からは全科目（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く）で実施している。
授業参観後のアンケートをもとに、学部FD研修会等で科目担当者と参観者が活発に意見交換し、
授業改善を図っている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートの実施：有

実施時期：春学期・秋学期（各1回）

2014年度

・授業評価アンケート・・・2014.6.23～7.5、2014.12.1～12.13

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2015年度

・授業評価アンケート・・・2015.6.11～6.24、2015.11.25～12.8

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2016年度

・授業評価アンケート・・・2016.6.17～6.30、2016.11.28～12.10

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2017年度

・授業評価アンケート・・・2017.6.17～6.30、2017.11.27～12.9

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

授業評価アンケートの結果については、各科目担当の教員へフィードバックされる。担当教員は、受講生の評価・コメント（自由記述欄）に対して「京学なび」を通して回答を行う。科目分野、学部別の評価の集計結果をホームページで公表するとともに、個別結果については、教育修学支援センターで閲覧できるようにしている。2016年度秋学期からは、教員が「京学なび」に掲載した回答内容も閲覧できるようにしている。

アンケートに寄せられた自由記述は、学部FD推進委員及び学部長が点検し、必要に応じ該当教員と面談する。学部FD推進委員会は点検状況を全学FD・SD推進委員長に報告し、学部FD推進委員会、学部長は次回以降改善状況を点検する。

アンケート結果で著しく評価の低い授業については、学部FD推進委員会委員および学部長が点検し、必要に応じ該当教員と面談する。学部FD推進委員会は点検状況を全学FD・SD推進委員長に報告し、学部FD推進委員会、学部長は次回以降改善状況を点検する。

Best Teacher賞は、学生による授業評価アンケート結果で高評価を得た授業の科目担当者を学部FD推進委員会が学部長の意見を参考の上選出し、全学FD・SD推進委員会で決定後、学長が表彰するとともに、ホームページで公表する。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康医療学部看護学科は、人間を総合的に捉え、尊重し、対象者に適した看護を実践するために必要な知識・技術と豊かな人間性、自律的に学び続ける力を備え、対象者の健康回復・増進を図るために主体的に考え行動できる看護職者の育成を目的としている。設置４年目の現段階では、4年目の展開科目の療養生活支援基盤科目、看護の展開科目　（看護研究演習、看護統合実習、キャリアサポート実践講座など）、コミュニティーケア科目の実習での学修成果の集大成に向けて段階的に教育がなされている。
以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、取り組みを進めている。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

・平成２９年６月１日　公表

ｂ 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に（公財）日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、平成27年3月に適合の評価結果を得た。このため、平成33年度までに（公財）日本高等教育評価機構の認証評価を受けるべく、学内で検討を進めている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

ａ ホームページに公表（予定）の有無　（ 有 ・ 無 ）

ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期　（ 平成30年 6月 1日 予定 ）

（注）・ 「ａ ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・ 「ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

# 1　調査対象大学等の概要等

## （1）設　置　者

学校法人京都学園

## （2）大　学　名

京都学園大学

## （3）大学の位置

〒６１５－８５７７
京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地
〒６２１－８５５５
京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## （4）管理運営組織

| 職　　名 | 設　　置　　時 | 変　更　状　況 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 理 事 長 | （タナベ　チカオ）<br>田　辺　親　男<br>（平成２４．１１．１７） | （ナガモリ　シゲノブ）<br>永　守　重　信<br>（平成３０．３．１７） | 任期満了に伴い変更（30） |
| 学　　長 | （ウチヤマ　タカオ）<br>内　山　隆　夫<br>（平成２２．４．１） | （シノハラ　ソウイチ）<br>篠　原　総　一<br>（平成２７．４．１） | 任期満了に伴い変更（27） |
| 学 部 長 | （ヒサ　ヤスオ）<br>久　　育　男<br>（平成２７．４．１） | | |
| 副学部長<br>（学科長等） | （ニシダ　ナオコ）<br>西　田　直　子<br>（平成２７．４．１） | | |
| 副学部長<br>（学科長等） | （ヤナギダ　ヤスヨシ）<br>柳　田　泰　義<br>（平成２７．４．１） | | |

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

## （５） 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

### （５）－① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称（学位） | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| | | 年 | 人 | 年次<br>人 | 人 | |
| 健康医療学部<br>言語聴覚学科<br><br>学士（言語聴覚学） | 保健衛生学関係（リハビリテーション関係） | 4 | 30 | － | 120 | |

（注）・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

### （５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分＼対象年度 | 平成２７年度 | | 平成２８年度 | | 平成２９年度 | | 平成３０年度 | | 平均入学定員超過率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 人<br>30<br>（ － ）<br>[ － ] | 人 | 人<br>30<br>（ － ）<br>[ － ] | 人 | 人<br>30<br>（ － ）<br>[ － ] | 人 | 人<br>30<br>（ － ）<br>[ － ] | 人 | | |
| 志願者数 | 32<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 60<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 90<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 88<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | | |
| 受験者数 | 32<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 58<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 88<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 87<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 0.93倍 | |
| 合格者数 | 26<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 51<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 64<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 75<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | | |
| B 入学者数 | 19<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 33<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 26<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | 34<br>（ － ）<br>[ － ] | －<br>（ － ）<br>[ － ] | | |
| 入学定員超過率 B／A | 0.63 | | 1.10 | | 0.86 | | 1.13 | | | |

（注）・ 数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・ （ ）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・ [ ]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

| 対象年度 / 学年 | 平成２７年度 | | 平成２８年度 | | 平成２９年度 | | 平成３０年度 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| １年次 | 19<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 34<br>[ － ]<br>( 1 ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 27<br>[ － ]<br>( 1 ) | 0<br>[ － ]<br>( ) | 34<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | |
| ２年次 | | | 17<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 31<br>[ － ]<br>( 1 ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 25<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | |
| ３年次 | | | | | 14<br>[ － ]<br>( － ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 28<br>[ － ]<br>( 2 ) | 0<br>[ － ]<br>( － ) | 平成27年度入学生1名<br>3年次に他学部へ転籍。 |
| ４年次 | | | | | | | 11<br>[ － ]<br>(－) | 0<br>[ － ]<br>(－) | |
| 計 | 19<br>[ － ]<br>( － ) | | 51<br>[ － ]<br>( 1 ) | | 72<br>[ － ]<br>( 2 ) | | 98<br>[ － ]<br>( 2 ) | | |

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 / 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | | 主な退学理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | 退学者数のうち留学生数 | |
| 平成27年度 | 19 人 | 1 人 | 平成27年度 | 1 人 | 人 | 就職(1名) |
| 平成28年度 | 51 人 | 3 人 | 平成27年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成28年度 | 3 人 | 人 | 人間関係の為(1人)、修学意欲喪失(1人)、進路変更(1人) |
| 平成29年度 | 72 人 | 7 人 | 平成27年度 | 2 人 | 人 | 体調不良(1人)、病気療養(1人) |
| | | | 平成28年度 | 4 人 | 人 | 病気療養(1人)、進路変更(2人)、修学意欲喪失(1人) |
| | | | 平成29年度 | 1 人 | 人 | 進路変更(1人) |
| 平成30年度 | 98 人 | 0 人 | 平成27年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成28年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成29年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| 合　計 | 240 人 | 11 人 | | | | |

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) / 平成27年度の在学者数(b) = 1 / 19 = 5.26 %

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) = 3 / 51 = 5.88 %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 7 / 72 = 9.72 %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 0 / 98 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

## ２　授業科目の概要

＜健康医療学部　言語聴覚学科＞

（１）ー① 授業科目表

**【認可時又は届出時】**

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |

**【平成３０年度】**

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | **6** |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | **2** |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | **8** |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | **8** |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインＡ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインＢ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ａ | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ｂ | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高次脳科学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 臨床神経学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 形成外科学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 耳鼻咽喉科学 | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 歯科・口腔外科学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 心理測定法 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語学 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語心理学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 音声学演習 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 音響学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 聴覚心理学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 言語発達学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| 展開科目 | 言語聴覚障害学概論Ⅰ | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 言語聴覚障害学概論Ⅱ | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | プロフェッショナル・セミナー | 4後 | | 2 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語発達障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 重複障害学 | 3後 | 1 | | | | | 1 | 1 | | |
| | 音声障害学 | 2前 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインＡ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインＢ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ａ | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ｂ | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高次脳科学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 臨床神経学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 形成外科学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 耳鼻咽喉科学 | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 歯科・口腔外科学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 心理測定法 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語学 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語心理学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 音声学演習 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 音響学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 聴覚心理学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 言語発達学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| 展開科目 | 言語聴覚障害学概論Ⅰ | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 言語聴覚障害学概論Ⅱ | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | プロフェッショナル・セミナー | 4後 | | 2 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語発達障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 重複障害学 | 3後 | 1 | | | | | 1 | 1 | | |
| | 音声障害学 | 2前 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | 構音障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 構音障害学Ⅱ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | 1 |
| | 構音障害学Ⅲ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 嚥下障害学 | 3前 | 2 | | | 2 | | 1 | | | 1 |
| | 吃音学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 聴覚検査学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 補聴器・人工内耳 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 小児聴覚障害学 | 3前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 成人聴覚障害学 | 3前 | 1 | | | 2 | | 1 | | | |
| | 音声言語医学 | 4後 | 1 | | | | | | | | 2 |
| | 聴覚医学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 臨床実習Ⅰ（見学実習） | 2前 | 1 | | | 2 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅱ（評価実習） | 3後 | 4 | | | 2 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅲ（総合実習） | 4前 | 8 | | | 2 | 1 | 2 | 1 | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 言語聴覚障害学研究法 | 3後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| 演習科目 | 言語聴覚療法学総合演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅱ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅲ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 4前 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 4後 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅰ | 4前 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅱ | 4後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | 構音障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 構音障害学Ⅱ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | 1 |
| | 構音障害学Ⅲ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 嚥下障害学 | 3前 | 2 | | | 2 | | 1 | | | 1 |
| | 吃音学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 聴覚検査学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 補聴器・人工内耳 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 小児聴覚障害学 | 3前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 成人聴覚障害学 | 3前 | 1 | | | 2 | | 1 | | | |
| | 音声言語医学 | 4後 | 1 | | | | | | | | 2 |
| | 聴覚医学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 臨床実習Ⅰ（見学実習） | 2前 | 1 | | | 2 | **2** | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅱ（評価実習） | 3後 | 4 | | | 2 | **2** | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅲ（総合実習） | 4前 | 8 | | | 2 | **2** | 2 | 1 | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 言語聴覚障害学研究法 | 3後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| 演習科目 | 言語聴覚療法学総合演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅱ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅲ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 4前 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 4後 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅰ | 4前 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅱ | 4後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |

【平成２７年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 5 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | |

【平成２８年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 5 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインA | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインB | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学A | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高次脳科学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 臨床神経学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 形成外科学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 耳鼻咽喉科学 | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 歯科・口腔外科学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 心理測定法 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語学 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語心理学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 音声学演習 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 音響学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 聴覚心理学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 言語発達学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| 展開科目 | 言語聴覚障害学概論Ⅰ | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 言語聴覚障害学概論Ⅱ | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | プロフェッショナル・セミナー | 4後 | | 2 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語発達障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 重複障害学 | 3後 | 1 | | | | | 1 | 1 | | |
| | 音声障害学 | 2前 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインA | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインB | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学A | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学B | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高次脳科学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 臨床神経学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 形成外科学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 耳鼻咽喉科学 | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 歯科・口腔外科学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 心理測定法 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語学 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語心理学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 音声学演習 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 音響学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 聴覚心理学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 言語発達学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| 展開科目 | 言語聴覚障害学概論Ⅰ | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 言語聴覚障害学概論Ⅱ | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | プロフェッショナル・セミナー | 4後 | | 2 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語発達障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 重複障害学 | 3後 | 1 | | | | | 1 | 1 | | |
| | 音声障害学 | 2前 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | 構音障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 構音障害学Ⅱ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | 1 |
| | 構音障害学Ⅲ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 嚥下障害学 | 3前 | 2 | | | 2 | | 1 | | | 1 |
| | 吃音学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 聴覚検査学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 補聴器・人工内耳 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 小児聴覚障害学 | 3前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 成人聴覚障害学 | 3前 | 1 | | | 2 | | 1 | | | |
| | 音声言語医学 | 4後 | 1 | | | | | | | | 2 |
| | 聴覚医学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 臨床実習Ⅰ（見学実習） | 2前 | 1 | | | 2 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅱ（評価実習） | 3後 | 4 | | | 2 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅲ（総合実習） | 4前 | 8 | | | 2 | 1 | 2 | 1 | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 言語聴覚障害学研究法 | 3後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| 演習科目 | 言語聴覚療法学総合演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅱ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅲ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 4前 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 4後 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅰ | 4前 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅱ | 4後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | 構音障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 構音障害学Ⅱ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | 1 |
| | 構音障害学Ⅲ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 嚥下障害学 | 3前 | 2 | | | 2 | | 1 | | | 1 |
| | 吃音学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 聴覚検査学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 補聴器・人工内耳 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 小児聴覚障害学 | 3前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 成人聴覚障害学 | 3前 | 1 | | | 2 | | 1 | | | |
| | 音声言語医学 | 4後 | 1 | | | | | | | | 2 |
| | 聴覚医学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 臨床実習Ⅰ（見学実習） | 2前 | 1 | | | 2 | **2** | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅱ（評価実習） | 3後 | 4 | | | 2 | **2** | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅲ（総合実習） | 4前 | 8 | | | 2 | **2** | 2 | 1 | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 言語聴覚障害学研究法 | 3後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| 演習科目 | 言語聴覚療法学総合演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅱ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅲ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 4前 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 4後 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅰ | 4前 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅱ | 4後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |

【平成２９年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 6 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインＡ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインＢ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ａ | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 解剖生理学Ｂ | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 高次脳科学 | 2前 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 臨床神経学 | 2後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 形成外科学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 耳鼻咽喉科学 | 2前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 歯科・口腔外科学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 心理測定法 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語学 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 言語心理学 | 1後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 音声学演習 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 音響学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 聴覚心理学 | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 言語発達学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| 展開科目 | 言語聴覚障害学概論Ⅰ | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 言語聴覚障害学概論Ⅱ | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | プロフェッショナル・セミナー | 4後 | | 2 | | 4 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 失語・高次脳機能障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語発達障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅱ | 3前 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 言語発達障害学Ⅲ | 3後 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 1 |
| | 重複障害学 | 3後 | 1 | | | | | 1 | 1 | | |
| | 音声障害学 | 2前 | 2 | | | 2 | | | | | 1 |
| | 構音障害学Ⅰ | 2後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 構音障害学Ⅱ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | 1 |
| | 構音障害学Ⅲ | 3前 | 1 | | | 1 | | | 1 | | |
| | 嚥下障害学 | 3前 | 2 | | | 2 | | 1 | | | 1 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | 吃音学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 聴覚検査学 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 補聴器・人工内耳 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 小児聴覚障害学 | 3前 | 2 | | | 1 | | 1 | | | |
| | 成人聴覚障害学 | 3前 | 1 | | | 2 | | 1 | | | |
| | 音声言語医学 | 4後 | 1 | | | | | | | | 2 |
| | 聴覚医学 | 4後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 臨床実習Ⅰ（見学実習） | 2前 | 1 | | | 2 | 2 | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅱ（評価実習） | 3後 | 4 | | | 2 | 2 | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習Ⅲ（総合実習） | 4前 | 8 | | | 2 | 2 | 2 | 1 | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | 1 | | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 言語聴覚障害学研究法 | 3後 | 1 | | | 1 | | | | | |
| 演習科目 | 言語聴覚療法学総合演習Ⅰ | 4前 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅱ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 言語聴覚療法学総合演習Ⅲ | 4後 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 4前 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 4後 | | 1 | | 4 | | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅰ | 4前 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |
| | 文献購読Ⅱ | 4後 | | 1 | | | 1 | 1 | | | |

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

**【平成２７年度】**

・教育課程の充実をはかるため、「スポーツ実技」の担当者に兼任教員２名を追加し、教員配置を「兼３」から「兼５」に変更。
・教育課程の充実をはかるため、「総合英語Ⅰ」の兼担・兼任教員の配置を「兼７」から「兼８」に変更。
・教育課程の充実をはかるため、「総合英語Ⅱ」の兼担・兼任教員の配置を「兼７」から「兼８」に変更。

**【平成２８年度】**

・教学体制充実のため、「臨床実習Ⅰ（見学実習）」の専任教員等の配置の准教授を「１」から「２」に変更、平成２８年１月教員審査済。
・教学体制充実のため、「臨床実習Ⅱ（評価実習）」の専任教員等の配置の准教授を「１」から「２」に変更、平成２８年１月教員審査済。
・教学体制充実のため、「臨床実習Ⅲ（総合実習）」の専任教員等の配置の准教授を「１」から「２」に変更、平成２８年１月教員審査済。

**【平成２９年度】**

・「スポーツ実技」の担当者に兼任講師１名を加え、教員配置を「兼５」から「兼６」に変更。
・「食の安全安心」の担当者に兼任講師１名を加え、教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。

**【平成３０年度】**

特になし

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
　　変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、
　　平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計（A） | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 58 科目 | 71 科目 | 0 科目 | 129 科目 | 58 科目 [ 0 ] | 71 科目 [ 0 ] | 0 科目 [ 0 ] | 129 科目 [ 0 ] | |

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を
　　記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単 位 数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由，代替措置の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単 位 数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由，代替措置の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{129} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

## ３　施設・設備の整備状況，経費

| 区　　分 | | 内　　容 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) 校地等 | 区　　分 | 専　　用 | 共　　用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | |
| | 校舎敷地 | 137,328.84㎡<br>~~138,026.40㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 137,328.84㎡<br>~~138,026.40㎡~~ | 借地面積<太秦><br>32,571.96㎡<br>借用期間：60年<br>購買部駐車場分(697.59㎡)を校舎敷地からその他に変更(27) |
| | 運動場用地 | 64,393.49㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 64,393.49㎡ | |
| | 小　　計 | 201,722.33㎡<br>~~202,419.89㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 201,722.33㎡<br>~~202,419.89㎡~~ | |
| | そ の 他 | 62,603.59㎡<br>~~61,906.03㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 62,603.59㎡<br>~~61,906.03㎡~~ | |
| | 合　　計 | 264,325.92㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 264,325.92㎡ | |
| (2) 校　　舎 | | 専　　用 | 共　　用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | 食品開発センター登記時に0.54㎡増加、倉庫119.88㎡、購買部199.6㎡追加(27)<br>京都太秦キャンパス登記時に89.64㎡減少(28) |
| | | 65,169.11㎡<br>~~65,258.75㎡~~<br>~~64,938.73㎡~~<br>65,258.75㎡<br>~~(64,938.73㎡)~~ | 0㎡<br>(　　0㎡) | 0㎡<br>(　　0㎡) | 65,169.11㎡<br>~~65,258.75㎡~~<br>~~64,938.73㎡~~<br>65,258.75㎡<br>~~(64,938.73㎡)~~ | |

| (3) 教室等 | 講義室 | 演習室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | バイオ環境館演習室2室を研究室に変更(28)<br>情報処理教室を一般教室に転用したため(30) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 82室 | 49室<br>~~51室~~ | 96室 | 12室<br>~~13室~~<br>(補助職員　4人) | 2室<br>(補助職員　2人) | |

| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | 室　　数 | |
|---|---|---|---|
| | 健康医療学部　言語聴覚学科 | 8 | 室 |

| (5) 図書・設備 | 新設学部等の名称 | 図書<br>〔うち外国書〕<br>冊 | 学術雑誌<br>〔うち外国書〕<br>種 | 電子ジャーナル<br>〔うち外国書〕 | 視聴覚資料<br>点 | 機械・器具<br>点 | 標本<br>点 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 健康医療学部<br>言語聴覚学科 | 28,664〔1,493〕<br>29,536〔1,501〕<br>~~29,273〔1,501〕~~<br>~~28,346〔1,491〕~~<br>~~(27,734〔1,463〕)~~ | 33〔5〕<br>33〔5〕 | 15〔5〕<br>15〔5〕 | 30<br>85<br>~~36~~<br>~~(12)~~ | —<br>(—) | —<br>(—) | 大学全体での共用部を含む図書 26,785冊<br>〔1,395冊〕<br>図書の充実を行ったため(28)(29)(30) |
| | 計 | 28,664〔1,493〕<br>29,536〔1,501〕<br>~~29,273〔1,501〕~~<br>~~28,346〔1,491〕~~<br>~~(27,734〔1,463〕)~~ | 33〔5〕<br>33〔5〕 | 15〔5〕<br>15〔5〕 | 30<br>85<br>~~36~~<br>~~(12)~~ | —<br>(—) | —<br>(—) | |

| (6) 図書館 | 面　　積 | 閲覧座席数 | 収納可能冊数 |
|---|---|---|---|
| | 4228.97㎡ | 703席 | 462,000冊 |

| (7) 体育館 | 面　　積 | 体育館以外のスポーツ施設の概要 |
|---|---|---|
| | 5046.41㎡ | 野球場1面、テニスコート8面、弓道場1施設、ゴルフ練習場1施設、アーチェリー場1施設 |

| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区　　分 | 開設年度 | 完成年度 | 区　　分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 教員１人当り研究費等 | 260千円 | 260千円 | 図書購入費 | 3000千円 | 3000千円 | 3000千円 |
| | | 共同研究費等 | 1500千円 | 6000千円 | 設備購入費 | 1000千円 | 1000千円 | 1000千円 |

| 学生１人当り納付金 | 第１年次 | 第２年次 | 第３年次 | 第４年次 | 第５年次 | 第６年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1600千円 | 1450千円 | 1450千円 | 1450千円 | －千円 | －千円 |

| 学生納付金以外の維持方法の概要 | 私立大学等経常費補助金、資産運用収入　等 |
|---|---|

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# ４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

| 大学の名称 | 京都学園大学 | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次<br>人 | 人 | | 倍 | | | |
| 経済経営学部 | | | | | | 1.17 | | | |
| 経済学科 | 4 | 170 | ― | 620 | 学士（経済学） | 1.16 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | 経済学科、経営学科入学定員<br>平27～29　150<br>平30～　170 |
| 経営学科 | 4 | 170 | ― | 620 | 学士（経営学） | 1.19 | 平成27年度 | | |
| 人文学部 | | | | | | 0.90 | | | |
| 心理学科 | 4 | 80 | ― | 320 | 学士（人文） | 0.80 | 平成27年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 歴史文化学科 | 4 | 90 | ― | 360 | 学士（人文） | 0.99 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | |
| バイオ環境学部 | | | | | | 0.81 | | | |
| バイオサイエンス学科 | 4 | 65 | ― | 335 | 学士（バイオ環境） | 0.76 | 平成18年度 | | ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ学科入学定員<br>平27～29　90<br>平30　65 |
| バイオ環境デザイン学科 | 4 | 55 | ― | 235 | 学士（バイオ環境） | 0.87 | 平成18年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | ﾊﾞｲｵ環境ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科入学定員<br>平27～29　60<br>平30　55 |
| 食農学科 | 4 | 70 | ― | 310 | 学士（バイオ環境） | 0.83 | 平成27年度 | | 食農学科入学定員<br>平27～29　80<br>平30　70 |
| 健康医療学部 | | | | | | 1.08 | | | |
| 看護学科 | 4 | 80 | ― | 320 | 学士（看護学） | 1.12 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | |
| 言語聴覚学科 | 4 | 30 | ― | 120 | 学士（言語聴覚学） | 0.93 | 平成27年度 | | |
| 健康スポーツ学科 | 4 | 90 | ― | 360 | 学士（健康ｽﾎﾟｰﾂ学） | 1.09 | 平成27年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 経済学部 | | | | | | | | | |
| 経済学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（経済学） | ― | 昭和44年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 経営学部 | | | | | | | | | |
| 経営学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（経営学） | ― | 平成3年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 事業構想学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（経営学） | ― | 平成14年度 | | 平成27年より学生募集停止 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法学部 | | | | | | | | | |
| 法学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（法学） | ― | 平成元年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 人間文化学部 | | | | | | | | | |
| 心理学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| メディア社会学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| 歴史民俗・日本語日本文化学科 | | | | | | | | | |
| 歴史民俗学専攻 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 日本語日本文化専攻 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| 国際ヒューマン・コミュニケーション学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成21年度 | | 平成27年より学生募集停止 |

| 大学の名称 | 京都学園大学　大学院 | 備考 |
|---|---|---|

| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 年 | 人 | 年次<br>人 | 人 | | 倍 | | | |
| 経済学研究科 | | | | | | | | | |
| 経済学専攻 | 2 | 5 | ― | 10 | 修士（経済学） | 0.70 | 平成7年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 経営学研究科 | | | | | | | | | |
| 経営学専攻 | 2 | 5 | ― | 10 | 修士（経営学） | 0.30 | 平成7年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 法学研究科 | | | | | | | | | |
| ビジネス法学専攻 | 2 | ― | ― | ― | 修士（法学） | ― | 平成6年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成30年より学生募集停止 |
| 人間文化研究科 | | | | | | | | | |
| 人間文化専攻 | 2 | 10 | ― | 20 | 修士（文化研究）<br>修士（社会情報）<br>修士（心理学） | 0.55 | 平成14年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| バイオ環境研究科 | | | | | | | | | |
| 博士課程前期<br>バイオ環境専攻 | 2 | 20 | ― | 40 | 修士（バイオ環境） | 0.07 | 平成22年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 博士課程後期<br>バイオ環境専攻 | 3 | 3 | ― | 9 | 博士（バイオ環境） | 0.11 | 平成22年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## ６　留意事項等に対する履行状況等

| 区　　分 | 留　意　事　項　等 | | 履　行　状　況 | 未履行事項についての実施計画 |
|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・学生確保の見通しについて継続的な分析を行い、より実効性のある学生確保の取組となるよう、分析結果を踏まえて不断に見直し、長期的かつ安定的な学生確保に努めること。 | 留意事項1 | ・【平成27年度入試の結果と分析】<br>　平成27年度の健康医療学部言語聴覚学科の入試では、定員30名に対して、受験者数32名、合格者数26名、入学者数は19名（63.3%）に留まり、定員を充足できなかった。入試区分別にみると、最も定員の多い一般入試Ａ日程で、定員15名に対して志願者が10名（0.7倍）と少なく、合格者の手続き率も低かったこと（50%）が問題点であろう。この原因としては、言語聴覚士という職種が京都府を中心とする関西圏の受験生に十分知られていないことが考えられる。また、指定校入試（平成26年11月実施）では13校を指定したが、このうち志願者は、2校からの2名に留まった。<br><br>【平成28年度入試に向けた改善策】<br>・高校訪問、出前授業、入試説明会等の広報活動の強化<br>　従来型の広報活動（テレビＣＭ、公共施設や新聞などへの広告掲載、大学ホームページの強化）に加え、学科専任教員および入学センター職員による高校訪問を早期から実施する。高校訪問は、関西圏の高校を重点的に行うが、言語聴覚士養成校の少ない福井県、石川県、鳥取県など近隣地域の高校にも範囲を広げる。その際、特にオープンキャンパス来場者の高校には訪問する。入試説明会を実施し、学科説明、学内職種説明会、模擬授業の要請にも積極的に応じる。<br>・講演会等の社会的活動の実施<br>　地域住民を対象とした講演会、有資格者を対象としたセミナー、各種研修会、高校生論文コンテストなどの社会的活動を実施して、言語聴覚士および本学科の周知の機会を作る。 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | | （留意事項１） | ・オープンキャンパスの充実<br>　本学科の学生の参加など、オープンキャンパスの強化を図る。平成27年3月に実施したオープンキャンパスでは、前年に比べて本学科を希望する参加者が多くみられた。<br>・近隣府県に留まらない広報活動<br>　言語聴覚士養成校一覧を掲載するネット上のサイトのうち、本学が一覧に掲載されていないサイトが多いので、至急本学の名前の掲載を依頼する。<br>・その他<br>　本学科と言語聴覚士を紹介するリーフレットを作成し、オープンキャンパスや高校訪問などで活用する。オープンキャンバスに参加した高校生や、資料請求のあった高校生には、別途ダイレクトメールを送る等、本学科の活動状況を継続して発信していく。（27） | | |
| | | | 【平成28年度入試の結果と分析】<br>　平成28年度の健康医療学部言語聴覚学科の入試では、定員30名に対して、入学者数33名と入学定員を確保することができた。入試区分別にみると推薦入試が24名、一般入試が9名であった。一般入試による入学者を増すことが今後の課題と考えられる。（28） | 履行済 | 【平成29年度入試に向けた改善計画】<br>　基本的に高校訪問、出前授業等の強化、オープンキャンパスの充実など、平成28年度入試の対策を継承していくが、特に、言語聴覚士という職業の啓発活動、全国規模の広報活動の強化、在学生の教育の充実によって入学者を確保する計画である。在学生の教育の充実によって3年後の国家試験の合格率を高め、有能な言語聴覚士が育成され、入学希望者の掘り起こしに繋がるものと考えている。（28） |
| | | | ・平成29年度の健康医療学部言語聴覚学科の入試では、定員30名に対して、入学者数は26名（86.6%）に留まり、定員を充足できなかった。入試区分別にみると、推薦入試が18名、一般入試が7名、センター利用入試が1名で、一般入試の受験者数が少なく、手続き率も低かった。（29） | | ・高校訪問、出前授業等の強化、オープンキャンパスの充実、在学生の教育の充実など、平成29年度入試の対策を継承していくが、特に、全国からの受験生の増加を図るために、言語聴覚士の仕事の内容の紹介を含めたホームページの充実を図る。（29） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | | （留意事項１） | ・平成30年度の健康医療学部言語聴覚学科の入試では、定員30名に対して、入学者数は34名（113.3%）と、定員を確保することができた。入試区分別にみると、推薦入試が20名、一般入試が12名、センター利用入試が2名で、一般入試の入学者数がやや増えたとはいえ依然として少ないので、これをさらに増やすことが今後の課題である。（30） | | ・高校訪問、出前授業等の強化、オープンキャンパスの充実、在学生の教育の充実など、平成30年度入試の対策を継承し、引き続き、全国からの受験生の増加を図るために、言語聴覚士の仕事の内容の紹介を含めたホームページの充実を図る。新たに平成31年度入試から、課題および指示の理解力・思考力，他者との協調性・コミュニケーション力および状況判断・他者洞察力を多面的に評価する目的でAO入試を導入する。（30） |
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・本学が掲げている４年制大学における言語聴覚士の育成方針（①患者の個別性を理解できる教養豊かなセラピストの養成、②専門科目を系統的に学習できる時間的余裕とそれを支える教員の臨床教育能力の確保、③研究者マインドを持った臨床家の養成）が担保されるよう、教育内容や体制の一層の充実に努めること。 | 留意事項２ | ・本学が掲げる言語聴覚士の育成方針が担保されるよう、設置計画の履行に努めるとともに、後述の（１）、（２）、（３）の通り、教育内容や体制の一層の充実に努めることとしている。（27） | | |
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | （１）「失語・高次脳機能障害学Ⅰ」など講義と演習を併用して行う授業科目については、言語聴覚士を養成するための適切な学修時間の確保という観点から、講義と演習とを別の授業科目として開設するなど、授業内容の一層の充実に努めること。 | （留意事項２（１）） | （１）言語聴覚領域の専門科目では、知識と技術の修得を表裏一体と捉え、講義の後に演習を行うことで、知識と連動した技術を身に付けることを目的としている。このため多くの科目で2講時連続の授業とするなど適切な授業時間を確保するよう努めている。科目内の講義と演習を一体的に捉えることは、学生の学修効率を高めることが期待できる点でも有益と考えている。<br>　知識と技術を身に付けるための適切な学修時間の確保という観点からあらためて見直した結果、以下の通り修正を行う。（科目名および単位数、科目担当者の変更はない。）<br>　言語聴覚士を養成するための適切な学修時間の確保という観点から、講義と演習を併用して行う専門科目17科目のうち14科目について授業時間の見直しを行い、講義と同様に演習の授業時間を十分確保するとともに、授業内容の一層の充実に努めることとする。（別紙資料②「表：専門科目での講義と演習の配分」、「授業科目の概要（抜粋）」参照）（27） | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | （留意事項２（１））<br> | 専門科目は、２コマ続きで講義・演習を組み合わせ、基本・重要事項の定着をはかる取り組みを始めている。平成28年度前期に開講の音声障害学では、模型での説明と描画を取り入れて発声器官の解剖生理の理解をはかり、演習では内視鏡での喉頭観察や声の評価により基本的な臨床スキルを学生が身につけるように講義・演習に教員が取り組んでいる。（28）<br><br>・専門領域では、講義・演習を組み合わせ、基本・重要事項の定着を図る工夫をしている。2年後期の聴覚検査学では、基本的な検査法の習熟を目的に、講義に引き続いて演習で、種々の難聴患者の反応を模擬したソフトウェアを用いて検査技術の習得、向上を図っている。機器を使用しての演習は、少人数のグループで行えるようローテーション制を取り入れている。(29)<br><br>・講義と連続して行う演習では、講義で学んだ基本・重要事項が定着するように、機器等を用いた演習や、学生同士を模擬患者とした検査や訓練を行い、知識と連動した技術を身につけることができる内容としている。(30) | 履行済 | |
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | （２）臨地実習の成績評価について、出席したことをもって評価されることのないよう、各臨地実習の教育目標に照らした学生の到達度を評価するなど適切に実施すること。 | （留意事項２（２））<br> | （２）臨床実習は、5分の4以上の出席を学生に求め、その上で、修得すべき事項を達成できたかをもとに、臨床実習の指導者と教員で評価を行う。<br>　臨床実習マニュアルでは、学生の評価の項で、当該実習での達成目標と評価基準を示している（別紙資料③「臨床実習の目標」）。臨床実習の担当教員は、臨床実習前のガイダンスで学生に説明するとともに、臨床実習の指導者には、臨床実習の評価が適切にできるように説明の場（臨床実習指導者会議）を設ける予定である。（27） | 履行済 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | | （留意事項２（２）） | 臨床実習(I)見学実習については、実習施設・指導者と学生のマッチングを終え、指導者会議と事前・事後学習を大学で行う。４月２３日の臨床実習指導者会議では、臨床実習のあり方を指導者と学生に示し、本学の臨床実習の課題と学生評価（出席、達成度）について説明をした。事前学習として、６月～８月に、対象者の情報収集、障害別の観察方法といった見学実習の課題についての講義・演習で、学生のスキルを高める。事後学習では、臨床実習での達成度を学生評価と学生面談で明らかにして、個別指導を行う予定である。（28）<br><br>・臨床実習Ⅰ（見学実習）と臨床実習Ⅱ（評価実習）については、実習施設・指導者と学生のマッチングを終え、指導者会議と事前・事後学習を大学で行う。4月22日の臨床実習指導者会議では、臨床実習のあり方を指導者と学生に示し、本学の臨床実習の課題と学生評価（達成度）について説明をした。事前学習として、臨床実習Ⅰは5月～7月に、臨床実習Ⅱは10月～11月に、対象者の情報収集、障害別の観察方法といった見学実習の課題、評価の全体像と個別の検査や情報収集といった評価実習の課題について、講義・演習を行う。事後学習では、臨床実習での達成度を学生評価と学生面談で明らかにして、個別指導を行う予定である。(29)<br><br>・臨床実習Ⅰ（見学実習）、臨床実習Ⅱ（評価実習）、臨床実習Ⅲ（総合実習）のそれぞれについて、実習施設・指導者と学生のマッチングを終え、指導者会議と事前・事後学習を大学で行う。4月21日の臨床実習指導者会議では、臨床実習のあり方を指導者と学生に示し、本学の臨床実習の課題と学生評価（達成度）について説明をした。事前学習として、臨床実習Ⅰは5月～7月に、臨床実習Ⅱは10月～11月に、臨床実習Ⅲは４月～５月に、対象者の情報収集、障害別の観察方法といった見学実習の課題、評価の全体像と個別の検査や情報収集といった評価実習の課題、対象児・者の状態と目標に適った治療を計画し適切に実施するという総合実習の課題について、講義・演習を行う。事後学習では、臨床実習での達成度を学生評価と学生面談で明らかにして、個別指導を行う予定である。(30) | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | （３）教員の「勤務日数」が平均して４日となっているが、各教員が大学の目的を達成するために教育研究を実施していることを踏まえれば、「週１日の研究時間」も当然「勤務日数」に含めるべきものであるため、適切に修正すること。仮に、教員の「勤務日数」が４日であるとしても、学生に対する安全管理やオフィスアワーにおける相談・指導に支障がないようにすること。 | （留意事項２（３）） | （３）専任教員の勤務日数は、「週5日（研究日1日を含む）」とし、講義ならびに学生の教育指導にあたる。研究や臨床・社会活動のための出張はあっても、学生の教育と指導に支障がないように、教員同士の連携をはかる。<br>　オフィスアワーはホームページの教員時間割に明記し、各週の状況により、教員は研究室前に掲示をする。学生は、授業科目の内容や進め方についての質問の他、生活や就職などの相談など、教員と面談ができるようにしている。（27）<br><br>　専任教員は、教育、臨床、研究、社会活動のバランスをとり、週５日間の勤務を行っている。専門科目の教授、臨床実習の事前・事後学習での講義・演習はもとより、学生の面談を行い、学科教員で情報を共有しながら、個々の学生に教育・生活上の指導を行うことができている。（28）<br><br>・専任教員は、教育、臨床、研究、社会活動のバランスをとり、週５日間の勤務を行っているが、専門科目の教授、臨床実習の事前・事後学習での講義・演習はもとより、学生指導に努めている。各教員は、専門科目等の教室が同一フロアであることもあり、オフィスアワーに限らず、授業内容の質問、生活上の相談等に対応している。(29)<br><br>・専任教員は、教育、臨床、研究、社会活動のバランスをとって週５日間の勤務を行っており、専門科目の教授、臨床実習の事前・事後指導などとともに学生指導にも努めている。各教員は、研究室と教室が同一フロアであることもあり、オフィスアワーに限らず、授業内容の質問、生活上の相談等に対応している。(30) | 履行済 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 | 留意事項３ | ・永年継続的に学科を運営する教員を配置するために、完成年度末時点で定年年齢を越える教員の補充を行う。完成年度後も、教員間の学問領域、年代のバランスを考えて補充を行う。教員採用の方針においては定年規程の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成になるように努める。教員の募集は、学会での活動をモニタリングすることによる教員資格者の発掘、修士号もしくは博士号の取得者（若手）との学会場内での面談、学科内での教員公募の意見交換、などの定期的な活動を通して行うこととする。（27）<br><br>【平成２８年度の改善状況】<br>定年規定の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成となるよう努めるという方針に従って、平成28年4月から教員審査を受けた60歳の教員が新たに着任した。（28）<br><br>・バランスのとれた年齢構成となるよう、完成年度に退職する定年年齢を越えた教員の後任の選考条件を決め、これに基づいて該当する学外の人材に応募の意思を打診する作業を開始している。(29)<br><br>・バランスのとれた年齢構成となるよう、完成年度に退職する定年年齢を越えた教員の後任の選考条件を決め、これに基づいて該当する学外の人材に応募の意思を打診する作業を行っている。教員の募集と選考を行い、完成年度以降の教育に支障が出ないように進めていく。(30) | 未履行 | 【今後の改善計画】<br>今後も、定年規定の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成になるように努めるとともに、教員組織編成の将来構想を検討する。（28） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置計画履行状況調査時（２８年２月） | 健康医療学部言語聴覚学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 | 改善意見 | 平成28年度の健康医療学部言語聴覚学科の入試では、最終的に定員30名に対して、入学者数33名と入学定員を確保することができた。このことから、一般入試による入学者が少ないなどの課題はあるが、次年度の入試も今年度と同じ入学定員で実施したい。(28) | | |
| | 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 定年規定の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成となるよう努めるという方針に従って、平成28年4月から教員審査を受けた60歳の教員が新たに着任した。(28) | | 今後も、定年規定の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成になるように努めるとともに、教員組織編成の将来構想を検討する。(28) |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | ・定年規定の趣旨を踏まえつつ、バランスのとれた年齢構成になるように、教員組織編成の将来構想を検討してる。現時点では、教員の専門領域のバランスは取れていると考えているので、教員の退職時には、その教員と同じ専門分野の教員（准教授クラス）を採用することとしたい。年齢的には20代、30代の若手教員が少ないので、この年代の優秀な若手教員の確保にも努めていきたい。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 | 改善意見 | 教員構成とカリキュラム構成、研究活動とはリンクすることを理解しており、学科内若手教員を中心に完成年度以降のカリキュラム検討にすでに入っており、毎月一回の会議で検討し、必要に応じて定例学科会議で進捗状況を報告いただいている。この検討会議での提案を基にして全学的なカリキュラム改革とのバランスとも調整を加え、若手教員獲得を優先した採用人事計画をたてる予定である。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 定年規程の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていくため、教員組織編成の将来構想について検討を開始し、定年予定教員の担当分野の若手教員を公募し、２名を准教授として4/1付け採用と決定した。 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 人文学部心理学科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 | 改善意見 | オープンキャンパスや高校訪問等の学生確保の方法を改善した結果、人文学部心理学科の今年度定員充足率は、０．８３倍に回復することができた。次年度も、定員充足に向けてさらなる努力をしたい。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成29年は届出時の予定通りに進行している。設置時に申請していた京大名誉教授を迎え、退職年齢を越える専任教員は4名となった。今後とも専任教員の退職の際には、40～50歳代の人材を中心に、公募も含めて人選を行いつつ、人材を採用する計画である。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成３０年度末に退職が予定される教員(1名)について、教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、２０代、３０代の優秀な若手教員を確保していきたい。 | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用する計画である。(定年退職年齢を超える教員の割合は3/9から2/9に減少する計画である。) |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 | 改善意見 | 学科で検討した完成年度後の教員組織編成の将来構想に基づき、平成３０年度末に退職が予定される教員(3名)の後任人事のために、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用していく予定である。 | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用する計画である。(定年退職年齢を超える教員の割合は5/12から2/12に減少する計画である。) |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成２９年度の報告時には定年年齢を超える教員は６名であったが、平成２９年度末に３名が任期満了で退職となった。任期満了で退職となった教員の後任として５０歳代の教員２名を専任教員として経営学科に異動させた。平成３０年度に新たに１名が定年年齢を超えることになったが、定年年齢を超える教員数は４名に減少した。(定年退職年齢を超える教員の割合は6/22から4/20に減少した。) | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、若手教員の補充を行い、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていく計画である。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 定年年齢を超える１名（教職課程担当）の後任人事に伴って、当該教員を他学科に異動させたが、後任の選考の結果、採用には至らなかった。このため定年年齢を超える専任教員の数は1名減少し、３名となった。（定年退職年齢を超える教員の割合は4/11から3/10に減少した。） | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていく計画である。 |

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。
・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。
・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。
・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。
・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7　その他全般的事項

＜健康医療学部　言語聴覚学科＞

### （1） 設置計画変更事項等

| 設　置　時　の　計　画 | 変更内容・状況，今後の見通しなど |
|---|---|
| 該当なし | |

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### （2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

2013年10月に教育開発センターが設置され、教育開発センター長の下にFSD推進委員会を設置している。

なお、2016年8月1日の教育開発センター規程改正により、委員会名称を「FD・SD推進委員会」に変更している。(別紙①)

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2014年度　FSD推進委員会10回開催（2014.4.23、2014.5.14、2014.6.11、2014.7.9、2014.10.8、2014.11.12、2014.12.10、2015.1.14、2015.2.18、2015.3.11）

2015年度　FSD推進委員会9回開催（2015.4.8、2015.5.13、2015.6.10、2015.7.8、2015.10.7、2015.11.4、2015.12.9、2016.2.10、2016.3.9）

2016年度　FD・SD推進委員会10回開催（2016.4.13、2016.5.11、2016.6.8、2016.7.13、2016.9.7、2016.10.12、2016.11.9、2016.12.14、2017.2.8、2017.3.8）

2017年度　FD・SD推進委員会7回開催（2017.4.12、2017.5.17、2017.6.14、2017.7.12、2017.10.11、2017.12.13、2018.2.14）

2018年度　FD・SD推進委員会1回開催（2018.4.11）

ｃ 委員会の審議事項等

2014年度第1回（2014.4.23）
議題
（1）平成26年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成26年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤外部団体に関わるFD活動について（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業　等）
（3）平成26年度授業評価アンケート項目について（案）
報告事項
（1）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について

2014年度第2回（2014.5.14）
議題
（1）平成26年度外部団体への本学派遣委員の選任について
①大学コンソーシアム京都　FDフォーラム担当　委員
②大学コンソーシアム京都　FD研修企画　委員
報告事項
（1）平成26年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成26年度FSD推進委員会の運営メンバーについて
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について
（4）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について
（5）カリキュラム・マップおよびにツリーの策定について
（6）平成25年度人間力測定の結果について
（7）平成25年度カリキュラムマトリクスの集計結果について
（8）春学期の授業公開について

2014年度第3回（2014.6.11）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）平成26年度各学部FD活動および事務職員SD活動方針について
（2）春学期授業参観のアンケート調査の集計ならびに意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）平成25年度人間力測定の結果について
（5）平成26年度カリキュラムマトリクスの集計結果について
（6）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について
（7）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第4回（2014.7.9）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）第1回FD研修会の実施報告
（2）春学期公開授業の参観アンケートの各学部意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートについて
（4）学部及び研究科における成績評価基準の設定について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第5回（2014.10.8）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）第2・3回FD研修会ならびに第1回SD研修会の実施報告
（2）春学期の授業評価アンケートの結果について
（3）秋学期の授業公開の実施について
（4）秋学期授業評価アンケートの実施について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第6回（2014.11.12）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
（2）大学コンソーシアム京都FDフォーラムのポスターセッションの参加について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施について
（2）第4回FD研修会ならびに第2回SD研修会の実施報告
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第7回（2014.12.10）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）大学コンソーシアム京都FDフォーラムについて
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第8回（2015.1.14）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施状況について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第9回（2015.2.18）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施状況について
（2）ベストティーチャー賞の候補者について
（3）2014年度FD・SD推進活動の報告書作成について
（4）FD研修会、SD研修会の実施報告について
（5）大学コンソーシアム京都　FDフォーラムの参加者について
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第10回（2015.3.11）
議題
（1）2014年度FD・SD推進活動の報告書（案）について
（2）第9回FD研修会（案）について
報告事項
（1）平成26年度FSD推進委員会事業について
（2）ベストティーチャー賞について
（3）FD研修会の実施報告について
（4）大学コンソーシアム京都　FDフォーラムについて

2015年度第1回（2015.4.8）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤人間力測定について
⑥キャリアポートフォリオ（マイステップ）について
⑦カリキュラム・マトリックスについて
⑧外部団体に関わるFD活動について（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業、新人研修等）
（3）平成27年度の委員の分担について
報告事項
（1）2014年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2015年度第2回（2015.5.13）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）FD推進委員会事業に関わる全学的取組みについて
（2）2014年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（3）大学コンソーシアム京都FD企画研究委員会委員の選出について
その他
（1）2015年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD部会の方針について（依頼）

2015年度第3回（2015.6.10）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業公開アンケート集計ならびに各学部での意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）2014年度FD・SD推進活動報告書について
（5）大学コンソーシアム京都FD企画研究委員会委員の選出について
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）学部でのFD活動に関する経費について
（2）複数教員担当の授業科目に対する授業評価アンケートの取り扱いについて

2015年度第4回（2015.7.8）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業評価アンケートの実施状況について
（3）大学コンソーシアム京都FD事業担当者からの報告
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）IR委員会の実施状況について

2015年度第5回（2015.10.7）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成27年度秋学期授業公開の実施について
（3）平成27年度秋学期授業評価アンケートの実施について
報告事項
（1）第1回FD研修会のアンケート集計結果について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）FDフォーラムについて

2015年度第6回（2015.11.4）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートの実施について
（3）カリキュラム・マトリックスアンケート調査（シラバスへの表示方法の改定）について
報告事項
（1）平成27年度授業公開後の意見交換会について
（2）学生満足度調査の実施について
（3）第2回FD研修会のアンケート集計結果について
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第7回（2015.12.9）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度秋学期授業公開後の意見交換会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートのコメント入力について
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第8回（2016.2.10）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
報告事項
（1）平成27年度秋学期授業公開後の意見交換会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートについて
（3）ベストティーチャー賞の選出について
（4）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（5）FD研修会・SD研修会のアンケートについて
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第9回（2016.3.9）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
（2）平成27年度Best Teacher賞の選考について（案）
報告事項
（1）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第1回（2016.4.13）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤人間力測定について
⑥キャリアポートフォリオ（マイステップ）について
⑦外部団体に関わるFD活動について
（3）平成28年度の委員の分担について
報告事項
（1）2015年度FSD推進活動の報告書の作成について

2016年度第2回（2016.5.11）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）春学期授業評価アンケートの実施について
（2）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（3）2015年度 各事業の実施率について
その他
（1）2016年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD部会の方針について（依頼）

2016年度第3回（2016.6.8）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業公開アンケート集計ならびに各学部での意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）2015年度FD・SD推進活動報告書について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第4回（2016.7.13）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業評価アンケートの実施状況について
・未実施リスト
・集計表
・コメントへの対応
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
・春学期授業公開アンケートの意見交換会について
その他
・FD研修会の参加状況について
・春学期授業評価アンケート実施要領について

2016年度第5回（2016.9.7）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
報告事項
（1）春学期授業評価アンケートの実施状況について
・学生からのコメントの対応について
（2）授業公開の実施率について
（3）第1回FD研修会のアンケート集計結果について
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第6回（2016.10.12）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成28年度秋学期授業公開の実施について
（3）授業公開コメント提出方法の変更について
（4）秋学期授業評価アンケートの実施および、実施科目について
報告事項
（1）第2回FD研修会のアンケート集計結果について【資料4】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第7回（2016.11.9）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度授業公開後の意見交換会について
（2）第3回FD研修会のアンケート集計結果について【資料2】
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第8回（2016.12.14）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度授業公開後の意見交換会について【資料2】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第9回（2017.2.8）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度秋学期授業評価アンケートについて
①学生のコメントに対する対応について
②教員のコメント入力について
（2）ベストティーチャー賞の選出について
（3）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（4）FD研修会、SD研修会のアンケートについて
①第4回FD、第3回SD研修会アンケート
②第5回SD研修会アンケート
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）大学コンソーシアム京都「新任教員FD合同研修」の案内について

2016年度第10回（2017.3.8）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①SD研修会について
（2）2016年度ベストティチャー賞の選考について（案）
（3）授業評価アンケート集計表について（案）
（4）大学設置基準の改正に伴う、SD義務化について（案）
報告事項
（1）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について【資料5】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）大学コンソーシアム京都「新任教員FD合同研修」の案内について

2017年度第1回（2017.4.12）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤外部団体に関わるFD活動について
（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業　等）
（3）平成29年度の委員の分担について
報告事項
（1）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2017年度第2回（2017.5.17）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD推進部会の方針について（依頼）
（2）2017年度秋学期のFD・SD推進委員会の開催について

2017年度第3回（2017.6.14）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）事務職員一覧について
（3）Best Teacher賞について
報告事項
（1）2017年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD推進部会の方針について
（2）2016年度FD・SD推進活動報告書について
（3）授業公開アンケートについて
（4）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について

2017年度第4回（2017.7.12）
議題
（1）授業公開の各学部意見交換会について
（2）授業公開の方針確認について
（3）授業評価アンケートについて
（4）FD・SD推進活動報告書のWeb報告実施について
報告事項
（1）2017年度春学期　学生による授業評価アンケートについて
（2）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について

2017年度第5回（2017.10.11）
議題
（1）FD・SD研修会について
①2017年度の今後の予定
②FD研修会のビデオ視聴の取り扱いについて
（2）FD・SD推進活動報告書ネット掲載原案について
（3）授業公開の方針について
（4）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について
（2）その他

2017年度第6回（2017.12.13）
議題
（1）FD・SD研修会について
①2017年度の今後の予定
（2）授業公開について
（3）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について
（2）第23回FDフォーラムの開催について

2017年度第7回（2018.2.14）
議題
（1）FD・SD研修会について
（2）授業公開について
（3）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度FD・SD推進活動報告書作成スケジュールについて
（2）2017年度第7回FD・SD研修会のアンケート結果について
（3）次年度について

2018年度第1回（2018.4.11）
議題
（1）2018年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）2018年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
（3）2018年度の委員の分担について
報告事項
（1）2017年度FD・SD推進活動報告書の作成について

② 実施状況

ａ 実施内容

2014年度

・全学FD研修会・・・授業方法、中退予防、キャリア教育、ハラスメント対策、学生支援事業など

・SD研修会・・・各部署の現状・課題、情報の発信と共有、事務体制整備に向けた課題、教職協働の教育改善など

・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開

・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2015年度

・全学FD研修会・・・授業方法、中退予防、キャリア教育、ハラスメント対策、学生支援事業など

・SD研修会・・・副担任制度の現状と課題・学生支援のあり方についてなど

・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開

・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2016年度
・全学FD研修会・・・授業方法、メンタルヘルスケア、ハラスメント対策、ポリシー策定など
・SD研修会・・・グローバル化に求められる人材、奨学金など
・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開
・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰
2017年度
・全学FD研修会・・・科研費の管理運営、大学入試改革、授業の事例報告、カリキュラムツリー作成など
・SD研修会・・・障害のある学生支援、ハラスメント対策など
・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開
・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

b　実施方法
2014年度
・全学FD研修会・・・年9回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
・SD研修会・・・年4回実施
・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FSD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表
2015年度
・全学FD研修会・・・年6回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
・SD研修会・・・年1回実施
・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FSD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表
2016年度
・全学FD研修会・・・年7回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
・SD研修会・・・年6回実施（うち4回は全学FD研修会と共催）
・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表
2017年度
・全学FD研修会・・・年8回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
・SD研修会・・・年8回実施（うち5回は全学FD研修会と共催）
・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

c　開催状況（教員の参加状況含む）

2014年度

・全学FD研修会・・・2014.6.18（60名）、7.16（73名）、9.17（73名）、10.15（38名）、12.17（41名）、
2015.1.28（61名）、2.18（58名）、2.25（35名）、3.20（41名）

・SD研修会・・・2014.8.5（38名）、10.17（55名）、12.25（54名）、2015.2.12（44名）

・授業公開・・・（春学期）2014.5.26～5.31実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2014.11.5～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済学部（2014.7.24、11.19）、経営学部（2014.6.18、11.19）、
法学部（2014.6.18、11.19）、人間文化学部（2014.6.18、11.26）、
バイオ環境学部（2014.6.18、11.19）

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2015.3.14）

2015年度

・全学FD研修会・・・2015.6.17（64名）、9.16（83名）、12.16（48名）、
2016.1.20（43名）、2.17（58名）、3.16（61名）

・SD研修会・・・2015.12.22（82名）

・授業公開・・・（春学期）2015.5.25～5.30実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2015.11.5～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2015.7.15、12.16）、健康医療学部（2015.6.24、11.25）、
人文学部（2015.6.17、7.15、12.16）、バイオ環境学部（2015.6.17、12.16）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2016.3.12）

2016年度

・全学FD研修会・・・2016.7.20（105名）、9.21（83名）、10.19/11.16（85名）、
2017.1.18/25（82名）、1.20（45名）、2.9/15（67名）、2.10（20名）

・SD研修会・・・2016.8.8（32名）、10.19/11.16（19名）、
2017.1.18/25（68名）、2.9/15（53名）、2.10（12名）、3.22/23（36名）

・授業公開・・・（春学期）2016.5.27～6.9実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2016.10.31～11.12実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2016.6.27、11.24）、
健康医療学部（2016.6.22、9.1、11.30、12.22）、
人文学部（2016.6.15、11.16）、バイオ環境学部（2016.7.20、11.23）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2017.3.11）

2017年度

・全学FD研修会・・・2017.4.19/26（80名）、5.24（77名）、6.21（65名）、9.27（31名）
2017.9.29（25名）、11.22（26名）、2018.2.7（44名）、2.21/28（75名）

・SD研修会・・・2017.4.19/26（16名）、4.25（18名）、5.23/31（70名）、5/24（13名）、
2017.9.27（6名）、2018.1.26（55名）、2.7（22名）、2.21/28（21名）

・授業公開・・・（春学期）2017.5.26～6.9実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2017.10.30～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2017.6.21、11.15）、
健康医療学部（2017.6.28、7.11、7.26）、
人文学部（2017.6.21、11.22）、バイオ環境学部（2017.6.21、11.22）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2018.3.10）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学FD・SD推進委員会で検討された内容は、各学部のFD委員会において更に検討されている。
授業公開は、2013年度秋学期からは全科目（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く）で実施している。
授業参観後のアンケートをもとに、学部FD研修会等で科目担当者と参観者が活発に意見交換し、
授業改善を図っている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートの実施：有

実施時期：春学期・秋学期（各1回）

2014年度

・授業評価アンケート・・・2014.6.23～7.5、2014.12.1～12.13

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2015年度

・授業評価アンケート・・・2015.6.11～6.24、2015.11.25～12.8

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2016年度

・授業評価アンケート・・・2016.6.17～6.30、2016.11.28～12.10

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2017年度

・授業評価アンケート・・・2017.6.17～6.30、2017.11.27～12.9

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

授業評価アンケートの結果については、各科目担当の教員へフィードバックされる。担当教員は、受講生の評価・コメント（自由記述欄）に対して「京学なび」を通して回答を行う。科目分野、学部別の評価の集計結果をホームページで公表するとともに、個別結果については、教育修学支援センターで閲覧できるようにしている。2016年度秋学期からは、教員が「京学なび」に掲載した回答内容も閲覧できるようにしている。

アンケートに寄せられた自由記述は、学部FD推進委員及び学部長が点検し、必要に応じ該当教員と面談する。学部FD推進委員会は点検状況を全学FD・SD推進委員長に報告し、学部FD推進委員会、学部長は次回以降改善状況を点検する。

アンケート結果で著しく評価の低い授業については、学部FD推進委員会委員および学部長が点検し、必要に応じ該当教員と面談する。学部FD推進委員会は点検状況を全学FD・SD推進委員長に報告し、学部FD推進委員会、学部長は次回以降改善状況を点検する。

Best Teacher賞は、学生による授業評価アンケート結果で高評価を得た授業の科目担当者を学部FD推進委員会が学部長の意見を参考の上選出し、全学FD・SD推進委員会で決定後、学長が表彰するとともに、ホームページで公表する。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## （3） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康医療学部言語聴覚学科は、言語・聴覚や摂食・嚥下分野の基本的な評価と訓練・指導の技術を修得し、さらに隣接する幅広い分野の知識を備え、患者の状態を理解し、リハビリテーションに関する問題を医師らと連携しながら解決できる言語聴覚士の育成を目的としている。設置４年目の現段階では、４年次の臨床実習Ⅲ、総合演習、卒業研究、文献購読、音声言語医学、聴覚医学などで、学修成果の集大成となる教育がなされている。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、取り組みを進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成２９年６月１日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に（公財）日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、平成27年3月に適合の評価結果を得た。このため、平成33年度までに（公財）日本高等教育評価機構の認証評価を受けるべく、学内で検討を進めている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## （4） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30年 6月 1日 予定 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

# 1　調査対象大学等の概要等

## （1）設　置　者

学校法人京都学園

## （2）大　学　名

京都学園大学

## （3）大学の位置

〒６１５－８５７７
京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地
〒６２１－８５５５
京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## （4）管理運営組織

| 職　　名 | 設　　置　　時 | 変　更　状　況 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 理 事 長 | （タナベ　チカオ）<br>田　辺　親　男<br>（平成２４．１１．１７） | （ナガモリ　シゲノブ）<br>永　守　重　信<br>（平成３０．３．１７） | 任期満了に伴い変更（30） |
| 学　　長 | （ウチヤマ　タカオ）<br>内　山　隆　夫<br>（平成２２．４．１） | （シノハラ　ソウイチ）<br>篠　原　総　一<br>（平成２７．４．１） | 任期満了に伴い変更（27） |
| 学 部 長 | （ヒサ　ヤスオ）<br>久　　育　男<br>（平成２７．４．１） | | |
| 副学部長<br>（学科長等） | （ニシダ　ナオコ）<br>西　田　直　子<br>（平成２７．４．１） | | |
| 副学部長<br>（学科長等） | （ヤナギダ　ヤスヨシ）<br>柳　田　泰　義<br>（平成２７．４．１） | | |

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

## （５） 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

### （５）－① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称（学位） | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| | | 年 | 人 | 年次<br>人 | 人 | |
| 健康医療学部<br>健康スポーツ学科<br><br>学士（健康ｽﾎﾟｰﾂ学） | 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）<br><br>体育関係 | 4 | 90 | ― | 360 | |

（注）・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

### （５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分＼対象年度 | 平成２７年度 | | 平成２８年度 | | 平成２９年度 | | 平成３０年度 | | 平均入学定員超過率 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 人<br>90<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 人 | 人<br>90<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 人 | 人<br>90<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 人 | 人<br>90<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 人 | | |
| 志願者数 | 148<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 148<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 179<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 198<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | | |
| 受験者数 | 142<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 145<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 174<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 189<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 1.09倍 | |
| 合格者数 | 107<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 129<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 136<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 119<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | | |
| B 入学者数 | 78<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 104<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 109<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | 105<br>（ ― ）<br>[ ― ] | ―<br>（ ― ）<br>[ ― ] | | |
| 入学定員超過率 B／A | 0.86 | | 1.15 | | 1.21 | | 1.16 | | | |

（注）・ 数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・ （ ）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・ [ ]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

| 対象年度 / 学　年 | 平成２７年度 | | 平成２８年度 | | 平成２９年度 | | 平成３０年度 | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| １年次 | 78<br>[－]<br>（ － ） | 0<br>[－]<br>（ － ） | 104<br>[－]<br>（ － ） | 0<br>[－]<br>（ － ） | 109<br>[－ ]<br>（ － ） | 0<br>[－]<br>（ － ） | 105<br>[－]<br>（ － ） | 0<br>[－]<br>（ － ） | |
| ２年次 | | | 78<br>[－]<br>（ － ） | 0<br>[－]<br>（ － ） | 98<br>[－]<br>（ － ） | 0<br>[－]<br>（ － ） | 109<br>[－]<br>（ 1 ） | 0<br>[－]<br>（　） | |
| ３年次 | | | | | 74<br>[ － ]<br>（ － ） | 0<br>[ － ]<br>（ － ） | 96<br>[ － ]<br>（ 1 ） | 0<br>[ － ]<br>（ － ） | |
| ４年次 | | | | | | | 73<br>[ － ]<br>（－） | 0<br>[ － ]<br>（ － ） | |
| 計 | 78<br>[　－　]<br>（　－　） | | 182<br>[　－　]<br>（　－　） | | 281<br>[　－　]<br>（　－　） | | 383<br>[　－　]<br>（　2　） | | |

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 / 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | | 主な退学理由 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | 退学者数のうち留学生数 | |
| 平成27年度 | 78 人 | 1 人 | 平成27年度 | 1 人 | 人 | 修学意欲喪失(1人) |
| 平成28年度 | 183 人 | 10 人 | 平成27年度 | 4 人 | 人 | 修学意欲喪失(1人)、成績不振の為(1)、進路変更(2人) |
| | | | 平成28年度 | 6 人 | 人 | 進路変更(2)、就職(1人)、他の教育機関への入学・転学(2人)、修学意欲喪失(1人) |
| 平成29年度 | 281 人 | 3 人 | 平成27年度 | 0 人 | 人 | |
| | | | 平成28年度 | 2 人 | 人 | 学生個人に関する心身的な事情(1人)、就職(.1人) |
| | | | 平成29年度 | 1 人 | 人 | 進路変更(1人) |
| 平成30年度 | 383 人 | 0 人 | 平成27年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成28年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成29年度 | 人 | 人 | |
| | | | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| 合　計 | 925 人 | 14 人 | | | | |

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（〇人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{78} = 1.28\ \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{183} = 5.46\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{281} = 1.06\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{383} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

## 2　授業科目の概要

＜健康医療学部　健康スポーツ学科＞

（1）ー① 授業科目表

**【認可時又は届出時】**

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 5 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 5 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 5 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |

**【平成３０年度】**

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | **6** |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | **5** |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | **8** |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | **8** |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | **6** |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | **6** |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | **6** |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 1 | | | | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインＡ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインＢ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学Ａ | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学Ｂ | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 健康スポーツ総論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 発達段階と健康 | 1前 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 1 |
| | 救急・応急処置 | 1後 | 2 | | | | | 1 | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 健康スポーツトレーニング論 | 1前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | 健康スポーツトレーニング実習 | 1後 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | スポーツ原理 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 展開科目 | 健康医学（内科） | 2前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 健康医学（外科） | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生活習慣病 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | | 1 | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 学校保健 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康科学 | 3前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 応用生理学 | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 応用生化学 | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康と疫学 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | 健康とストレス | 3後 | | 2 | | | | 1 | | | |
| | メディカル画像解析 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 1 | | | | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインＡ | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインＢ | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学Ａ | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学Ｂ | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 健康スポーツ総論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 発達段階と健康 | 1前 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 1 |
| | 救急・応急処置 | 1後 | 2 | | | | | 1 | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 健康スポーツトレーニング論 | 1前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | 健康スポーツトレーニング実習 | 1後 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | スポーツ原理 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 展開科目 | 健康医学（内科） | 2前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 健康医学（外科） | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生活習慣病 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | | 1 | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 学校保健 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康科学 | 3前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 応用生理学 | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 応用生化学 | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康と疫学 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | 健康とストレス | 3後 | | 2 | | | | 1 | | | |
| | メディカル画像解析 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | 健康スポーツ心理学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | スポーツ運動学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツ指導方法論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ栄養学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 運動生理学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | 1 |
| | 運動発育発達論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | スポーツ社会学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツマネジメント | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツビジネス論 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツマーケティング論 | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 地域スポーツ経営論Ａ | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 地域スポーツ経営論Ｂ | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | セーフティプロモーション論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツ組織経営論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 専門外書講読 | 4前 | | 2 | | | 1 | 1 | | | |
| | 身体運動科学実習 | 2後 | | 1 | | 3 | | | | | |
| | 体力測定評価論 | 2後 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 体力測定評価実習 | 3前 | | 1 | | 4 | | | | | |
| | 健康運動療法論 | 3前 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 健康運動療法実習 | 3後 | | 1 | | 2 | | | | | |
| | 健康フィットネス論 | 2前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 健康フィットネス実習 | 2後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション実習 | 3後 | | 1 | | | 1 | | | | 1 |
| | 障がい者スポーツ論 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 障がい者スポーツレクリエーション実習 | 3前 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ａ | 3前 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ｂ | 3後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 実践プロジェクトＡ | 2前 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 実践プロジェクトＢ | 2後 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ａ | 3前 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ｂ | 3後 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| 演習科目 | 水泳 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | 3 |
| | 体つくり運動 | 1前・後 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 陸上競技 | 1前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | ダンス | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 器械運動 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 武道 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | ゴール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | 2 | | | | |
| | ベースボール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | ネット型球技 | 4前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 専門ゼミＡ | 3前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＢ | 3後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＣ | 4前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＤ | 4後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | 健康スポーツ心理学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | スポーツ運動学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツ指導方法論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ栄養学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 運動生理学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | 1 |
| | 運動発育発達論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | スポーツ社会学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツマネジメント | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツビジネス論 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツマーケティング論 | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 地域スポーツ経営論Ａ | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 地域スポーツ経営論Ｂ | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | セーフティプロモーション論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツ組織経営論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 専門外書講読 | 4前 | | 2 | | | 1 | 1 | | | |
| | 身体運動科学実習 | 2後 | | 1 | | 3 | | | | | |
| | 体力測定評価論 | 2後 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 体力測定評価実習 | 3前 | | 1 | | 4 | | | | | |
| | 健康運動療法論 | 3前 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 健康運動療法実習 | 3後 | | 1 | | 2 | | | | | |
| | 健康フィットネス論 | 2前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 健康フィットネス実習 | 2後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション実習 | 3後 | | 1 | | | 1 | | | | 1 |
| | 障がい者スポーツ論 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 障がい者スポーツレクリエーション実習 | 3前 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ａ | 3前 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ｂ | 3後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 実践プロジェクトＡ | 2前 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 実践プロジェクトＢ | 2後 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ａ | 3前 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ｂ | 3後 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| 演習科目 | 水泳 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | 3 |
| | 体つくり運動 | 1前・後 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 陸上競技 | 1前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | ダンス | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 器械運動 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 武道 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | ゴール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | 2 | | | | |
| | ベースボール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | 2 |
| | ネット型球技 | 4前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 専門ゼミＡ | 3前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＢ | 3後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＣ | 4前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＤ | 4後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 教職科目 | 教職入門 | 1前・後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育原論 | 1前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 発達と学習の心理学 | 1後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育制度論 | 1後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育課程論 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅰ | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅱ | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅲ | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅳ | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 道徳教育の指導法 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 特別活動論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育方法 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 生徒・進路指導論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育相談 | 3後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育実習事前指導Ⅰ | 3前 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | 教育実習事前指導Ⅱ | 3後 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | 教育実習Ａ | 4前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育実習Ｂ | 4前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教職実践演習 | 4後 | | | 2 | | | | | | 4 |

【平成２７年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 5 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 1 | | | | |

【平成２８年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 単位数 自由 | 専任教員等の配置 教授 | 専任教員等の配置 准教授 | 専任教員等の配置 講師 | 専任教員等の配置 助教 | 専任教員等の配置 助手 | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 5 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインA | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインB | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学A | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学B | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 健康スポーツ総論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 発達段階と健康 | 1前 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 1 |
| | 救急・応急処置 | 1後 | 2 | | | | | 1 | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 健康スポーツトレーニング論 | 1前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | 健康スポーツトレーニング実習 | 1後 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | スポーツ原理 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 展開科目 | 健康医学（内科） | 2前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 健康医学（外科） | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生活習慣病 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | | 1 | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 学校保健 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康科学 | 3前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 応用生理学 | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 応用生化学 | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康と疫学 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | 健康とストレス | 3後 | | 2 | | | | 1 | | | |
| | メディカル画像解析 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツ心理学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | スポーツ運動学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツ指導方法論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ栄養学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 運動生理学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | 1 |
| | 運動発育発達論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインA | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインB | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学A | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学B | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 健康スポーツ総論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 発達段階と健康 | 1前 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 1 |
| | 救急・応急処置 | 1後 | 2 | | | | | 1 | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 健康スポーツトレーニング論 | 1前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | 健康スポーツトレーニング実習 | 1後 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | スポーツ原理 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 展開科目 | 健康医学（内科） | 2前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 健康医学（外科） | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生活習慣病 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | | 1 | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 学校保健 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康科学 | 3前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 応用生理学 | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 応用生化学 | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康と疫学 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | 健康とストレス | 3後 | | 2 | | | | 1 | | | |
| | メディカル画像解析 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツ心理学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | スポーツ運動学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツ指導方法論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ栄養学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 運動生理学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | 1 |
| | 運動発育発達論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | スポーツ社会学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツマネジメント | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツビジネス論 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツマーケティング論 | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 地域スポーツ経営論Ａ | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 地域スポーツ経営論Ｂ | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | セーフティプロモーション論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツ組織経営論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 専門外書講読 | 4前 | | 2 | | | 1 | 1 | | | |
| | 身体運動科学実習 | 2後 | | 1 | | 3 | | | | | |
| | 体力測定評価論 | 2後 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 体力測定評価実習 | 3前 | | 1 | | 4 | | | | | |
| | 健康運動療法論 | 3前 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 健康運動療法実習 | 3後 | | 1 | | 2 | | | | | |
| | 健康フィットネス論 | 2前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 健康フィットネス実習 | 2後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション実習 | 3後 | | 1 | | | 1 | | | | 1 |
| | 障がい者スポーツ論 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 障がい者スポーツレクリエーション実習 | 3前 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ａ | 3前 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ｂ | 3後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 実践プロジェクトＡ | 2前 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 実践プロジェクトＢ | 2後 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ａ | 3前 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ｂ | 3後 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| 演習科目 | 水泳 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | 3 |
| | 体つくり運動 | 1前・後 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 陸上競技 | 1前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | ダンス | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 器械運動 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 武道 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | ゴール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | 2 | | | | |
| | ベースボール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | ネット型球技 | 4前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 専門ゼミＡ | 3前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＢ | 3後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＣ | 4前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＤ | 4後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | スポーツ社会学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツマネジメント | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツビジネス論 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツマーケティング論 | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 地域スポーツ経営論Ａ | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 地域スポーツ経営論Ｂ | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | セーフティプロモーション論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツ組織経営論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 専門外書講読 | 4前 | | 2 | | | 1 | 1 | | | |
| | 身体運動科学実習 | 2後 | | 1 | | 3 | | | | | |
| | 体力測定評価論 | 2後 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 体力測定評価実習 | 3前 | | 1 | | 4 | | | | | |
| | 健康運動療法論 | 3前 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 健康運動療法実習 | 3後 | | 1 | | 2 | | | | | |
| | 健康フィットネス論 | 2前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 健康フィットネス実習 | 2後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション実習 | 3後 | | 1 | | | 1 | | | | 1 |
| | 障がい者スポーツ論 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 障がい者スポーツレクリエーション実習 | 3前 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ａ | 3前 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ｂ | 3後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 実践プロジェクトＡ | 2前 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 実践プロジェクトＢ | 2後 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ａ | 3前 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ｂ | 3後 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| 演習科目 | 水泳 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | 3 |
| | 体つくり運動 | 1前・後 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 陸上競技 | 1前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | ダンス | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 器械運動 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 武道 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | ゴール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | 2 | | | | |
| | ベースボール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | ネット型球技 | 4前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 専門ゼミＡ | 3前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＢ | 3後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＣ | 4前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＤ | 4後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 教職科目 | 教職入門 | 1前・後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育原論 | 1前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 発達と学習の心理学 | 1後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育制度論 | 1後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育課程論 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅰ | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅱ | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅲ | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅳ | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 道徳教育の指導法 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 特別活動論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育方法 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 生徒・進路指導論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育相談 | 3後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育実習事前指導Ⅰ | 3前 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | 教育実習事前指導Ⅱ | 3後 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | 教育実習Ａ | 4前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育実習Ｂ | 4前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教職実践演習 | 4後 | | | 2 | | | | | | 4 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 教職科目 | 教職入門 | 1前・後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育原論 | 1前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 発達と学習の心理学 | 1後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育制度論 | 1後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育課程論 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅰ | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅱ | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅲ | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅳ | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 道徳教育の指導法 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 特別活動論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育方法 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 生徒・進路指導論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育相談 | 3後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育実習事前指導Ⅰ | 3前 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | 教育実習事前指導Ⅱ | 3後 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | 教育実習Ａ | 4前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育実習Ｂ | 4前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教職実践演習 | 4後 | | | 2 | | | | | | 4 |

【平成２９年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| ビジネス教養科目 | 経済学入門 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 4 |
| | 経営学入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 国際関係論入門 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 知的財産 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | コーポレートガバナンス | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスパーソンの常識 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 実用日本語 | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 市民教養科目 | 文学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 東洋史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 西洋史 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 哲学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命倫理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 法学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 社会学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 政治学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本国憲法 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 人権の歴史と現代 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 科学の歴史 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生物学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 物理学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 統計学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生命有機化学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | スポーツ実技 | 1前・後 | | 1 | | | | | | | 6 |
| | 健康スポーツ理論 | 1前・後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 食の安全安心 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ヘルスプロモーション | 1後 | | 2 | | 2 | | | | | |
| 情報分野 | 情報リテラシー | 1前 | | 1 | | | | | | | 4 |
| | 情報セキュリティ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 情報プレゼンテーション | 1後 | | 1 | | | | | | | 3 |
| | 情報社会 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 情報と職業 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 語学分野 | 総合英語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 総合英語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 8 |
| | 英語会話演習Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 英語会話演習Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス英語Ⅰ | 2前 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | ビジネス英語Ⅱ | 2後 | | 2 | | | | | | | 3 |
| | 中国語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 中国語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅠ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ハングルⅡ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ドイツ語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅰ | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | フランス語Ⅱ | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 日本語Ⅰ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語Ⅱ | 1前・後 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 日本語作文演習 | 1後・2前 | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 海外研修 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 演習 | スタートアップゼミＡ | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | | | | |
| | スタートアップゼミＢ | 1後 | | 2 | | 4 | 1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| キャリア教育科目 | キャリアデザインA | 1前 | 2 | | | | | | | | 7 |
| | キャリアデザインB | 1後 | | 2 | | | | | | | 7 |
| | 労働と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 仕事とキャリア形成 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ライフプランとファイナンス | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | ビジネスマナー実践講座 | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | ビジネス文書実践講座（日本語表現） | 2前・後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | インターンシップ | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | サービス・ラーニング | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 支持科目 | 健康医療学概論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学A | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 解剖生理学B | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 生化学 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 衛生学 | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 公衆衛生学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 栄養学 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 病理学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 内科学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 小児科学 | 2後 | | 1 | | | | | | | 8 |
| | 精神医学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション概論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 1 |
| | リハビリテーション医学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 音声学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 高次脳科学 | 2前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 臨床心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 発達心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 学習・認知心理学 | 2後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | カウンセリング論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 社会保障論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 保健医療情報学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 基礎科目 | 健康スポーツ総論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 発達段階と健康 | 1前 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 1 |
| | 救急・応急処置 | 1後 | 2 | | | | | 1 | | | 1 |
| | バイオメカニクス | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 健康スポーツトレーニング論 | 1前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | 健康スポーツトレーニング実習 | 1後 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | スポーツ原理 | 1後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| 展開科目 | 健康医学（内科） | 2前 | | 2 | | | | | | | 2 |
| | 健康医学（外科） | 2後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 生活習慣病 | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | チーム医療論 | 2後 | 1 | | | | | 1 | | | 3 |
| | 健康医療リスクマネジメント | 2後 | 1 | | | 1 | | | | | 2 |
| | 学校保健 | 2前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康科学 | 3前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 応用生理学 | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 応用生化学 | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康と疫学 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | | 1 |
| | 健康とストレス | 3後 | | 2 | | | | 1 | | | |
| | メディカル画像解析 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツ心理学 | 2前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| | スポーツ運動学 | 2前 | 2 | | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツ指導方法論 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ栄養学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 運動生理学 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | エイジングと運動 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | 1 |
| | 運動発育発達論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 展開科目 | スポーツ社会学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツマネジメント | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツビジネス論 | 3前 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 健康スポーツマーケティング論 | 3後 | | 2 | | | | | | | 1 |
| | 地域スポーツ経営論Ａ | 3前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 地域スポーツ経営論Ｂ | 3後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | セーフティプロモーション論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 健康スポーツ組織経営論 | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 専門外書講読 | 4前 | | 2 | | | 1 | 1 | | | |
| | 身体運動科学実習 | 2後 | | 1 | | 3 | | | | | |
| | 体力測定評価論 | 2後 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 体力測定評価実習 | 3前 | | 1 | | 4 | | | | | |
| | 健康運動療法論 | 3前 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 健康運動療法実習 | 3後 | | 1 | | 2 | | | | | |
| | 健康フィットネス論 | 2前 | | 2 | | 1 | | 1 | | | |
| | 健康フィットネス実習 | 2後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション論 | 3前 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 健康運動レクリエーション実習 | 3後 | | 1 | | | 1 | | | | 1 |
| | 障がい者スポーツ論 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| | 障がい者スポーツレクリエーション実習 | 3前 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ａ | 3前 | | 1 | | | | 1 | | | |
| | ストレングスコンディショニング実習Ｂ | 3後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 実践プロジェクトＡ | 2前 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 実践プロジェクトＢ | 2後 | | 2 | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ａ | 3前 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| | キャリアサポート実践講座Ｂ | 3後 | | 2 | | 3 | 1 | 2 | | | |
| 演習科目 | 水泳 | 1前 | 1 | | | 1 | | | | | 3 |
| | 体つくり運動 | 1前・後 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 陸上競技 | 1前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | ダンス | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 器械運動 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 武道 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | ゴール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | 2 | | | | |
| | ベースボール型球技 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | 2 |
| | ネット型球技 | 4前・後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 専門ゼミＡ | 3前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＢ | 3後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＣ | 4前 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |
| | 専門ゼミＤ | 4後 | 2 | | | 7 | 2 | 2 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 教職科目 | 教職入門 | 1前・後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育原論 | 1前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 発達と学習の心理学 | 1後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育制度論 | 1後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育課程論 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅰ | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅱ | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅲ | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 保健体育科教育法Ⅳ | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 道徳教育の指導法 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 特別活動論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育方法 | 2前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 生徒・進路指導論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育相談 | 3後 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育実習事前指導Ⅰ | 3前 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | 教育実習事前指導Ⅱ | 3後 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | 教育実習Ａ | 4前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教育実習Ｂ | 4前 | | | 2 | | | | | | 1 |
| | 教職実践演習 | 4後 | | | 2 | | | | | | 4 |

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

**【平成２７年度】**

・教育課程の充実をはかるため、「スポーツ実技」の兼任教員を2名追加し、教員の配置を「兼３」から「兼５」に変更。
・クラス増設のため、「総合英語Ⅰ」の兼担・兼任教員の配置を「兼７」から「兼８」に変更。
・クラス増設のため、「総合英語Ⅱ」の兼担・兼任教員の配置を「兼７」から「兼８」に変更。
・「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語作文演習」の担当者を追加し、教員配置を「兼５」から「兼６」に変更。
・設置時（平成２６年１０月）の留意事項２への対応として、本学科の開設科目であることを明確にするために、教職課程の科目追加のため、科目区分「教職科目」を追加し、科目「教職入門」「教育原論」「発達と学習の心理学」「教育制度論」「教育課程論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道徳教育の指導法」「特別活動論」「教育方法」「生徒・進路指導論」「教育相談」「教育実習事前指導Ⅰ」「教育実習事前指導Ⅱ」「教育実習Ａ」「教育実習Ｂ」「教職実践演習」を追加。

**【平成２８年度】**

変更なし。

**【平成２９年度】**

・教育課程の充実をはかるため、「スポーツ実技」の兼任教員を１名追加し、教員の配置を「兼５」から「兼６」に変更。
・クラス増設のため、「ベースボール型球技」の兼任教員の配置を「兼１」から「兼２」に変更。

**【平成３０年度】**

・教育課程の充実のため、「インターンシップ」担当者として専任の教授1名を加えて、教員等の配置を「兼１」から「教授１、兼１」に変更。

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
　　変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、
　　平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計（A） | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 32 科目 | 116 科目 | 0 科目 | 148 科目 | 32 科目<br>[ 0 ] | 116 科目<br>[ 0 ] | 19 科目<br>[ 19 ] | 167 科目<br>[ 19 ] | |

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を
　　記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単 位 数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由，代替措置の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単 位 数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由，代替措置の有無 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| | | | | | | |

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{148} = 0\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

## ３　施設・設備の整備状況，経費

| 区　　分 | | 内　　容 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) 校地等 | 区　　分 | 専　　用 | 共　　用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | |
| | 校舎敷地 | 137,328.84㎡<br>~~138,026.40㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 137,328.84㎡<br>~~138,026.40㎡~~ | 借地面積<太秦><br>32,571.96㎡<br>借用期間：60年<br>購買部駐車場分(697.59㎡)を校舎敷地からその他に変更(27) |
| | 運動場用地 | 64,393.49㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 64,393.49㎡ | |
| | 小　　計 | 201,722.33㎡<br>~~202,419.89㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 201,722.33㎡<br>~~202,419.89㎡~~ | |
| | そ の 他 | 62,603.59㎡<br>~~61,906.03㎡~~ | 0㎡ | 0㎡ | 62,603.59㎡<br>~~61,906.03㎡~~ | |
| | 合　　計 | 264,325.92㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 264,325.92㎡ | |
| (2) 校　　舎 | | 専　　用 | 共　　用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | 食品開発センター登記時に0.54㎡増加、倉庫119.88㎡、購買部199.6㎡追加(27)<br>京都太秦キャンパス登記時に89.64㎡減少(28) |
| | | 65,169.11㎡<br>~~65,258.75㎡~~<br>~~64,938.73㎡~~<br>65,258.75㎡<br>~~(64,938.73㎡)~~ | 0㎡<br>(　　0㎡) | 0㎡<br>(　　0㎡) | 65,169.11㎡<br>~~65,258.75㎡~~<br>~~64,938.73㎡~~<br>65,258.75㎡<br>~~(64,938.73㎡)~~ | |

| (3) 教室等 | 講義室 | 演習室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | バイオ環境館演習室2室を研究室に変更(28)<br>~~情報処理教室を一般教室に転用したため(30)~~ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 82室 | 49室<br>~~51室~~ | 96室 | 12室<br>~~13室~~<br>(補助職員　4人) | 2室<br>(補助職員　2人) | |

| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | 室　　数 | |
|---|---|---|---|
| | 健康医療学部　健康スポーツ学科 | 12　　室 | |

| (5) 図書・設備 | 新設学部等の名称 | 図書<br>〔うち外国書〕<br>冊 | 学術雑誌<br>〔うち外国書〕<br>種 | 電子ジャーナル<br>〔うち外国書〕 | 視聴覚資料<br>点 | 機械・器具<br>点 | 標本<br>点 | 大学全体での共用部を含む図書 26,785冊<br>〔 1,395冊 〕<br>~~図書の充実を行ったため(28)(29)(30)~~ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 健康医療学部<br>健康スポーツ学科 | 27,831〔1,671〕<br>28,130〔1,703〕<br>~~28,084〔1,703〕~~<br>~~27,760〔1,697〕~~<br>~~(27,231〔1,659〕)~~ | 29〔 6 〕<br>29〔 6 〕 | 6〔 2 〕<br>(6〔 2 〕) | 200<br>206<br>~~142~~<br>~~(80)~~ | —<br>(—) | —<br>(—) | |
| | 計 | 27,831〔1,671〕<br>28,130〔1,703〕<br>~~28,084〔1,703〕~~<br>~~27,760〔1,697〕~~<br>~~(27,231〔1,659〕)~~ | 29〔 6 〕<br>29〔 6 〕 | 6〔 2 〕<br>(6〔 2 〕) | 200<br>206<br>~~142~~<br>~~(80)~~ | —<br>(—) | —<br>(—) | |

| (6) 図書館 | 面　　積 | 閲覧座席数 | 収納可能冊数 | |
|---|---|---|---|---|
| | 4228.97㎡ | 703席 | 462,000冊 | |

| (7) 体育館 | 面　　積 | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | |
|---|---|---|---|
| | 5046.41㎡ | 野球場1面、テニスコート8面、弓道場1施設、ゴルフ練習場1施設、アーチェリー場1施設 | |

| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区　　分 | 開設年度 | 完成年度 | 区　　分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 教員１人当り研究費等 | 260千円 | 260千円 | 図書購入費 | 7000千円 | 7000千円 | 7000千円 | |
| | | 共同研究費等 | 4500千円 | 18000千円 | 設備購入費 | 4000千円 | 4000千円 | 4000千円 | |
| | 学生１人当り納付金 | 第１年次 | 第２年次 | 第３年次 | 第４年次 | 第５年次 | 第６年次 | | |
| | | 1300千円 | 1150千円 | 1150千円 | 1150千円 | －千円 | －千円 | | |
| | 学生納付金以外の維持方法の概要 | 私立大学等経常費補助金、資産運用収入　等 | | | | | | | |

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# ４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

| 大学の名称 | 京都学園大学 | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次<br>人 | 人 | | 倍 | | | |
| 経済経営学部 | | | | | | 1.17 | | | |
| 経済学科 | 4 | 170 | － | 620 | 学士（経済学） | 1.16 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | 経済学科、経営学科入学定員<br>平27～29　150<br>平30～　170 |
| 経営学科 | 4 | 170 | － | 620 | 学士（経営学） | 1.19 | 平成27年度 | | |
| 人文学部 | | | | | | 0.90 | | | |
| 心理学科 | 4 | 80 | － | 320 | 学士（人文） | 0.80 | 平成27年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 歴史文化学科 | 4 | 90 | － | 360 | 学士（人文） | 0.99 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | |
| バイオ環境学部 | | | | | | 0.81 | | | |
| バイオサイエンス学科 | 4 | 65 | － | 335 | 学士（バイオ環境） | 0.76 | 平成18年度 | | ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ学科入学定員<br>平27～29　90<br>平30　65 |
| バイオ環境デザイン学科 | 4 | 55 | － | 235 | 学士（バイオ環境） | 0.87 | 平成18年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | ﾊﾞｲｵ環境ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科入学定員<br>平27～29　60<br>平30　55 |
| 食農学科 | 4 | 70 | － | 310 | 学士（バイオ環境） | 0.83 | 平成27年度 | | 食農学科入学定員<br>平27～29　80<br>平30　70 |
| 健康医療学部 | | | | | | 1.08 | | | |
| 看護学科 | 4 | 80 | － | 320 | 学士（看護学） | 1.12 | 平成27年度 | 京都府京都市右京区山ノ内五反田町１８番地 | |
| 言語聴覚学科 | 4 | 30 | － | 120 | 学士（言語聴覚学） | 0.93 | 平成27年度 | | |
| 健康スポーツ学科 | 4 | 90 | － | 360 | 学士（健康ｽﾎﾟｰﾂ学） | 1.09 | 平成27年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 経済学部 | | | | | | | | | |
| 経済学科 | 4 | － | － | － | 学士（経済学） | － | 昭和44年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 経営学部 | | | | | | | | | |
| 経営学科 | 4 | － | － | － | 学士（経営学） | － | 平成3年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 事業構想学科 | 4 | － | － | － | 学士（経営学） | － | 平成14年度 | | 平成27年より学生募集停止 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法学部 | | | | | | | | | |
| 法学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（法学） | ― | 平成元年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 人間文化学部 | | | | | | | | | |
| 心理学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| メディア社会学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| 歴史民俗・日本語日本文化学科 | | | | | | | | | |
| 歴史民俗学専攻 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成27年より学生募集停止 |
| 日本語日本文化専攻 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成20年度 | | 平成27年より学生募集停止 |
| 国際ヒューマン・コミュニケーション学科 | 4 | ― | ― | ― | 学士（人間文化） | ― | 平成21年度 | | 平成27年より学生募集停止 |

| 大学の名称 | 京都学園大学　大学院 | 備考 |
|---|---|---|

| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 経済学研究科 | | | | | | | | | |
| 経済学専攻 | 2 | 5 | ― | 10 | 修士（経済学） | 0.70 | 平成7年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 経営学研究科 | | | | | | | | | |
| 経営学専攻 | 2 | 5 | ― | 10 | 修士（経営学） | 0.30 | 平成7年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 法学研究科 | | | | | | | | | |
| ビジネス法学専攻 | 2 | ― | ― | ― | 修士（法学） | ― | 平成6年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | 平成30年より学生募集停止 |
| 人間文化研究科 | | | | | | | | | |
| 人間文化専攻 | 2 | 10 | ― | 20 | 修士（文化研究）<br>修士（社会情報）<br>修士（心理学） | 0.55 | 平成14年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| バイオ環境研究科 | | | | | | | | | |
| 博士課程前期<br>バイオ環境専攻 | 2 | 20 | ― | 40 | 修士（バイオ環境） | 0.07 | 平成22年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |
| 博士課程後期<br>バイオ環境専攻 | 3 | 3 | ― | 9 | 博士（バイオ環境） | 0.11 | 平成22年度 | 京都府亀岡市曽我部町南条大谷１番地１ | |

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## ６　留意事項等に対する履行状況等

| 区　　分 | 留　意　事　項　等 | | 履　行　状　況 | | 未履行事項についての実施計画 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・本学科の設置の理念・趣旨に示された「健康スポーツ」の定義との整合性を考慮して大学案内を作成しているが、保健体育の教員免許取得や競技力の向上について記載されており、必ずしも整合性がとれているとは言い難いため、学生等が誤解することのないよう大学案内等の広報冊子を適切に修正すること。 | 留意事項１ | ・学部、学科の設置理念や趣旨に沿った内容で、ご指摘いただいた部分について広報冊子を修正し、さらにその他の箇所についても誤解を生じないよう検討して再発行した。またホームページについても同様に修正した。これらの改定によって受験生やその保護者、あるいは在学生に誤解を生じさせないようにした。(27)<br><br>・各教員の高校訪問時に際して、学部・学科設置理念に沿った内容をつけ加える指示を出している。これによって生徒の皆さんに対して直接的な説明となっており、誤解を招かないように配慮している。(28)<br><br>健康スポーツ学科としての設置の理念・趣旨を受験生に示すために、パンフレットやホームページなど広報関係の記事内容に注意して記述している。特にオープンキャンパスにおいては学科で統一して作成したスライド（ビデオ化）を担当者が使用して、毎回同じ説明ができるように配慮している。また、高校訪問時には広報誌を持参し、その記事を基に説明している。(29)<br><br>健康スポーツ学科としての設置の理念・趣旨を受験生に誤解の生じないように示すために、パンフレットやホームページなど広報関係の記事内容に注意して記述している。オープンキャンパスにおいては学科で統一して作成したスライドや配布資料などを担当者が使用して、主観による誤った説明ができないようにしている。また、高校訪問時の模擬授業等では広報誌を配布しその記事を基に説明している。(30) | 履行済 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・本学が取得可能としている資格と、履修するべき授業科目について、学生への事前の説明に努めること。特に、中学・高等学校教諭一種免許状（保健体育）の免許取得が可能であるが、本学科の教育課程で科目開設がなされていないことから、当該免許の取得を希望する学生にわかりやすく履修指導するとともに、本学科の教育課程として開設するのであれば、開設科目であることを明確にし、本学科の専任教員を配置するのであれば、学科開設時までに教員審査を受けること。 | 留意事項<br>２ | ・取得可能な資格に関しては、必要な履修科目について整理した資料を用い学生にわかりやすく説明するとともに履修指導の参考資料として提供している。保健体育の教員免許取得に関しては、教職に関する科目一覧を「資格免許課程、履修ガイド2015」の26頁～29頁、あるいは（履修要項43頁～47頁）に記載しており、4月入学時に開催される教職課程のオリエンテーションでは免許法施行規則をはじめ、科目の設定などに関しても説明を行っている。また、教職希望の学生の日々の様々な相談には「教職・司書課程指導室」が主体となって対応している。<br>　また、各種資格取得に対応する専門科目については、学生の系統的な学修を支援し卒業後の進路決定に役立つように、各種資格を分類して、履修モデルとして　「教育」、「科学」、「マネージメント」の３つのコースを設け、卒業後の進路に有効な目標資格の指導をしている（履修要項42頁）。資格の役割や概要についても説明を加えて学生の理解に役立てている（履修要項48頁、63頁、64頁）。3つのコースには、専任教員12名が各4名で分担して配置され、学生の資格取得に向けてのアドバイザー教員として対応している（履修要項42頁）。各種資格の指導に課題や問題が生じた際には、各コース内の4名で対応し、場合によっては学科会議で問題解決にあたる。保健体育の教員免許取得に必要な、いわゆる教職に関する科目についても本学科の開設科目（本学他学科との共通開設科目）であることを明確にするため本報告書の「2授業科目の概要」に追加する。なお、教職に関する科目には、本学科の専任教員を配置していない。(27)<br><br>・履修要項にも説明をしているが、説明時に配布資料として理解しやすい内容の資料を配布している。具体的には各種資格と取得に必要な授業科目と開講年、あるいは4年間を見据えた実習などの計画表を作成して、学生たちに計画的な準備を促している。また、教職希望の学生の日々の様々な相談には、専任教員３名の教育コース教員が担当している。また主としては「教職・司書課程指導室」が主体となって対応している。(28) | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | （留意事項２） | 健康スポーツ学科においては保健体育教員の免許取得をはじめ、各種の資格取得について入学時より説明をしている。説明に用いる資料としては「履修要項2017」において59頁、60頁に「取得可能な免許・資格」に関する記事を載せて各種資格に関する説明をしている。そしてこれらの各種資格を取得するために必要な受講科目を備えた３つのコース（教育、科学、マネジメント）についての説明を記載している（51頁）。さらに開講科目と、各種資格を配置した一覧表を作成して、それらを基にして学生に説明している。入学時点でのコース選択は学生にとっては大きな決断となるが、学期の節目ごとにコース説明を行い、学期が進むにつれて学科の特徴を生かした就職先も含めて説明している。また、1年次後期、あるいは2年次後期には3つのコースに関係する外部講師を招いて、資格と職業との関連を意識づけさせる講演会を行い、学びと就職先を意識させている。(29)<br><br>設置認可当初より各種資格の取得に際してのガイダンス時には開講授業科目と取得する資格と対比させた一覧表を作成し、学生に理解しやすいように説明している。また教員免許取得に関連する授業科目についても理解しやすい一覧表を作成し説明している。これらの説明会は入学時のオリエンテーションに際して実施し、しっかりした理解のもとで授業に臨むように指導している。なお、これらの実施に際しては学内の教職課程専門担当教員も主体となって、教育実習などの4年間のスケジュール説明を加えて行った。（30） | 履行済 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・教育研究水準の向上を図るため、すべての教員の学位取得を目指すとともに、インターネットを通じ、博士の学位を有する学外の若手教員を公募するとしているが、当該目的の実現に向け、具体策を検討し、着実に実行すること。 | 留意事項<br>３ | ・教育と研究の水準を向上するために、博士の学位がない教員には大学運営の業務を軽減するなど、研究環境に配慮している。<br>　また、完成年度における、新規採用人事の際には博士の学位を有する若手を求めることにより、教育研究水準の向上を図るよう努める。具体的には、平成29年度に学科内の教授会メンバーで検討し教員採用の方針を決定する。平成30年度にインターネットを通じて博士の学位を有する学外の若手教員を公募した上で採用を決定し、平成31年度には着任となる計画とする。(27)<br><br>・博士を持たない教員の現状報告として、1名は現在京都市内の大学の課程博士に在籍してご努力頂いている。もう1名については論文博士取得の方向で現在模索しながら、論文作成のための準備をしていただいている。学科としてこの方々には学位取得に専念していただく配慮をしており、今後も可能な範囲で研究環境を保証していく。(28)<br><br>学位取得を目指している二人の教員から進捗状況を確認している。１名は課程博士を目指して在学中である。もう１名は学内での研究奨励金を獲得し、海外での資料収集に励み、論文としてまとめている。両者とも設置時の各種業務で多忙な中、学位取得に励んでいただいている。(29)<br><br>現在も二名が該当する。一名は現在も京都市内の博士課程後期課程に在学し2017年度に博士論文を執筆作成する計画であったが、科学研究費を受け、学校現場での実験測定に時間を要したために完成していない。今年度中には論文完成させ、審査のために提出する。そのために専念できる環境を引き続き保証する。もう一名に関しては大学からの研究支援金を受けて海外での調査研究を行い論文を執筆しているが、学位取得のための受け入れ先を現在も探している状況にある。(30) | 未履行 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設　置　時<br><br>（２６年１０月） | ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。 | 留意事項４ | ・完成年度を迎えるに当たり、学科の将来構想や、それに伴う教育・研究領域の整備に努める。学科の将来構想に基づいて、教員採用の方針においては定年規程の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成になるよう努める。具体的には、平成29年度に学科内の教授会メンバーで検討し教員採用の方針を決定する。平成30年度にインターネットを通じて公募した上で採用を決定し、平成31年度には着任となる計画とする。(27)<br><br>・本学の定年規程の趣旨を踏まえた運用に努め、完成年度においては現在の平均年齢59.5歳から、なるべく早期に年齢を下げるように努め、若い教員を積極的に採用し、全体の年齢構成を将来にわたってバランスをとるように努める。そのためには、カリキュラム再検討とその担当者とを検討する。本年度後期からカリキュラム改革検討将来委員会を発足させ、最適なカリキュラム構成に即した人事のバランスをもくろみ、完成年度には公募によって本学科構成に即した全体的にバランスの良い人事配置とする。（28）<br><br>完成年度に定年を迎える教員の後任人事については今年度に方針を固め、次年度には公募していく。定年以外の教員の年齢構成をバランス良くするために配慮し、研究領域や担当可能な科目からも本学科の趣旨に沿った人事構成を考えて進める。完成年度以降のカリキュラム構成と教員配置については大きく関連することと認識し、現在全学的なカリキュラム改革を学長が中心に進めており、学科内に関しては若手を中心に毎月一回の検討会で鋭意準備を進めている。(29)<br><br>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の退職を目前に教員の年齢構成を下げるべく採用人事計画を進める。そのために完成年度以降のカリキュラム改革に該当する若手教員人事の構成を立てている。(30) | 未履行 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置計画履行状況調査時（２８年２月） | 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | ・完成年度を迎えるに当たり、学科の将来構想や、それに伴う教育・研究領域の整備に努める。学科の将来構想に基づいて、教員採用の方針においては定年規程の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成になるよう努める。具体的には、平成29年度に学科内の教授会メンバーで検討し教員採用の方針を決定する。平成30年度にインターネットを通じて公募した上で採用を決定し、平成31年度には着任となる計画とする。(28) | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | ・定年規定の趣旨を踏まえつつ、バランスのとれた年齢構成になるように、教員組織編成の将来構想を検討してる。現時点では、教員の専門領域のバランスは取れていると考えているので、教員の退職時には、その教員と同じ専門分野の教員（准教授クラス）を採用することとしたい。年齢的には20代、30代の若手教員が少ないので、この年代の優秀な若手教員の確保にも努めていきたい。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 | 改善意見 | 教員構成とカリキュラム構成、研究活動とはリンクすることを理解しており、学科内若手教員を中心に完成年度以降のカリキュラム検討にすでに入っており、毎月一回の会議で検討し、必要に応じて定例学科会議で進捗状況を報告いただいている。この検討会議での提案を基にして全学的なカリキュラム改革とのバランスとも調整を加え、若手教員獲得を優先した採用人事計画をたてる予定である。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 定年規程の趣旨を踏まえつつ、優秀な若手教員の確保に努めることにより、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていくため、教員組織編成の将来構想について検討を開始し、定年予定教員の担当分野の若手教員を公募し、２名を准教授として4/1付け採用と決定した。 | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | 人文学部心理学科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 | 改善意見 | オープンキャンパスや高校訪問等の学生確保の方法を改善した結果、人文学部心理学科の今年度定員充足率は、０．８３倍に回復することができた。次年度も、定員充足に向けてさらなる努力をしたい。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（２９年２月） | バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成29年は届出時の予定通りに進行している。設置時に申請していた京大名誉教授を迎え、退職年齢を越える専任教員は4名となった。今後とも専任教員の退職の際には、40～50歳代の人材を中心に、公募も含めて人選を行いつつ、人材を採用する計画である。 | | |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成３０年度末に退職が予定される教員(1名)について、教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、２０代、３０代の優秀な若手教員を確保していきたい。 | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用する計画である。(定年退職年齢を超える教員の割合は3/9から2/9に減少する計画である。) |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 | 改善意見 | 学科で検討した完成年度後の教員組織編成の将来構想に基づき、平成３０年度末に退職が予定される教員(3名)の後任人事のために、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用していく予定である。 | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、今年度の早期に教員公募を行い、若手教員を優先して採用する計画である。(定年退職年齢を超える教員の割合は5/12から2/12に減少する計画である。) |
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 平成２９年度の報告時には定年年齢を超える教員は６名であったが、平成２９年度末に３名が任期満了で退職となった。任期満了で退職となった教員の後任として５０歳代の教員２名を専任教員として経営学科に異動させた。平成３０年度に新たに１名が定年年齢を超えることになったが、定年年齢を超える教員数は４名に減少した。(定年退職年齢を超える教員の割合は6/22から4/20に減少した。) | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、若手教員の補充を行い、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていく計画である。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置計画履行状況調査時（３０年２月） | バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | 定年年齢を超える１名（教職課程担当）の後任人事に伴って、当該教員を他学科に異動させたが、後任の選考の結果、採用には至らなかった。このため定年年齢を超える専任教員の数は1名減少し、３名となった。（定年退職年齢を超える教員の割合は4/11から3/10に減少した。） | 未履行 | 教員組織編成の将来構想に従って、バランスのとれた年齢構成の教員組織としていく計画である。 |

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。） と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。
・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。
・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。
・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。
・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7　その他全般的事項

＜健康医療学部　健康スポーツ学科＞

### （1） 設置計画変更事項等

| 設　置　時　の　計　画 | 変更内容・状況，今後の見通しなど |
|---|---|
| 該当なし | |

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### （2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

2013年10月に教育開発センターが設置され、教育開発センター長の下にFSD推進委員会を設置している。

なお、2016年8月1日の教育開発センター規程改正により、委員会名称を「FD・SD推進委員会」に変更している。
(別紙①)

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2014年度　FSD推進委員会10回開催 (2014.4.23、2014.5.14、2014.6.11、2014.7.9、2014.10.8、2014.11.12、2014.12.10、2015.1.14、2015.2.18、2015.3.11)

2015年度　FSD推進委員会9回開催 (2015.4.8、2015.5.13、2015.6.10、2015.7.8、2015.10.7、2015.11.4、2015.12.9、2016.2.10、2016.3.9)

2016年度　FD・SD推進委員会10回開催 (2016.4.13、2016.5.11、2016.6.8、2016.7.13、2016.9.7、2016.10.12、2016.11.9、2016.12.14、2017.2.8、2017.3.8)

2017年度　FD・SD推進委員会7回開催 (2017.4.12、2017.5.17、2017.6.14、2017.7.12、2017.10.11、2017.12.13、2018.2.14)

2018年度　FD・SD推進委員会1回開催 (2018.4.11)

ｃ 委員会の審議事項等

2014年度第1回（2014.4.23）
議題
（1）平成26年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成26年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤外部団体に関わるFD活動について（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業　等）
（3）平成26年度授業評価アンケート項目について（案）
報告事項
（1）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について

2014年度第2回（2014.5.14）
議題
（1）平成26年度外部団体への本学派遣委員の選任について
①大学コンソーシアム京都　FDフォーラム担当　委員
②大学コンソーシアム京都　FD研修企画　委員
報告事項
（1）平成26年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成26年度FSD推進委員会の運営メンバーについて
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について
（4）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について
（5）カリキュラム・マップおよびにツリーの策定について
（6）平成25年度人間力測定の結果について
（7）平成25年度カリキュラムマトリクスの集計結果について
（8）春学期の授業公開について

2014年度第3回（2014.6.11）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）平成26年度各学部FD活動および事務職員SD活動方針について
（2）春学期授業参観のアンケート調査の集計ならびに意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）平成25年度人間力測定の結果について
（5）平成26年度カリキュラムマトリクスの集計結果について
（6）平成25年度FSD推進活動の報告書の作成について
（7）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第4回（2014.7.9）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）第1回FD研修会の実施報告
（2）春学期公開授業の参観アンケートの各学部意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートについて
（4）学部及び研究科における成績評価基準の設定について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第5回（2014.10.8）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）第2・3回FD研修会ならびに第1回SD研修会の実施報告
（2）春学期の授業評価アンケートの結果について
（3）秋学期の授業公開の実施について
（4）秋学期授業評価アンケートの実施について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第6回（2014.11.12）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
（2）大学コンソーシアム京都FDフォーラムのポスターセッションの参加について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施について
（2）第4回FD研修会ならびに第2回SD研修会の実施報告
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第7回（2014.12.10）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）大学コンソーシアム京都FDフォーラムについて
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第8回（2015.1.14）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施状況について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第9回（2015.2.18）
議題
（1）平成26年度FD研修会ならびにSD研修会の実施計画について
報告事項
（1）授業評価アンケートの実施状況について
（2）ベストティーチャー賞の候補者について
（3）2014年度FD・SD推進活動の報告書作成について
（4）FD研修会、SD研修会の実施報告について
（5）大学コンソーシアム京都　FDフォーラムの参加者について
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD推進部会からの報告について

2014年度第10回（2015.3.11）
議題
（1）2014年度FD・SD推進活動の報告書（案）について
（2）第9回FD研修会（案）について
報告事項
（1）平成26年度FSD推進委員会事業について
（2）ベストティーチャー賞について
（3）FD研修会の実施報告について
（4）大学コンソーシアム京都　FDフォーラムについて

2015年度第1回（2015.4.8）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤人間力測定について
⑥キャリアポートフォリオ（マイステップ）について
⑦カリキュラム・マトリックスについて
⑧外部団体に関わるFD活動について（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業、新人研修等）
（3）平成27年度の委員の分担について
報告事項
（1）2014年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2015年度第2回（2015.5.13）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）FD推進委員会事業に関わる全学的取組みについて
（2）2014年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（3）大学コンソーシアム京都FD企画研究委員会委員の選出について
その他
（1）2015年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD部会の方針について（依頼）

2015年度第3回（2015.6.10）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業公開アンケート集計ならびに各学部での意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）2014年度FD・SD推進活動報告書について
（5）大学コンソーシアム京都FD企画研究委員会委員の選出について
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）学部でのFD活動に関する経費について
（2）複数教員担当の授業科目に対する授業評価アンケートの取り扱いについて

2015年度第4回（2015.7.8）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業評価アンケートの実施状況について
（3）大学コンソーシアム京都FD事業担当者からの報告
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）IR委員会の実施状況について

2015年度第5回（2015.10.7）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成27年度秋学期授業公開の実施について
（3）平成27年度秋学期授業評価アンケートの実施について
報告事項
（1）第1回FD研修会のアンケート集計結果について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）FDフォーラムについて

2015年度第6回（2015.11.4）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートの実施について
（3）カリキュラム・マトリックスアンケート調査（シラバスへの表示方法の改定）について
報告事項
（1）平成27年度授業公開後の意見交換会について
（2）学生満足度調査の実施について
（3）第2回FD研修会のアンケート集計結果について
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第7回（2015.12.9）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成27年度秋学期授業公開後の意見交換会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートのコメント入力について
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第8回（2016.2.10）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
報告事項
（1）平成27年度秋学期授業公開後の意見交換会について
（2）平成27年度秋学期授業評価アンケートについて
（3）ベストティーチャー賞の選出について
（4）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（5）FD研修会・SD研修会のアンケートについて
（6）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2015年度第9回（2016.3.9）
議題
（1）平成27年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
（2）平成27年度Best Teacher賞の選考について（案）
報告事項
（1）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第1回（2016.4.13）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤人間力測定について
⑥キャリアポートフォリオ（マイステップ）について
⑦外部団体に関わるFD活動について
（3）平成28年度の委員の分担について
報告事項
（1）2015年度FSD推進活動の報告書の作成について

2016年度第2回（2016.5.11）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）春学期授業評価アンケートの実施について
（2）2015年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（3）2015年度 各事業の実施率について
その他
（1）2016年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD部会の方針について（依頼）

2016年度第3回（2016.6.8）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業公開アンケート集計ならびに各学部での意見交換会について
（3）春学期授業評価アンケートの実施について
（4）2015年度FD・SD推進活動報告書について
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第4回（2016.7.13）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度各学部FD活動および事務局SD活動方針について
（2）春学期授業評価アンケートの実施状況について
・未実施リスト
・集計表
・コメントへの対応
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
・春学期授業公開アンケートの意見交換会について
その他
・FD研修会の参加状況について
・春学期授業評価アンケート実施要領について

2016年度第5回（2016.9.7）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
報告事項
（1）春学期授業評価アンケートの実施状況について
・学生からのコメントの対応について
（2）授業公開の実施率について
（3）第1回FD研修会のアンケート集計結果について
（4）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第6回（2016.10.12）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）平成28年度秋学期授業公開の実施について
（3）授業公開コメント提出方法の変更について
（4）秋学期授業評価アンケートの実施および、実施科目について
報告事項
（1）第2回FD研修会のアンケート集計結果について【資料4】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第7回（2016.11.9）
議題
（1）平成28年度FSD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度授業公開後の意見交換会について
（2）第3回FD研修会のアンケート集計結果について【資料2】
（3）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第8回（2016.12.14）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度授業公開後の意見交換会について【資料2】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について

2016年度第9回（2017.2.8）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
報告事項
（1）平成28年度秋学期授業評価アンケートについて
①学生のコメントに対する対応について
②教員のコメント入力について
（2）ベストティーチャー賞の選出について
（3）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について
（4）FD研修会、SD研修会のアンケートについて
①第4回FD、第3回SD研修会アンケート
②第5回SD研修会アンケート
（5）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）大学コンソーシアム京都「新任教員FD合同研修」の案内について

2016年度第10回（2017.3.8）
議題
（1）平成28年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①SD研修会について
（2）2016年度ベストティチャー賞の選考について（案）
（3）授業評価アンケート集計表について（案）
（4）大学設置基準の改正に伴う、SD義務化について（案）
報告事項
（1）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について【資料5】
（2）各学部FD推進委員会および事務局SD部会からの報告について
その他
（1）大学コンソーシアム京都「新任教員FD合同研修」の案内について

2017年度第1回（2017.4.12）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
⑤外部団体に関わるFD活動について
（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアム京都FD事業　等）
（3）平成29年度の委員の分担について
報告事項
（1）2016年度FD・SD推進活動報告書の作成について

2017年度第2回（2017.5.17）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD推進部会の方針について（依頼）
（2）2017年度秋学期のFD・SD推進委員会の開催について

2017年度第3回（2017.6.14）
議題
（1）2017年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
（2）事務職員一覧について
（3）Best Teacher賞について
報告事項
（1）2017年度各学部FD活動方針ならびに事務局SD推進部会の方針について
（2）2016年度FD・SD推進活動報告書について
（3）授業公開アンケートについて
（4）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について

2017年度第4回（2017.7.12）
議題
（1）授業公開の各学部意見交換会について
（2）授業公開の方針確認について
（3）授業評価アンケートについて
（4）FD・SD推進活動報告書のWeb報告実施について
報告事項
（1）2017年度春学期　学生による授業評価アンケートについて
（2）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について

2017年度第5回（2017.10.11）
議題
（1）FD・SD研修会について
①2017年度の今後の予定
②FD研修会のビデオ視聴の取り扱いについて
（2）FD・SD推進活動報告書ネット掲載原案について
（3）授業公開の方針について
（4）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について
（2）その他

2017年度第6回（2017.12.13）
議題
（1）FD・SD研修会について
①2017年度の今後の予定
（2）授業公開について
（3）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度　FD・SD研修会のアンケート結果について
（2）第23回FDフォーラムの開催について

2017年度第7回（2018.2.14）
議題
（1）FD・SD研修会について
（2）授業公開について
（3）授業評価アンケートについて
報告事項
（1）2017年度FD・SD推進活動報告書作成スケジュールについて
（2）2017年度第7回FD・SD研修会のアンケート結果について
（3）次年度について

2018年度第1回（2018.4.11）
議題
（1）2018年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について（案）
（2）2018年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて（案）
①FD研修会について
②SD研修会について
③授業公開について
④授業評価アンケートについて
（3）2018年度の委員の分担について
報告事項
（1）2017年度FD・SD推進活動報告書の作成について

② 実施状況

ａ 実施内容

2014年度

・全学FD研修会・・・授業方法、中退予防、キャリア教育、ハラスメント対策、学生支援事業など

・SD研修会・・・各部署の現状・課題、情報の発信と共有、事務体制整備に向けた課題、教職協働の教育改善など

・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開

・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2015年度

・全学FD研修会・・・授業方法、中退予防、キャリア教育、ハラスメント対策、学生支援事業など

・SD研修会・・・副担任制度の現状と課題・学生支援のあり方についてなど

・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開

・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施

・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

2016年度
・全学FD研修会・・・授業方法、メンタルヘルスケア、ハラスメント対策、ポリシー策定など
・SD研修会・・・グローバル化に求められる人材、奨学金など
・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開
・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰
2017年度
・全学FD研修会・・・科研費の管理運営、大学入試改革、授業の事例報告、カリキュラムツリー作成など
・SD研修会・・・障害のある学生支援、ハラスメント対策など
・授業公開・・・春学期・秋学期ともに全教員が授業公開
・授業公開意見交換会・・・学部別FD研修会等において、公開された授業に対する意見交換を実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰

b　実施方法
2014年度
・全学FD研修会・・・年9回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
・SD研修会・・・年4回実施
・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FSD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表
2015年度
・全学FD研修会・・・年6回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
・SD研修会・・・年1回実施
・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FSD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表
2016年度
・全学FD研修会・・・年7回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
・SD研修会・・・年6回実施（うち4回は全学FD研修会と共催）
・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表
2017年度
・全学FD研修会・・・年8回実施（時間割上授業を配当しないようにしている）
・SD研修会・・・年8回実施（うち5回は全学FD研修会と共催）
・授業公開・・・春・秋学期に教員が相互に授業を参観し、参観後に授業公開アンケートを記入
・授業公開意見交換会・・・授業公開アンケート結果等をもとに学部別FD研修会等で実施
・Best Teacher賞・・・授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、
全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表

c　開催状況（教員の参加状況含む）

2014年度

・全学FD研修会・・・2014.6.18（60名）、7.16（73名）、9.17（73名）、10.15（38名）、12.17（41名）、
2015.1.28（61名）、2.18（58名）、2.25（35名）、3.20（41名）

・SD研修会・・・2014.8.5（38名）、10.17（55名）、12.25（54名）、2015.2.12（44名）

・授業公開・・・（春学期）2014.5.26～5.31実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2014.11.5～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済学部（2014.7.24、11.19）、経営学部（2014.6.18、11.19）、
法学部（2014.6.18、11.19）、人間文化学部（2014.6.18、11.26）、
バイオ環境学部（2014.6.18、11.19）

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2015.3.14）

2015年度

・全学FD研修会・・・2015.6.17（64名）、9.16（83名）、12.16（48名）、
2016.1.20（43名）、2.17（58名）、3.16（61名）

・SD研修会・・・2015.12.22（82名）

・授業公開・・・（春学期）2015.5.25～5.30実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2015.11.5～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2015.7.15、12.16）、健康医療学部（2015.6.24、11.25）、
人文学部（2015.6.17、7.15、12.16）、バイオ環境学部（2015.6.17、12.16）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2016.3.12）

2016年度

・全学FD研修会・・・2016.7.20（105名）、9.21（83名）、10.19/11.16（85名）、
2017.1.18/25（82名）、1.20（45名）、2.9/15（67名）、2.10（20名）

・SD研修会・・・2016.8.8（32名）、10.19/11.16（19名）、
2017.1.18/25（68名）、2.9/15（53名）、2.10（12名）、3.22/23（36名）

・授業公開・・・（春学期）2016.5.27～6.9実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2016.10.31～11.12実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2016.6.27、11.24）、
健康医療学部（2016.6.22、9.1、11.30、12.22）、
人文学部（2016.6.15、11.16）、バイオ環境学部（2016.7.20、11.23）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2017.3.11）

2017年度

・全学FD研修会・・・2017.4.19/26（80名）、5.24（77名）、6.21（65名）、9.27（31名）
2017.9.29（25名）、11.22（26名）、2018.2.7（44名）、2.21/28（75名）

・SD研修会・・・2017.4.19/26（16名）、4.25（18名）、5.23/31（70名）、5/24（13名）、
2017.9.27（6名）、2018.1.26（55名）、2.7（22名）、2.21/28（21名）

・授業公開・・・（春学期）2017.5.26～6.9実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）
（秋学期）2017.10.30～11.11実施（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く全科目の授業）

・授業公開意見交換会・・・経済経営学部（2017.6.21、11.15）、
健康医療学部（2017.6.28、7.11、7.26）、
人文学部（2017.6.21、11.22）、バイオ環境学部（2017.6.21、11.22）、

・Best Teacher賞・・・学長室で表彰を実施（2018.3.10）

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学FD・SD推進委員会で検討された内容は、各学部のFD委員会において更に検討されている。
授業公開は、2013年度秋学期からは全科目（ゼミ、体育実技、実験・実習を除く）で実施している。
授業参観後のアンケートをもとに、学部FD研修会等で科目担当者と参観者が活発に意見交換し、
授業改善を図っている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートの実施：有

実施時期：春学期・秋学期（各1回）

2014年度

・授業評価アンケート・・・2014.6.23～7.5、2014.12.1～12.13

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2015年度

・授業評価アンケート・・・2015.6.11～6.24、2015.11.25～12.8

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2016年度

・授業評価アンケート・・・2016.6.17～6.30、2016.11.28～12.10

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

2017年度

・授業評価アンケート・・・2017.6.17～6.30、2017.11.27～12.9

（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、授業時間を利用して実施）

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

授業評価アンケートの結果については、各科目担当の教員へフィードバックされる。担当教員は、受講生の評価・コメント（自由記述欄）に対して「京学なび」を通して回答を行う。科目分野、学部別の評価の集計結果をホームページで公表するとともに、個別結果については、教育修学支援センターで閲覧できるようにしている。2016年度秋学期からは、教員が「京学なび」に掲載した回答内容も閲覧できるようにしている。

アンケートに寄せられた自由記述は、学部FD推進委員及び学部長が点検し、必要に応じ該当教員と面談する。学部FD推進委員会は点検状況を全学FD・SD推進委員長に報告し、学部FD推進委員会、学部長は次回以降改善状況を点検する。

アンケート結果で著しく評価の低い授業については、学部FD推進委員会委員および学部長が点検し、必要に応じ該当教員と面談する。学部FD推進委員会は点検状況を全学FD・SD推進委員長に報告し、学部FD推進委員会、学部長は次回以降改善状況を点検する。

Best Teacher賞は、学生による授業評価アンケート結果で高評価を得た授業の科目担当者を学部FD推進委員会が学部長の意見を参考の上選出し、全学FD・SD推進委員会で決定後、学長が表彰するとともに、ホームページで公表する。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## （３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康医療学部健康スポーツ学科は、健康医学・健康科学・身体運動科学・スポーツ社会学といった幅広い分野を融合させた学際的な教育研究によって、保健医療の知識と身体運動に関わる実践的スキルを修得し、教育・医療・保健・福祉、そして健康産業において、人々の健康の維持・増進に貢献する職業人の育成を目的としている。設置４年目の現段階では、3年次で学んだ専門科目、展開科目の学修を終えて、いよいよ４年次の専門ゼミでの学修成果の集大成に向けて段階的に教育が進んでいる。各種資格の取得についても近畿圏でのインターンシップ受け入れ先の確保に努め、実習とその発表会を行い、学生たちは実社会での活動に大きな刺激を受けている。教員免許取得を目指す学生たちは近隣の小・中・高等学校、また特別支援学校への授業見学、あるいは運動会やスポーツ大会へのボランテイア活動に積極的に出向くなどで学修している。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、取り組みを進めている。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

・平成２９年６月１日　公表

ｂ 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に（公財）日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、平成27年3月に適合の評価結果を得た。このため、平成33年度までに（公財）日本高等教育評価機構の認証評価を受けるべく、学内で検討を進めている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## （４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

ａ ホームページに公表（予定）の有無　（ 有 ・ 無 ）

ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期　（ 平成30年 6月 1日 予定 ）

（注）・ 「ａ ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・ 「ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

〇教育開発センター規程

（設置）

第１条　京都学園大学(以下「本学」という。)は、学長の下に京都学園大学教育開発センター(以下「センター」という。)を設置する。

（目的）

第２条　センターは、本学の教育目的を実現するための諸活動に必要な大学教育に関する情報の収集、調査、分析及び提供（インスティテューショナル・リサーチ）（以下「ＩＲ」という。）活動を含む教学に関する企画の立案と実施を図り、教育活動及び教育機能の向上と発展に寄与することを目的とする組織である。

（業務）

第３条　センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

（１）　大学教育に関する情報の収集、調査、分析及び情報の提供（ＩＲ）活動

（２）　全学に共通する教育プログラムの企画及び開発

（３）　教育効果の評価方法の開発及び実施

（４）　教職員の教育力向上の支援及び推進

（５）　FD・SD活動

（６）　教育課程の質保証の開発及び向上

（７）　授業及び成績評価に関わる分析及び開発

（８）　教育環境の整備に関わる企画及び開発

（９）　その他、前各号の目的達成のために必要な業務

（組織）

第４条　センターに次の職員を置く。

（１）　教育開発センター長　1名

（２）　教育職員　若干名

（３）　教育開発センター室長　1名

（４）　事務職員　若干名

（教育開発センター長）

第５条　教育開発センター長は、専任教員の内から評議会の意見を聴いて学長が任命する。

２　教育開発センター長は、センターを代表し、その業務を統括する。

３　教育開発センター長の任期は、2年とし、重任を妨げない。

４　任期途中で退任した場合、後任者の任期は、その残任期間とする。

（教育開発センター委員会）

第６条　第３条に定める業務に関する事項の審議並びにその業務の運営管理・進捗状況把握・実施における検証・改善すべきプログラム等を検討する機関として教育開発センター委員会(以下「委員会」という。)を置く。

２　委員会は、次の各号に定める委員をもって構成する。

（１）　教育開発センター長

（２）　各学部学部長

（３）　教育修学支援センター長(教務担当)

（４）　事務局長

（５）　各学部の教務主事

（６）　教育開発センター室長

（７）　教育修学支援センター室長(教務主担当)

３　委員長は、教育開発センター長がその任に当たる。

４　委員会は、委員長がこれを招集し、その議事をつかさどる。

５　学長は、必要に応じて委員会に出席し、意見を述べることができる。

６　委員長は、必要に応じて委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を聴くことができる。

７　委員会は、その審議並びに検討した結果について、必要に応じてこれを関係機関に提案することができる。

(各種委員会)

第７条　教育開発センター長の下に、常設の委員会として、ＩＲ推進委員会及びFD・SD推進委員会を置く。

２　ＩＲ推進委員会及びFD・SD推進委員会のメンバーは、教育開発センター委員会の同意を得て、教育開発センター長が任命する。

３　教育開発センター長が必要と認めるときは、教育開発センター委員会の同意を得て、業務別の委員会を設置することができる。

(事務)

第８条　センターに関する事務は、教育開発センター事務室の所管とする。

(規程の改廃)

第９条　この規程の改廃に当たって、学長は各学部教授会及び大学評議会の意見を聴くものとする。

附　則

1　この規程は、平成25年10月1日から施行する。

2　平成25年10月1日に任命された教育開発センター長の任期については、平成26年3月31日までとする。

3　この規程の制定により、京都学園大学就業力育成センター規程を廃止する。

附　則

1　この規程の制定により、京都学園大学FD推進委員会規程を廃止する。

2　この附則は、平成25年10月23日から施行する。

附　則

この改正は、平成27年４月１日から施行する。

（規程の名称並びにセンター長の任命及び重任の改正に伴う改正）

附　則

この改正は、平成28年８月１日から施行する。

（ＩＲ活動の明確化に伴う改正）

表　専門科目での講義と演習の配分

| 科目名 | 単位数 | 授業時間数 | 内訳 | |
|---|---|---|---|---|
| 失語・高次脳機能障害学Ⅰ | 2単位 | 60時間 | 講義　：　42時間 | 演習　：　18時間 |
| 失語・高次脳機能障害学Ⅱ | 2単位 | 60時間 | 講義　：　40時間 | 演習　：　20時間 |
| 失語・高次脳機能障害学Ⅲ | 2単位 | 60時間 | 講義　：　24時間 | 演習　：　36時間 |
| 言語発達障害学Ⅰ | 2単位 | 60時間 | 講義　：　30時間 | 演習　：　30時間 |
| 言語発達障害学Ⅱ | 2単位 | 60時間 | 講義　：　24時間 | 演習　：　36時間 |
| 言語発達障害学Ⅲ | 2単位 | 60時間 | 講義　：　16時間 | 演習　：　44時間 |
| 重複障害学 | 1単位 | 30時間 | 講義　：　16時間 | 演習　：　14時間 |
| 音声障害学 | 2単位 | 60時間 | 講義　：　38時間 | 演習　：　22時間 |
| 構音障害学Ⅰ | 2単位 | 60時間 | 講義　：　36時間 | 演習　：　24時間 |
| 構音障害学Ⅱ | 1単位 | 30時間 | 講義　：　16時間 | 演習　：　14時間 |
| 構音障害学Ⅲ | 1単位 | 30時間 | 講義　：　10時間 | 演習　：　20時間 |
| 嚥下障害学 | 2単位 | 60時間 | 講義　：　26時間 | 演習　：　34時間 |
| 吃音学 | 1単位 | 30時間 | 講義　：　18時間 | 演習　：　12時間 |
| 聴覚検査学 | 2単位 | 60時間 | 講義　：　24時間 | 演習　：　36時間 |
| 補聴器・人工内耳 | 2単位 | 60時間 | 講義　：　30時間 | 演習　：　30時間 |
| 小児聴覚障害学 | 2単位 | 60時間 | 講義　：　30時間 | 演習　：　30時間 |
| 成人聴覚障害学 | 1単位 | 30時間 | 講義　：　18時間 | 演習　：　12時間 |

※授業1回90分を授業時間数2時間として計算
※赤字は補正申請時からの変更点

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

# 授　業　科　目　の　概　要

（健康医療学部　言語聴覚学科）

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | 失語・高次脳機能障害学Ⅰ | （概要）高次脳機能障害の中で、失語症は成人のコミュニケーション障害の代表で、脳卒中等による原因で生じる言語の障害である。本講義では、失語症の基本的な障害である「話す・聞く・読む・書く」の各領域についての失語症に特異的に見られる基本的な事項を脳の解剖的部位とともに学ぶ。失語症の各タイプの特徴について、代表的な症例を挙げて解説する。演習では、失語症者の観察、評価法について学ぶ。さらに、失語以外の高次脳機能障害についての基本的な知識を得る。<br><br>（オムニバス方式／全３０回）<br>（２　能登谷　晶子／１０回）<br>失語症の歴史、原因、失語症の大脳機能局在（責任病巣）について、典型的な失語症例を用いて概説する。失語症の基本的な症状として知られる「話す・聞く・読む・書く」の特徴的事項に加え、失行、失認、遂行機能障害・前頭葉機能障害、注意障害、記憶障害などの高次脳機能障害について講義する。さらに、右脳損傷によるコミュニケーション障害、認知症と周辺症状など、失語症とは一線を画すコミュニケーション障害についても解説する。<br><br>（５　吉村（波多野）　貴子／１０回）<br>失語症の基本的な症状として知られる「話す・聞く・読む・書く」の特徴的事項を踏まえ、聴覚的理解の障害、発話の障害、読みの障害、書くことの障害、文法の障害・談話レベルの障害について具体的に講義する。さらに、運動性失語、感覚性失語、超皮質性失語、健忘失語、伝導失語など、失語症古典分類（典型例）とよばれる各失語症タイプの特徴を解説し、「失語・高次脳機能障害学Ⅱ」における失語症の分類と診断・評価につなげる。<br><br>（７　外山　稔／９回）<br>失語症の聴覚的理解の障害、発話の障害、読むことの障害、書くことの障害の症状について、視聴覚情報（教材）を用いて、詳細に解説する。さらに、運動性失語、感覚性失語、超皮質性失語、健忘失語、伝導失語など、失語症古典分類（典型例）と呼ばれる各失語症タイプの特徴的症状についても、視聴覚情報（教材）を用いて、詳しく解説する。後半では、各失語症タイプの特徴を整理したうえで、インテーク面接の意義と方法についての講義と演習を行う。<br><br>（①　滝沢　美智子／１回）<br>失語症は成人のコミュニケーション障害の代表的な障害として知られ、脳卒中急性期・回復期病床ではしばしば遭遇する。脳卒中急性期・回復期病床では全身状態の管理が欠かせないが、患者の訴えが得られにくいコミュニケーション障害患者は、医療従事者側からの配慮が特に必要となる。本講義では、コミュニケーション障害によって体調不良を医療従事者に伝達できない場合の対応方法について、バイタルサインという観点から全身状態を評価する。また、急性期の体調理解や緊急時の対応についても講義する。 | オムニバス方式<br><br>講義　４２時間<br>演習　１８時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1. 失語症の定義・歴史・原因疾患と大脳機能局在（講義：能登谷）<br>2. 失語症の診方：標準失語症検査（SLTA）（講義：能登谷）<br>3. 失語症の症状①：聴覚的理解障害（講義：吉村）<br>4. 失語症の症状②：聴覚的理解障害の評価の実施（演習：外山）<br>5. 失語症の症状③：発話の障害（講義：吉村）<br>6. 失語症の症状④：発話の障害の評価の実施（演習：外山）<br>7. 失語症の症状⑤：読みの障害（講義：吉村）<br>8. 失語症の症状⑥：読みの障害の評価の実施（演習：外山）<br>9. 失語症の症状⑦：書きの障害（講義：吉村）<br>10. 失語症の症状⑧：書きの障害の評価の実施（演習：外山）<br>11. 失語症の症状⑨：文法と談話の障害（講義：吉村）<br>12. 失語症の分類（講義：能登谷）<br>13. 失語症の特徴①：運動性失語（講義：吉村）<br>14. 失語症の特徴②：運動性失語の言語症状（演習：外山）<br>15. 失語症の特徴③：感覚性失語（講義：吉村）<br>16. 失語症の特徴④：感覚性失語の言語症状（演習：外山）<br>17. 失語症の特徴⑤：超皮質性失語（講義：吉村）<br>18. 失語症の特徴⑥：超皮質性失語の言語症状（演習：外山）<br>19. 失語症の特徴⑦：伝導・健忘失語（講義：吉村）<br>20. 失語症の特徴⑧：伝導・健忘失語の言語症状（演習：外山）<br>21. 失語症の特徴⑨：その他の失語症（講義：吉村）<br>22. 失語症者の初回面接と情報収集（演習：外山）<br>23. 脳卒中患者のバイタルサインと緊急時の対応（講義：滝沢）<br>24. 失行の概念と分類（講義：能登谷）<br>25. 遂行機能障害・前頭葉機能障害の概念と分類（講義：能登谷）<br>26. 失認の概念と分類（講義：能登谷）<br>27. 注意障害の概念と分類（講義：能登谷）<br>28. 記憶障害の分類・病巣と症状（講義：能登谷）<br>29. 右脳損傷によるコミュニケーション障害（講義：能登谷）<br>30. 認知症の定義・分類・周辺症状（講義：能登谷）<br><br>講義：42時間　演習18時間 | |
| | | 失語・高次脳機能障害学Ⅱ | （概要）「失語・高次脳機能障害Ⅰ」において修得した知識を踏まえ、失語症ならびに失語以外の高次脳機能障害について、臨床場面でよく用いられる代表的な評価・診断の方法を概説する。さらに、失語症ならびに他の高次脳機能障害の評価として多用される標準化された検査バッテリーについて演習をする。演習では、検査法の実施手順を指導するとともに、失語症検査の適切な実施、結果の整理と解釈、鑑別診断、問題点の抽出について解説する。<br><br>（オムニバス方式／全３０回）<br><br>（２　能登谷　晶子／５回）<br>失語症ならびに失語以外の他の高次脳機能障害について、一般的な評価・診断の原則を概説する。失語以外の高次脳機能障害の症状に対応した代表的な評価・診断方法を紹介し、それらの標準化された検査バッテリーの特徴と選定留意点について講義する。失認・失行、遂行機能障害・前頭葉機能障害、記憶障害、認知症など、失語以外の他の高次脳機能障害の検査実施上の注意点、具体的な観察のポイント、検査結果の整理と解析方法についても解説する。<br><br>（５　吉村（波多野）　貴子／１５回）<br>失語症の評価法で最も多く使用されるＳＬＴＡ（標準失語症検査）の成り立ちを概説する。ＳＬＴＡの施行方法、結果の解釈、問題点の抽出方法について講義する。さらに、ＳＰＴＡ（標準高次動作性検査）、ＶＰＴＡ（標準高次視知覚検査）、ＢＩＴ（行動性無視検査日本版）、WMS－R（日本版ウェクスラー記憶検査改訂版）など、失語以外の高次脳機能検査の概要と実施手順について講義する。各検査結果の統合と鑑別診断、サマリーの書き方についても解説する。<br><br>（７　外山　稔／１０回）<br>失語症の評価法で最も多く使用されるＳＬＴＡ（標準失語症検査）について、それらの検査手続きの修得に向けた個別演習をおこなう。さらに、ＳＰＴＡ（標準高次動作性検査）、ＶＰＴＡ（標準高次視知覚検査）、ＢＩＴ（行動性無視検査日本版）、WMS－R（日本版ウェクスラー記憶検査改訂版）、ＲＢＭＴ（リバーミード行動記憶検査）など、失語以外の高次脳機能検査の検査手続きについては、検査見本の観察とグループ演習を通じて指導する。 | オムニバス方式<br><br>講義　４０時間<br>演習　２０時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1.評価・診断の原則：国際生活機能分類（ICF）と失語・高次脳機能障害（講義：能登谷）<br>2.失語・高次脳機能障害の評価：情報収集と鑑別診断（講義：能登谷）<br>3.標準失語症検査（SLTA）の手順①（講義：吉村）<br>4.標準失語症検査（SLTA）の手順②（講義：吉村）<br>5.SLTAの結果の解釈と問題点の抽出①（講義：吉村）<br>6.SLTAの結果の解釈と問題点の抽出②（講義：吉村）<br>7.SLTAの結果の解釈と問題点の抽出③（講義：吉村）<br>8.SLTAの実施①（演習：外山）<br>9.SLTAの実施②（演習：外山）<br>10.失認・失行の評価（講義：能登谷）<br>11.標準高次動作性検査（SPTA）の手順と結果の解釈（講義：吉村）<br>12.SPTAの実施手順と演習（演習：外山）<br>13.標準高次視知覚検査（VPTA）と行動性無視検査日本版（BIT）の手順と結果の解釈（講義：吉村）<br>14.VPTAとBITの実施（演習：外山）<br>15.記憶障害と前頭葉機能障害における評価（講義：能登谷）<br>16.各種記憶障害の検査の実施（演習：外山）<br>17.日本版ウェクスラー記憶検査改訂版（WMS-R），リバーミード行動記憶検査（RBMT），その他の記憶検査の手順と結果の解釈（講義：吉村）<br>18.WMS-R とRBMTの実施（演習：外山）<br>19.遂行機能障害症候群の行動評価（BADS）の説明と結果の解釈（講義：吉村）<br>20.BADSの実施（演習：外山）<br>21.認知症の評価（講義：能登谷）<br>22.認知症の各種検査の手順（講義：吉村）<br>23.ウェクスラー成人知能検査（WAIS-Ⅲ）の説明と結果の解釈（講義：吉村）<br>24.WAIS-Ⅲの実施（演習：外山）<br>25.スクリーニング検査と掘り下げ検査（講義：吉村）<br>26.スクリーニング検査の実施（演習：外山）<br>27.検査結果の統合とサマリーの書き方（演習：吉村）<br>28.失語・高次脳機能障害リハビリテーションの原則（講義：吉村）<br>29.各病期の失語・高次脳機能障害リハビリテーション①：急性期（講義：吉村）<br>30.各病期の失語・高次脳機能障害リハビリテーション②：回復期・生活期（講義：外山）<br><br>講義４０時間、演習２０時間 | |
| | | 失語・高次脳機能障害学Ⅲ | (概要)「失語・高次脳機能障害学Ⅰ」と「失語・高次脳機能障害学Ⅱ」で学んだ知識と技術を基に、失語症例と高次脳機能障害例へのリハビリテーション的アプローチを中心に学ぶ。講義では代表的なリハビリテーション法を概説した後、実際の患者を大学に招き、基本的な評価、掘り下げテストを行い、障害の全体像を把握し、訓練プログラムを立案する過程を修得する。その後、これらの全過程をレポートとしてまとめる技術を学ぶ。演習では、個別コミュニケーション療法以外の技術も提供する。<br><br>（オムニバス方式／全３０回）<br><br>（２　能登谷　晶子／１０回）<br>これまでの「失語・高次脳機能障害学Ⅰ」「失語・高次脳機能障害学Ⅱ」において習得した知識・技術を踏まえ、各種評価・検査結果の解釈からリハビリテーションアプローチまでの一連の流れについて概説する。また、各種検査結果から抽出した問題点に沿って代表的な訓練法を解説し、グループ演習を通じて具体的な手技を指導する。インテーク面接、初回評価、訓練、再評価などのリハビリテーション過程のレポート作成技術についても講義する。<br><br>（５　吉村（波多野）　貴子／１０回）<br>失語症患者を大学に招き、これまでの「失語・高次脳機能障害学Ⅰ」「失語・高次脳機能障害学Ⅱ」で学んだ評価・検査、問題点の抽出、訓練プログラムの立案までの過程を講義・演習する。さらに、集団コミュニケーション療法などの個別コミュニケーション療法以外の技術について解説する。これらの講義・演習を通じて、インテーク面接、初回評価、訓練、再評価といったリハビリテーション過程のレポート作成を課し、症例報告や訓練経過、患者サマリーなどの作成を指導する。 | オムニバス方式<br><br>講義　２４時間<br>演習　３６時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | （7　外山　稔／１０回）<br>失語症患者を大学に招き、これまでの「失語・高次脳機能障害学Ⅰ」「失語・高次脳機能障害学Ⅱ」で学んだ評価・検査、問題点の抽出、訓練プログラムの立案までの過程を演習する。この際、失語症患者への対応の仕方と礼節、患者の疲労や机上態度（課題遂行姿勢）などへの配慮、評価・検査の手順の工夫、問題点の抽出や訓練プログラムの立案などの臨床的事項について詳しく解説する。リハビリテーション過程のレポート作成についても指導する。<br><br>各回の内容と授業方法<br>1. 失語・高次脳機能障害リハビリテーションの理論と技法①<br>：機能の側面　（講義：能登谷）<br>2. 失語・高次脳機能障害リハビリテーションの理論と技法②<br>：活動・参加の側面　（講義：外山）<br>3. 訓練立案の実際①：計画の立て方　（講義：吉村）<br>4. 訓練立案の実際②：国際生活機能分類（ICF）に基づく支援<br>（講義：外山）<br>5. 訓練立案の実際③：訓練形態　（講義：能登谷）<br>6. 訓練立案の実際④：社会復帰と障害受容　（講義：能登谷）<br>7. 症例の評価と訓練①　（演習：能登谷）<br>8. 症例の評価と訓練②　（演習：能登谷）<br>9. 評価結果の整理と訓練プログラムの立案　（講義：吉村）<br>10. 訓練経過の整理　（講義：吉村）<br>11. 症例の評価と訓練③　（演習：外山）<br>12. 症例の評価と訓練④　（演習：外山）<br>13. 訓練経過の報告と発表　（演習：外山）<br>14. 症例レポートの作成①　（講義：能登谷）<br>15. 症例レポートの作成②　（講義：能登谷）<br>16. 重度失語症例や言語障害合併例への対応　（講義：吉村）<br>17. 失語・高次脳機能障害と画像診断　（講義：能登谷）<br>18. 各障害への訓練・指導①：失語症の急性期　（演習：吉村）<br>19. 各障害への訓練・指導②：失語症の急性期　（演習：外山）<br>20. 各障害への訓練・指導③：失語症の回復期の語彙訓練<br>（演習：外山）<br>21. 各障害への訓練・指導④：失語症の回復期の構文訓練<br>（演習：外山）<br>22. 各障害への訓練・指導⑤：失語症の回復期の<br>実用コミュニケーション訓練　（演習：外山）<br>23. 各障害への訓練・指導⑥：失語症の集団訓練　（演習：能登谷）<br>24. 各障害への訓練・指導⑦：失行　（演習：吉村）<br>25. 各障害への訓練・指導⑧：視覚性失認，聴覚性失認（演習：能登谷）<br>26. 各障害への訓練・指導⑨：半側空間失認　（演習：吉村）<br>27. 各障害への訓練・指導⑩：記憶障害　（演習：外山）<br>28. 各障害への訓練・指導⑪：遂行機能障害　（演習：吉村）<br>29. 各障害への訓練・指導⑫：認知症　（演習：吉村）<br>30. 各障害への訓練・指導⑬：認知症　（演習：吉村）<br><br>講義２４時間、演習３６時間 | |
| | | 言語発達障害学Ⅰ | （概要）言語発達障害とは、さまざまな要因で話しことば（音声言語）の理解や表現、文字（書字）言語の理解や表現が、同一年齢集団の平均的な発達水準から有意に遅れている状態である。言語発達障害を呈する障害には知的障害、特異的言語発達障害、聴覚障害に伴うもの、自閉症や学習障害など発達障害、脳性麻痺に伴うもの、後天性障害に伴うものなど多岐にわたる。本講義では、健常発達（身体・運動・認知・ことば・社会性等）を踏まえて、言語発達遅滞児についての必要な知識を学ぶ。<br><br>（オムニバス方式／全３０回）<br><br>（6　橋本　かほる／１８回）<br>健常児の言語発達の順序や獲得過程の解説を通して、各段階における発達指標に基づいた評価について講義する。そのうえで、言語発達に関連する障害の特徴、具体的には知的障害、特異的言語発達障害、聴覚障害に伴うもの、自閉症や注意欠陥多動障害など発達障害、脳性麻痺に伴うもののコミュニケーションと言語発達の症状について、評価・言語病理学的診断、そのための情報収集について解説し、障害別の発達の全体像についてまとめる。 | オムニバス方式<br><br>講義　３０時間<br>演習　３０時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | （８　弓削　明子／１０回）<br>健常児の言語発達の順序や獲得過程の解説から、各段階における発達指標に基づいた評価（ゲゼルの発達課題など）についての演習を行う。また、言語発達に関連する障害の特徴では、知的障害、特異的言語発達障害、聴覚障害に伴うもの、自閉症や注意欠陥多動障害などの発達障害、脳性麻痺に伴うもの、についてコミュニケーションと言語発達の症状を整理してみる。担当する演習では、障害別の発達の全体像のまとめ方について学生を指導する。<br><br>（101　益田　慎／２回）<br>言語発達遅滞や構音障害の背景となる難聴や高次機能障害等の症状の理解と評価について、耳鼻咽喉科医の立場から講義を担当する。言語発達障害を早期に発見して言語聴覚療法を始めることは、２次障害の予防のみならず、障害の軽減や学習言語への移行に重要である。これらは、長期的な視点にもとづき、言語性学習障害の早期発見やその原因という側面を考えるうえでも大切である。そのために必要な知識の提供や評価方法について、解説をする。<br><br>各回の内容と授業方法<br>1.健常児の身体・運動・認知・社会性・言語の発達（講義：橋本）<br>2.健常児の身体・運動・認知・社会性・言語の発達評価（演習：橋本）<br>3.言語発達障害の原因とタイプ（講義：橋本）<br>4.知的障害（脳性麻痺，重度心身障害，ダウン症）（講義：橋本）<br>5.知的障害とその評価（講義：橋本）<br>6.社会性の障害（自閉症スペクトラム障害）（講義：橋本）<br>7.社会性の障害とその評価（講義：橋本）<br>8.聴覚障害とその評価（講義：益田）<br>9.特異的言語発達障害・LD・ADHD・後天性言語障害の評価（講義：益田）<br>10.発声発語の障害（運動性構音障害、機能性構音障害）（講義：橋本）<br>11.発声発語の障害とその評価（講義：橋本）<br>12.発達検査（新版K式，KIDS，遠城寺式，津守・稲毛式）（講義：橋本）<br>13.発達検査（新版K式）の実施と解釈（演習：弓削）<br>14.発達検査（KIDS，遠城寺式，津守・稲毛式）の実施と解釈（演習：弓削）<br>15.知能検査（ビネー，WISC，WPPSI，K-ABC，Kohs）（講義：橋本）<br>16.知能検査（WISC，WPPSI）の実施と解釈（演習：橋本）<br>17.知能検査（ビネー，K-ABC，コース）の実施と解釈（演習：弓削）<br>18.言語発達検査(PVT，S-S法，ITPA，LCｽｹｰﾙ，読書力検査)（講義　橋本）<br>19.言語発達検査(PVT，ITPA）の実施と解釈（演習：弓削）<br>20.言語発達検査(S-S法）の実施（演習：橋本）<br>21.言語発達検査(S-S法)の解釈（演習：橋本）<br>22.言語発達検査(LCスケール）の実施と解釈（演習：弓削）<br>23.言語発達検査(読書力検査）の実施と解釈（演習：弓削）<br>24.認知・発達検査（フロスティッグ，ベントン，ベンダーゲシュタルト）（講義：橋本）<br>25.認知・発達検査（フロスティッグ）の実施と解釈（演習：弓削）<br>26.認知・発達検査（ベントン，ベンダーゲシュタルト）の実施と解釈（演習：弓削）<br>27.コミュニケーション行動評価（S―S法、質問応答検査）（講義：橋本）<br>28.コミュニケーション行動評価（S―S法）の実施（演習：弓削）<br>29.コミュニケーション行動評価（S―S法）の解釈（演習：橋本）<br>30.コミュニケーション行動評価（質問応答検査）の実施と解釈（演習：弓削）<br><br>講義３０時間、演習３０時間 | |
| | | 言語発達障害学Ⅱ | （概要）「言語発達障害学Ⅰ」で学んだ知識を踏まえて、言語発達障害の原因別での評価方法について学ぶ。指導・訓練については、子どもの発達段階、障害特性の評価から、訓練プログラムの立案を行うことになる。訓練に至るまでの過程を理解し、環境調整も加えて、子どもの全体像を把握する。ビデオ分析や演習を通して、評価と訓練・指導を学修するとともに、検査の記録、検査結果や評価のまとめ、訓練記録、報告書など、臨床において必要な文書の書き方について学ぶ。<br><br>（オムニバス方式／全３０回） | オムニバス方式<br><br>講義　２４時間<br>演習　３６時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | （６　橋本　かほる／１４回）<br>言語発達段階別の評価のポイントを押さえたうえで、必要な情報収集についての方法と背景にある知識を提供する。発達の状態像の把握に必要な検査法については、主な発達検査・知能検査・言語検査を演習を通して修得する。さらに、発達段階や障害特性に応じた評価法と訓練プログラムの立案について講義する。指導方法論として、語用論的アプローチ、拡大・代替コミュニケーション（ＡＣＣ）、ＴＥＡＣＣＨプログラムを紹介し、その支援の方法の特徴と有効性についても知識を提供する。<br><br>（８　弓削　明子／１０回）<br>発達検査・知能検査・言語検査の演習では、各検査道具の取り扱いや検査手順、記録の方法、評価・検査結果のまとめ方のポイントと留意事項など、正しい検査法の修得に向けた学生の指導を行う。また、発達段階や障害特性に応じた評価法と訓練プログラムの立案についても、演習時に個々に必要な説明を加え、適切な評価方法の選択、評価・検査結果の解釈、それに基づいた具体的な訓練プログラムの立案についての学生指導を行う。<br><br>（102　足立　さつき／６回）<br>言語発達障害の包括的な評価・訓練プログラムである国リハ式（S-S法）発達遅滞検査について担当する。S-S法の枠組みと特徴を理解するうえで、言語行動を捉える３側面に基づいた評価について学修を進める。さらに、検査道具の取り扱い方や、記録方法、検査結果のまとめ方について演習を通して修得を進める。さらに、発達段階から支援方法についてのプログラムを理解するとともに、その際に必要な他の言語検査についても知識を提供する。<br><br>各回の内容と授業方法<br>1. 言語発達障害児での情報収集と評価　（講義：橋本）<br>2. 発達段階別の指導訓練①前言語期　（講義：橋本）<br>3. 発達段階別の指導訓練②語彙獲得期　（講義：橋本）<br>4. 発達段階別の指導訓練③幼児期　（講義：橋本）<br>5. 発達段階別の指導訓練④学童期　（講義：橋本）<br>6. 障害特性別の指導と訓練：知的障害児の評価と訓練　（講義：橋本）<br>7. 知的障害児の指導方法論（マカトン法）　（講義：橋本）<br>8. 知的障害児の評価　（演習：弓削）<br>9. 知的障害児の訓練プログラムの立案　（演習：弓削）<br>10. 知的障害児の幼児期の指導と訓練　（演習：弓削）<br>11. 知的障害児の幼児期の指導と訓練　（演習：弓削）<br>12. 障害特性別の指導と訓練　発達障害児の評価と訓練　（講義：橋本）<br>13. 発達障害児の指導方法論(TEACCH)　（講義：橋本）<br>14. 発達障害児の評価　（演習：弓削）<br>15. 発達障害児の訓練プログラムの立案　（演習：弓削）<br>16. 発達障害児の幼児期の指導と訓練　（演習：弓削）<br>17. 発達障害児の学童期の指導と訓練　（演習：橋本）<br>18. 特異的言語発達障害・後天性言語障害児の評価と訓練　（講義：橋本）<br>19. 特異的言語発達障害・後天性言語障害児の評価　（演習：橋本）<br>20. 特異的言語発達障害・後天性言語障害児の訓練プログラムの立案　（演習：橋本）<br>21. 特異的言語発達障害・後天性言語障害児の幼児期の指導と訓練　（演習：弓削）<br>22. 特異的言語発達障害・後天性言語障害児の学童期の指導と訓練　（演習：弓削）<br>23. S-S法をもとにした指導方法　（講義：足立）<br>24. S-S法をもとにした発達段階別評価　（演習：足立）<br>25. S-S法をもとにした発達段階別訓練プログラムの立案　（演習：足立）<br>26. S-S法をもとにした発達障害別指導と訓練　（演習：足立）<br>27. S-S法をもとにした障害特性別評価　（演習：足立）<br>28. S-S法をもとにした障害特性別訓練プログラムの立案　（演習：足立）<br>29. S-S法をもとにした障害特性別指導と訓練　（演習：橋本）<br>30. 語用論的アプローチをもとにした指導方法　（講義：橋本）<br><br>講義２４時間、演習３６時間 | |
| | | 言語発達障害学Ⅲ | (概要)「言語発達障害学Ⅱ」で学んだ様々な検査の用い方について、言語発達障害の疾患や発達段階別の事例検討による演習を通して理解を図る。指導・訓練については、発達段階、障害特性、個別的な特性に即した支援について実践的な演習を通して深める。個別の言語訓練プログラムの立案・実践についての演習では、経過表、訓練記録、報告書等をまとめることで、より実践に近い演習を行う。幼児期からの家庭療育指導や学童期以降の言語指導や関係機関との連携についても学ぶ。子どもを取り巻く環境や保護者支援についても総合的な演習を進める。<br>（オムニバス方式／全３０回） | オムニバス方式<br><br>講義　１６時間<br>演習　４４時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | （102　足立　さつき／６回）<br>　国リハ式（S−S法）発達遅滞検査を用いた検査や行動観察も含めた評価から、働きかけの目標や重点を理解し、個別の言語訓練プログラムの立案・実践についての講義と演習を行う。さらに再評価と訓練プログラムの修正まで系統的な流れからも理解を深める。演習では、具体的な事例検討や教材の選択などより実践的な内容を提供し、他の言語検査結果との関連性や事例の発達段階や障害特性、個別的な特性に合わせて、必要となる検査についても解説する。<br><br>（６　橋本　かほる／１６回）<br>　発達段階や障害特性に応じた評価に必要な情報の収集や検査の選択についてこれまでの知識を整理し、演習では事例検討を通して総合的な評価と訓練・指導プログラムの立案について担当する。指導・訓練については、発達段階、障害特性、個別的な特性に即した支援について実践的な演習を担当する。また、幼児期からの家庭療育指導では、保護者からの情報収集方法や訓練のフィードバックについて解説するとともに、学童期以降の言語指導や関係機関との連携についても情報提供書の作成等の演習により理解を進める。<br><br>（８　弓削　明子／８回）<br>　発達段階や障害特性に応じた評価に必要な情報の収集方法や検査の適切な選択、その実施手順等についての演習を行う。事例検討による演習では、具体的な事例提示とその総合的な評価から、個別の言語訓練プログラムの立案・実践についての理解を進め、経過表、訓練記録、報告書等の作成まで指導する。指導・訓練については、発達段階、障害特性、個別的な特性に即した支援について実践的に演習する。<br><br>各回の内容と授業方法<br>1. 言語発達障害児や家族に対する直接的および間接的な援助　（講義：橋本）<br>2. 初回面接：情報の収集　（演習：橋本）<br>3. 初回面接と検査の選択　（演習：弓削）<br>4. 身体・運動・認知・社会性の評価　（演習：橋本）<br>5. 発達段階別の言語評価　（演習：橋本）<br>6. 障害特性別に評価　（演習：橋本）<br>7. 個別的な特性の評価　（演習：弓削）<br>8. 評価のまとめ　（講義：橋本）<br>9. 評価のまとめの実施　（演習：弓削）<br>10. 訓練プログラムの立案　（講義：橋本）<br>11. 訓練プログラムの立案の実施　（演習：弓削）<br>12. 訓練プログラムの実施①　（演習：橋本）<br>13. 訓練プログラムの実施②　（演習：弓削）<br>14. 訓練の記録と経過表の作成　（講義：橋本）<br>15. 訓練の記録と経過表の作成の実施　（演習：弓削）<br>16. 報告書の作成　（演習：弓削）<br>17. 情報提供書の作成　（演習：弓削）<br>18. 学童期以降の長期観察経過　（演習：橋本）<br>19. 家庭療育上の指導　（講義：橋本）<br>20. 家庭療育上の指導の実施　（演習：橋本）<br>21. 保護者への支援と子どもを取り巻く環境　（講義：橋本）<br>22. 個別療育指導　（講義：足立）<br>23. 個別療育指導①情報の収集と検査の選択　（演習：足立）<br>24. 個別療育指導②評価　（演習：足立）<br>25. 個別療育指導③評価のまとめ　（演習：足立）<br>26. 個別療育指導④訓練プログラムの立案　（演習：足立）<br>27. 個別療育指導⑤訓練　（演習：足立）<br>28. 個別療育指導⑥家庭療育上の指導　（演習：橋本）<br>29. 集団療育指導　（講義：橋本）<br>30. 集団訓練プログラム　（演習：橋本）<br><br>講義１６時間、演習４４時間 | |
| | | 重複障害学 | （概要）小児の重複障害として、脳性麻痺、重度重複障害について理解を深める。脳性麻痺は脳損傷に由来する症候群であり、知的発達障害、視覚障害、聴覚障害、てんかん、視覚や聴覚の認知発達障害、情緒面や行動面の発達障害など二重三重の障害を合併していることがある。重複した障害をもつ子どもたちのことばの発達の特徴を理解し、コミュニケーション発達支援に必要な知識について学ぶ。また、ライフステージに沿った支援や家族支援について学ぶ。<br><br>（オムニバス方式／全１５回） | オムニバス方式<br><br>講義　１６時間<br>演習　１４時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | （6　橋本　かほる／１０回）<br>脳性麻痺の定義や原因といった基本的知識を提供し、重複障害との関連について解説する。また、脳性麻痺の言語コミュニケーション障害の特徴である発達症状の多様性や偏りを適切に評価するための方法と、その評価として必要な検査についての演習を行う。さらに、重複障害の認知、行動、情緒面の発達をライフステージから捉え、それぞれの言語・コミュニケーション支援についても事例を通した演習により理解を深める。<br><br>（8　弓削　明子／５回）<br>脳性麻痺・重複障害の発達評価についての演習を行い、言語コミュニケーション障害の特徴である発達症状の多様性や偏りについて必要な検査とその実施方法を補助的に解説する。さらに指導・訓練については、事例による演習により言語発達や発声・発語はもとより、プレスピーチ、摂食・嚥下訓練、拡大・代替コミュニケーション（ＡＣＣ）といった支援方法について講義を補助し、機器や補助具についての使用方法についても分担して担当する。<br><br>各回の内容と授業方法<br>1.言語発達障害としての脳性麻痺　（講義：橋本）<br>2.脳性麻痺の重症度、タイプ、発達段階　（講義：橋本）<br>3.脳性麻痺の言語聴覚障害の特徴と評価法　（講義：橋本）<br>4.脳性麻痺の言語聴覚障害の評価①姿勢・呼吸　（演習：橋本）<br>5.脳性麻痺の言語聴覚障害の評価②聴覚　（演習：橋本）<br>6.脳性麻痺の言語聴覚障害の評価③発声・構音　（演習：弓削）<br>7.脳性麻痺の言語聴覚障害の評価③摂食・嚥下　（演習：弓削）<br>8.脳性麻痺の言語聴覚障害の評価④言語発達　（演習：弓削）<br>9.脳性麻痺の摂食・嚥下障害に対する指導・訓練　（講義：橋本）<br>10.脳性麻痺の摂食・嚥下指導・訓練の実施　（演習：弓削）<br>11.脳性麻痺の認知・行動・情緒面の発達とコミュニケーション支援　（講義：橋本）<br>12.拡大・代替コミュニケーション(AAC)　（講義：橋本）<br>13.拡大・代替コミュニケーション(AAC)の道具と使用　（演習：弓削）<br>14.盲聾との重複障害による認知・行動・情緒面の特徴　（講義：橋本）<br>15.多職種の連携と情報提供　（講義：橋本）<br><br>講義１６時間、演習１４時間 | |
| | | 音声障害学 | （概要）音声障害は声の異常であり、喉頭の病変だけでなく呼吸の制限や精神的要因が背景にあることもある。発声の基本をもとに、声の異常を考えることが、病態を理解し適切な治療を考えるうえで大切である。本講義では、ヒトの声の異常とその起源の多様性を示し、基本的な評価と治療の解説をする。演習では、声の評価（聴取印象：声の大きさや高さ、ふるえ、嗄声など、生理検査：内視鏡や空気力学的計測）、喉頭の外科的治療、音声治療、無喉頭音声とリハビリテーションについて、症例の画像を提示して解説する。<br><br>（オムニバス方式／全３０回）<br>（3　久　育男／１５回）<br>喉頭の解剖・生理をおさえたうえで、発声の仕組みを解説する。喉頭の内視鏡的な観察について、内視鏡装置（ファイバースコープ、喉頭鏡、光源）、ストロボ撮影の原理とイメージ、観察のポイントを実演をしながら説明をする。音声障害の診察の流れを示し、診断と治療を概説する。音声障害をきたす疾患、喉頭病変や喉頭麻痺の診断、治療の方法（手術と投薬）の標準を提示する。喉頭がんと喉頭摘出による無喉頭での音声機能の再生方法を説明する。<br><br>（4　苅安　誠／１４回）<br>ヒトの声と音声コミュニケーションの特徴について解説し、社会生活においての音声の重要性を示す。声の異常とその起源の多様性について、生涯の中で考えてみる。声の評価では、声質や声の高さや大きさとその安定性の聴取印象と音響分析、呼気流量と声門下圧の計測といった空気力学的検査の方法を示し、演習を行う。喉頭・声帯の病理に合わせた音声治療の手技を説明し、学生相互演習で体験をする。無喉頭での代用音声のリハビリテーションを説明する。<br><br>（36　柳田　泰義／１回）<br>声の異常は、喉頭の病変や麻痺だけでなく、全身の緊張や姿勢のゆがみが呼吸を制限してのどを締めてしまう過緊張発声もある。このように、呼吸をつかさどる胸郭の動きは脊柱を取り巻く状態に影響を受けることがある。そこで、身体の専門家の立場で、姿勢の評価と整え方について、学生に解説をする。はじめに、姿勢の見方、正常な姿勢と異常な姿勢の特徴、を提示する。いろいろな姿勢が、呼吸や身体の緊張にどう作用するのかを考える。次に、姿勢を整える方法のポイントを示す。 | オムニバス方式<br><br>講義　３８時間<br>演習　２２時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1. 音声コミュニケーションの特徴と社会生活での声の重要性 (講義：苅安)<br>2. ライフスパンでの声の異常とその起源の多様性 (演習：苅安)<br>3. 喉頭の解剖 (講義：久)<br>4. 喉頭の生理 (講義：久)<br>5. 発声の仕組み (講義：久)<br>6. 声の異常いろいろ：耳で聞く・動画で見る (演習：久)<br>7. 喉頭の観察① (演習：久)<br>8. 喉頭の観察② (演習：久)<br>9. 音声障害の診察の流れ (講義：久)<br>10. 診断と治療の概説 (講義：久)<br>11. 音声障害をきたす疾患 (講義：久)<br>12. 喉頭病変や喉頭麻痺の診断 (講義：久)<br>13. 声の評価 (講義：苅安)<br>14. 声質の聴取印象 (演習：苅安)<br>15. 声の高さや大きさとその安定性の聴取印象 (演習：苅安)<br>16. 声の音響分析 (演習：苅安)<br>17. 発声と声道の空気力学 (講義：苅安)<br>18. 呼気流量と声門下圧の計測 (演習：苅安)<br>19. 治療の方法（手術と投薬） (講義：久)<br>20. 喉頭がんと喉頭摘出 (講義：久)<br>21. 無喉頭での音声機能の再生 (講義：久)<br>22. 音声障害の治療のエビデンス (講義：久)<br>23. 音声治療の概説 (講義：苅安)<br>24. 音声治療の手技 (演習：苅安)<br>25. 変声障害への音声治療 (講義：苅安)<br>26. 喉頭病変への音声治療 (講義：苅安)<br>27. 過緊張発声への音声治療 (講義：苅安)<br>28. 姿勢の評価と整え方 (演習：柳田)<br>29. 痙攣性発声障害の治療 (講義：苅安)<br>30. 無喉頭での代用音声のリハビリテーション (演習：苅安)<br><br>講義３８時間、演習２２時間 | |
| | | 構音障害学Ⅰ | (概要) 構音障害は、正確に音声を作ることができない状態で、神経系の異常、構造上の問題、発音器官の誤った操作が背景にある。本講義では、発声発語の基本的事項（神経と筋活動、運動と声道空気力学）を提示し、発声発語の評価方法を提供する。神経病理と運動異常の理解をはかり、運動性構音障害を診る際の基本的方法と考え方、治療の方法について、代表的な症例をあげながら、解説をする。演習では、発声発語の評価、発声発語器官の観察、病態生理の理解、治療方法の選択と実施方法について学ぶ機会を提供する。<br><br>（オムニバス方式／全３０回）<br><br>（４　苅安　誠／２０回）<br>発声発語の生理と神経系の関与を説明し、基本的事項（音声言語コミュニケーションの特徴など）を示す。発声発語の評価方法として、標準的な問診と発話の聴取印象、音声課題と音声特徴、口腔顔面の観察、最大能力試験を説明する。神経病理と運動異常の関連性を示し、代表的な疾患と運動・音声所見を示す。運動性構音障害を診る際の基本的方法と考え方を提示し、治療の基本と代表的な方法を解説する。症例を提示し、音声言語病理（病態生理）に伴う現実的な問題と対策を考える。<br><br>（８　弓削　明子／１０回）<br>発声発語の評価について、音声課題の実施と音声特徴の記述、口腔顔面の観察、最大能力試験の教示と分析を実際に行う。音声特徴の記述については、音声サンプルの聴取、所見の確認を行い、確実に適切なラベルを使えるように学生を指導する。口腔顔面の観察については、学生相互の実習、症例ビデオの観察を通して、観察での教示や所見を学修させる。症例問題を通じて、音声所見、病態生理、治療方法の選択、訓練の目標設定、課題の設定について、学生に小グループでの討議を行わせ、発表と意見交換を全体で行う。 | オムニバス方式<br><br>講義　３６時間<br>演習　２４時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1. 発声発語の生理 (講義：苅安)<br>2. 発声発語への神経系の関与 (講義：苅安)<br>3. 音声言語コミュニケーションの特徴と発話困難 (講義：苅安)<br>4. 標準的な問診と発話の聴取印象 (講義：苅安)<br>5. 音声課題と音声特徴 (講義：苅安)<br>6. 音声課題の実施と音声特徴の記述：声 (演習：弓削)<br>7. 音声課題の実施と音声特徴の記述：共鳴 (演習：弓削)<br>8. 音声課題の実施と音声特徴の記述：構音と韻律 (演習：弓削)<br>9. 口腔顔面の観察 (講義：苅安)<br>10. 口腔顔面の観察の実施 (演習：弓削)<br>11. 最大能力試験 (講義：苅安)<br>12. 最大能力試験の実施 (演習：弓削)<br>13. 発話明瞭度の評価 (講義：苅安)<br>14. 発話明瞭度の評価の実際 (演習：弓削)<br>15. 運動性構音障害の臨床特徴と疫学 (講義：苅安)<br>16. 神経病理と運動異常の関連性 (講義：苅安)<br>17. 代表的な疾患と運動・音声所見① (講義：苅安)<br>18. 代表的な疾患と運動・音声所見② (講義：苅安)<br>19. 鑑別診断 (講義：苅安)<br>20. 神経疾患の経過と予後 (講義：苅安)<br>21. 運動性構音障害を診る際の基本的方法と考え方 (講義：苅安)<br>22. 運動性構音障害のマネージメントの原則 (講義：苅安)<br>23. 治療の基本と代表的な方法 (講義：苅安)<br>24. 訓練の目標と課題の設定 (講義：苅安)<br>25. 訓練の組み立て (演習：弓削)<br>26. 訓練課題の作成 (演習：弓削)<br>27. 症例検討：主訴・音声所見と病態生理 (演習：弓削)<br>28. 症例検討：治療方法の選択 (演習：弓削)<br>29. 症例検討：訓練とその経過 (演習：弓削)<br>30. 症例検討：現実的な問題と対策 (演習：苅安)<br><br>講義３６時間、演習２４時間 | |
| | | 構音障害学Ⅱ | (概要) 構音障害は、運動性構音障害、器質性構音障害、機能性構音障害に大別される。「構音障害学Ⅰ」を踏まえ、本講義では、先天性の奇形（口唇口蓋裂など）、腫瘍とその切除（口腔中咽頭がん、主に舌がん）に伴う器質性構音障害を扱う。構造上の異常を修復するための外科的方法と歯科補綴治療、構音の評価、構音訓練の基本的な方法を解説する。演習では、訓練材料と具体的手技、形態異常の記録法等を学ぶ機会を学生に提供する。<br><br>（オムニバス方式／全１５回）<br><br>（４　苅安　誠／４回）<br>器質性構音障害の原因（代表的な疾患や状態）と発声発語の特徴を概説する。構音の評価については、器質性の構音障害に特化した部分（口腔顔面や口腔内の観察、明瞭度の評価など）を取り上げつつ、視聴覚教材を交えて解説する。また、基本的な訓練と指導の方法についても講義する。構音器官の構造上の変化が構音に影響するメカニズムを解き明かすために、空気力学的な計測、口腔構音運動の記録を含めた評価の利用について解説する。<br><br>（８　弓削　明子／５回）<br>器質性構音障害の患者での評価と訓練の実際について演習を行う。演習は全体もしくは小グループとし、口唇口蓋裂や舌がんの症例の発話サンプルを使用した構音の聞き取り判定と記録、発話の明瞭さの聴取と判定、口腔顔面の観察と記録、構音の訓練と指導、訓練で用いる材料の準備などを取り扱う。また、代表的な症例の病歴、評価と訓練内容、経過を提示しつつ、評価と治療についてのポイントを復習させ、問題点と解決策を全体で討議する。<br><br>（103　小野　高裕／６回）<br>器質性構音障害の原因（奇形と腫瘍）とその診断・治療について、概説をする。歯科医の立場から、口腔顔面の観察について詳しく解説をする。口腔器官の変化に伴う構音と嚥下の問題を示し、外科的方法と歯科補綴的治療（口蓋補助床ＰＡＰ等）について、その作用原理と方法、適応と期待される効果を、症例を取り上げて説明する。舌の運動の観察方法を概説し、補綴的治療の前後での、構音と舌の運動の変化について、症例を示しながら解説をする。 | オムニバス方式<br><br>講義　１６時間<br>演習　１４時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1. 構音障害の類型と臨床特徴　（講義：苅安）<br>2. 器質性構音障害の原因（代表的な疾患や状態）と発声発語の特徴　（講義：苅安）<br>3. 器質性構音障害での特別な評価　（講義：苅安）<br>4. 構音の聞き取り判定と記録①　（演習：弓削）<br>5. 構音の聞き取り判定と記録②　（演習：弓削）<br>6. 空気力学的計測の実施　（演習：弓削）<br>7. 口腔構音運動の観察：パラトグラフィー　（演習：弓削）<br>8. 器質性構音障害の原因（奇形と腫瘍）とその診断・治療　（講義：小野）<br>9. 口腔顔面の観察　（演習：小野）<br>10. 口腔器官の変化に伴う構音と嚥下の問題　（講義：小野）<br>11. 外科的方法と歯科補綴的治療（口蓋補助床ＰＡＰ等）　（講義：小野）<br>12. 舌運動の観察　（演習：小野）<br>13. 補綴的治療の前後での構音と舌の運動の変化　（講義：小野）<br>14. 構音訓練：基本的な訓練と指導の方法　（講義：苅安）<br>15. 構音訓練のプログラム作成と実施　（演習：弓削）<br><br>講義１６時間、演習１４時間 | |
| | | 構音障害学Ⅲ | (概要）子どもは母国語の発音を学習し、就学前にはすべての言語音をマスターする。ただし、学習過程での不具合により、発音を修得できずに異常を呈する状態を、機能性の構音障害と呼ぶ。聴こえの異常や言葉の発達の遅れによっても発音ができないことがあるので、鑑別診断が重要である。本講義では、「構音障害学Ⅰ」と「構音障害学Ⅱ」を踏まえ、機能性の構音障害の特徴、構音の検査方法と評価、口腔顔面の観察方法、構音の訓練と指導の方法について、基本的情報を提供する。演習では、構音の評価、訓練での材料と手続きについて、学ぶ機会を提供する。<br><br>（オムニバス方式／全１５回）<br><br>（４　苅安　誠／５回）<br>構音の発達についてのユニバーサル（子音の獲得順序）と日本語音声の特性を示し、機能性の構音障害の考えられる原因と特徴を解説する。構音の検査方法と評価の基本を示し、幼児・学童に対しての口腔顔面の観察の方法とそのポイントを説明する。構音の訓練と指導の標準的な方法（非言語性の操作、聞き取り弁別など）を提供し、訓練課題の設定について解説をする。構音障害と吃音の合併した症例の経過を提示して、根底にある音声言語病理について考えてみる。<br><br>（８　弓削　明子／１０回）<br>機能性構音障害の症例での誤り音の判定について説明を行い、発話サンプル（構音検査での音声、会話・質問応答での発話）の聞き取りと記録の演習を行う。構音訓練での目標音の誘導の方法については、学生相互の実習形式として、そのなかで個別に指導を行う。構音訓練での課題設定、材料と手続きについては、詳しく解説を行った上で、代表的な音の誤りについての訓練・指導プランを作る演習を実施する。症例問題により、治療の計画と課題設定の演習を個別に行う。<br><br>各回の内容と授業方法<br>1. 構音の発達についてのユニバーサルと日本語音声の特性　（講義：苅安）<br>2. 機能性の構音障害の考えられる原因と特徴　（講義：苅安）<br>3. 構音の検査方法と評価の基本　（講義：苅安）<br>4. 幼児・学童に対しての口腔顔面の観察の方法とそのポイント　（講義：苅安）<br>5. 機能性構音障害の症例での誤り音の判定①　（演習：弓削）<br>6. 機能性構音障害の症例での誤り音の判定②　（演習：弓削）<br>7. 構音の訓練と指導の標準的な方法（非言語性の操作、聞き取り弁別など）　（講義：苅安）<br>8. 構音訓練での目標音の誘導の方法①　（演習：弓削）<br>9. 構音訓練での目標音の誘導の方法②　（演習：弓削）<br>10. 構音訓練での目標音の誘導の方法③　（演習：弓削）<br>11. 音の誤りについての訓練・指導プラン作り①　（演習：弓削）<br>12. 音の誤りについての訓練・指導プラン作り②　（演習：弓削）<br>13. 症例問題①　（演習：弓削）<br>14. 症例問題②　（演習：弓削）<br>15. 症例問題③　（演習：弓削）<br><br>講義１０時間、演習２０時間 | オムニバス方式<br><br>講義　１０時間<br>演習　２０時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | 嚥下障害学 | (概要) 嚥下困難（障害）は病状であり、多様な原因によって起こる。高齢化により嚥下困難の訴えは多く、脳卒中、先天的障害、がん、頸椎症などは、ほとんどの診療科と共同して評価診断、治療が行なわれる。講義では、嚥下のしくみ、摂食と嚥下、嚥下の評価、嚥下障害の分類と治療、手術、嚥下訓練の基本的情報を提供する。演習では、嚥下の評価（スクリーニング、内視鏡的観察と病態説明、嚥下造影検査での所見と病態説明）、嚥下訓練の手技を取り上げる。<br><br>（オムニバス方式／全３０回）<br>（３　久　育男／１０回）<br>嚥下障害をきたす疾患と嚥下困難の特徴を解説する。嚥下障害の分類と標準的な治療（手術、リハビリテーション）を提示する。嚥下の評価の一部としての画像診断法を概説し、内視鏡的観察についてはプロトコールと所見、手術（誤嚥防止術、嚥下機能改善術）について説明をする。演習として、内視鏡的観察での所見と病態生理の説明を課題として行う。耳鼻咽喉科・頭頸部外科で遭遇する症例を題材に、患者の病歴と嚥下困難の経過、診断と治療について、説明をする。<br><br>（４　苅安　誠／１０回）<br>嚥下のしくみについて、嚥下器官の構えと動き、筋肉の活動、神経系の関わり、呼吸の制御、食塊の移送の観点で、解説をする。摂食と嚥下という概念を説明し、生命や生活を脅かす嚥下障害の合併症（肺炎、脱水、低栄養）を提示し、人工的栄養の論争や誤嚥などの医療事故について言及する。嚥下関連の評価、嚥下訓練の全体像、リスクマネージメントの基本を解説する。演習として、嚥下造影の所見と病態説明、治療の選択を課題として行う。<br><br>（７　外山　稔／９回）<br>嚥下のスクリーニング（水飲みテスト、食物テスト、反復唾液嚥下テスト等）、嚥下訓練の基本と個別の手技について、詳しく解説する。実際のテストや訓練手技は、学生相互の実習形式として、そのなかで個別に指導を行う。嚥下造影や内視鏡画像などの視聴覚情報（教材）を用いて、観察機会を設ける。画像所見と解釈については、学生との質疑応答を通じ、適切な評価を学修させる。さらに、代表的な症例をあげて、問題形式で評価と治療についての検討を行う。<br><br>（37　山田　豊子／１回）<br>嚥下の評価とその訓練においては、入院患者および寝たきりの患者も含めてベッドサイドでの関わりが多く、誤嚥に関するリスクマネジメントは、チーム（看護師、言語聴覚士、医師ほか）で行われるべきである。嚥下困難のある患者に対する気道管理の重要性と方法、嚥下訓練でのリスクマネジメントにあたっての、看護師との連携の取り方を説明する。また、吸引の方法（道具、準備、操作）と留意点について解説を行い、演習形式でその実際を学ぶ。 | オムニバス方式<br><br>講義　２６時間<br>演習　３４時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1. 嚥下のしくみ：嚥下器官の構え動きと食塊の移送　（講義：苅安）<br>2. 嚥下の仕組み：筋肉の活動、神経系の関わり、呼吸の制御　（講義：苅安）<br>3. 嚥下の仕組み：　グループで説明　（演習：苅安）<br>4. 嚥下障害の合併症（肺炎、脱水、低栄養）　（講義：苅安）<br>5. 嚥下障害をきたす疾患と嚥下困難の特徴　（講義：久）<br>6. 画像診断法　（講義：久）<br>7. 嚥下障害の分類　（講義：久）<br>8. 標準的な治療（手術、リハビリテーション）　（講義：久）<br>9. 嚥下関連の評価　（講義：苅安）<br>10. 嚥下造影検査：実施要領　（演習：苅安）<br>11. 嚥下内視鏡：プロトコールと評価　（講義：久）<br>12. 内視鏡による嚥下の観察　（演習：久）<br>13. 嚥下造影と内視鏡画像の観察記録①　（演習：久）<br>14. 嚥下造影と内視鏡画像の観察記録②　（演習：外山）<br>15. 嚥下造影の所見と病態説明①　（演習：苅安）<br>16. 嚥下造影の所見と病態説明②　（演習：外山）<br>17. 嚥下のスクリーニング　（講義：外山）<br>18. スクリーニング・テストの実施　（演習：外山）<br>19. 嚥下訓練の全体像　（講義：苅安）<br>20. 嚥下訓練の基本的方法　（講義：外山）<br>21. 嚥下訓練での姿勢調整　（演習：外山）<br>22. 嚥下訓練の手技　（演習：外山）<br>23. 治療の選択　（演習：苅安）<br>24. リスクマネージメントの基本　（講義：苅安）<br>25. 誤嚥に対しての対応　（演習：山田）<br>26. 人工的栄養の論争や誤嚥などの医療事故　（演習：苅安）<br>27. 患者の病歴と嚥下困難の経過：診断と治療①　（演習：久）<br>28. 患者の病歴と嚥下困難の経過：診断と治療②　（演習：久）<br>29. 症例検討：評価と治療の課題①　（演習：外山）<br>30. 症例検討：評価と治療の課題②　（演習：外山）<br><br>講義２６時間、演習３４時間 | |
| | | 吃音学 | （概要）吃音は、特有の非流暢な発話（くり返し、引き伸ばし、ブロック）とともに、身体随伴症状（むがき、手足の動きなど）や心理的反応（工夫、予期や回避など）を呈する言語障害である。原因はいまだに不確かではあるが、基本的な評価と治療法については示されている。本講義では、吃音の症候論（疫学と主要症状、原因と要因）、特徴（言語面と他の側面）、発話の評価、治療方法について、基本的な情報を提供する。演習では、発話の分析と治療の手技について、学生が学ぶ機会を与える。<br><br>（オムニバス方式／全１５回）<br><br>（４　苅安　誠／７回）<br>吃音の定義と症候（疫学、臨床特徴、原因論）について、説明をする。発話の評価と吃音の鑑別診断、治療の方法と有効性について、概要と基本的内容を提供する。小児と成人の吃音症例での評価と訓練経過について、問題形式の小グループでの検討会を行う。演習として、発話の分析と訓練の手技を行い、基本的な臨床技術を身に付ける。吃音を有する人たちの気持ちを理解するために、吃音を演じてみて、どう感じたかを話し合う機会を設ける。<br><br>（104　川合　紀宗／８回）<br>吃音の原因についての諸仮説を踏まえて、吃音という発達性の言語障害と吃音のある人たちの理解と支援を考える筋道を提供する。具体的には、多要因モデルなどで、吃音のある人たちの発話や行動とその特徴を考えてみる。吃音のある子どもたちにおいての学校生活や学習上の困難、教師の働きかけ、家族のサポートについて、日本の現状と展望を提示する。演習の中では、吃音のある人への指導（認知行動療法、言語促進）を取り扱い、臨床スキルを学修させる。 | オムニバス方式<br><br>講義　１８時間<br>演習　１２時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1.吃音の定義と疫学 (講義：苅安)<br>2.臨床特徴と原因論 (講義：苅安)<br>3.発話の評価と吃音の鑑別診断 (講義：苅安)<br>4.発話の分析と訓練の手技 (演習：苅安)<br>5.治療の方法と有効性 (講義：苅安)<br>6.小児と成人の吃音症例での評価と訓練経過 (演習：苅安)<br>7.吃音を演じての気持ち (演習：苅安)<br>8.多要因モデルと発話行動 (講義：川合)<br>9.モデルで考える吃音 (演習：川合)<br>10.学校生活や学習上の困難と対策 (講義：川合)<br>11.教師の働きかけ (講義：川合)<br>12.家族のサポート (講義：川合)<br>13.吃音の治療とエビデンス (講義：川合)<br>14.言語促進の実際 (演習：川合)<br>15.認知行動療法 (演習：川合)<br><br>講義１８時間、演習１２時間 | |
| | | 聴覚検査学 | 聴覚検査のおもな目的は聴覚障害の性質・程度の把握と難聴疾患の鑑別診断にある。各種聴覚機能検査法について、目的、原理、結果の判定法について体系的に学修し、その直後に実習を行う。聴覚障害の評価・診断に必要な聴覚検査法を目的、症例に応じて選択、実施でき、結果の判定が行えるようになることを目標とする。特に重要な純音聴力検査、語音聴力検査、乳幼児聴力検査については、少人数でのグループ実習により実技の習熟を図る。<br><br>各回の内容と授業方法<br>1.オージオメータの構造とオージオグラム (講義：松平)<br>2.純音気導・骨導聴力検査法 (講義：松平)<br>3.マスキング法 (講義：松平)<br>4.気導聴力検査の実施① (演習：松平)<br>5.気導聴力検査の実施② (演習：松平)<br>6.骨導聴力検査の実施① (演習：松平)<br>7.骨導聴力検査の実施② (演習：松平)<br>8.シミュレータを用いたマスキング演習① (演習：松平)<br>9.シミュレータを用いたマスキング演習② (演習：松平)<br>10.聴力検査の実技評価 (演習：松平)<br>11.語音了解閾値検査と語音弁別検査 (講義：松平)<br>12.語音検査のマスキング、語音了解度指数、歪語音、両耳聴検査 (講義：松平)<br>13.語音聴力検査の実施① (演習：松平)<br>14.語音聴力検査の実施② (演習：松平)<br>15.リクルートメントとその検査法 (講義：松平)<br>16.インピーダンス・オージオメトリー (講義：松平)<br>17.聴性誘発反応聴力検査 (講義：松平)<br>18.耳音響放射の検査と機能性難聴の検 (講義：松平)<br>19.閾値上聴力検査の実施① (演習：松平)<br>20.閾値上聴力検査の実施② (演習：松平)<br>21.インピーダンス・オージオメトリーの実施① (演習：松平)<br>22.インピーダンス・オージオメトリーの実施② (演習：松平)<br>23.聴性誘発反応聴力検査の実施① (演習：松平)<br>24.聴性誘発反応聴力検査の実施② (演習：松平)<br>25.耳音響放射の検査の実施 (演習：松平)<br>26.機能性難聴の検査（Stenger法）の実施 (演習：松平)<br>27.聴覚障害の各種基準と医事法、選別聴力検査 (講義：松平)<br>28.耳鳴とその検査・カウンセリング (講義：松平)<br>29.鼓膜の観察 (演習：松平)<br>30.各種聴覚検査による難聴の診断 (講義：松平)<br><br>講義２４時間、演習３６時間 | 講義　２４時間<br>演習　３６時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | 補聴器・人工内耳 | 聴覚のリハビリテーションは適切な補聴が前提となる。これに必要な補聴器・人工内耳の適合の基礎知識と実技を修得する。人工内耳を含めた種々の補聴機器について、その原理・構造と特性測定、フィッティング調整、適合判定、補聴補助機器の使用等について学び、実習を行う。実際の難聴症例について、補聴機器の適応の有無を判定し、患者の多様性に合わせて、種々の補聴機器のバリエーションの中から最適なものを選択して特性を測定し、基本調整を行ったうえで、適合状態を正確に評価できるようになることを目標とする。<br><br>各回の内容と授業方法<br>1.補聴器の種類と構造 (講義：松平)<br>2.補聴器の音響特性とその測定 (講義：松平)<br>3.挿入利得，カップリングシステム (講義：松平)<br>4.補聴器の特性検査の実施① (演習：松平)<br>5.補聴器の特性検査の実施② (演習：松平)<br>6.補聴器の特性検査の実施③ (演習：松平)<br>7.イヤモールド用耳型の採取 (講義：松平)<br>8.イヤモールド用耳型の採取の実施 (演習：松平)<br>9.成人の補聴器フィッティング (講義：松平)<br>10.いろいろな特徴を備えた補聴器 (講義：松平)<br>11.補聴器の調整① (演習：松平)<br>12.補聴器の調整② (演習：松平)<br>13.小児の補聴器フィッティング (講義：松平)<br>14.補聴器装用効果の評価と管理 (講義：松平)<br>15.デジタル補聴器の調整 (演習：松平)<br>16.装用効果の評価① 音場較正１ (講義：松平)<br>17.装用効果の評価② 音場較正２ (演習：松平)<br>18.装用効果の評価③ 音場検査１ (演習：松平)<br>19.装用効果の評価④ 音場検査２ (演習：松平)<br>20.装用効果の評価⑤ 実耳測定 (演習：松平)<br>21.装用効果の評価⑥ 主観評価 (演習：松平)<br>22.FM補聴器のフィッティングと装用評価 (講義：松平)<br>23.FM補聴器のフィッティングと装用評価の実施 (演習：松平)<br>24.補聴補助機器 (講義：松平)<br>25.補聴補助機器の使用 (演習：松平)<br>26.人工内耳① 原理と特徴 (講義：松平)<br>27.人工内耳② 適応と評価 (講義：松平)<br>28.人工内耳③ 最近の進歩 (講義：松平)<br>29.人工内耳④ 症例の検討 (演習：松平)<br>30.人工中耳、骨導埋め込み補聴器、聴性脳幹インプラント (講義：松平)<br><br>講義３０時間、演習３０時間 | 講義 ３０時間<br>演習 ３０時間 |
| | | 小児聴覚障害学 | （概要）小児期に生じる聴覚障害は、その障害の発症時期によって言葉の獲得に大きな影響を与える。さらに言葉だけでなく、人と人とのコミュニケーションの基盤となる対人関係や社会性などにも大きく影響するといわれている。本講義では、小児期特有の問題（聴覚障害の原因、難聴の程度による問題、聴覚障害を生じた年齢による影響、小児期に生じやすい耳鼻咽喉科の疾患など）を概説し、補聴器や人工内耳などの補装具の成り立ちや使用法、またそれらを用いての言語習得法についても提示する。演習では、発達によって異なる聴力検査法を学生に提示し、実施法を修得させる。<br><br>（オムニバス方式／全３０回）<br><br>（２ 能登谷 晶子／１５回）<br>聴覚障害に伴うコミュニケーションの問題について、聴覚障害発症の時期による違いとそれによって生じる種々の問題について講義する。また、実際に聞こえが悪い体験を通じて、聴覚障がい児がかかえる問題についての演習も並行して行う。さらに、補聴器や人工内耳による補聴を行ったうえでの聴覚のリハビリテーション指導法についても学修する。また、聴覚障害児との関わり方についても修得し、情報保障についても演習を通じて学ぶ。<br><br>（６ 橋本 かほる／１５回）<br>小児の発達や聴覚障害児の発見時期によって用いる聴力検査法の違いなどを講義する。あわせて、乳幼児期にある聴覚障がい児の聴力検査法を演習を交えて学生に修得させる。さらに、補聴器や人工内耳の適合と使用にあたっての小児特有の留意点についても学修する。また、手話や指文字等のコミュニケーション手段の位置づけ、聾文化の問題などについても学ぶ。演習は、小グループでの学生相互の実習とし、検査と観察等の臨床スキルの確認を行う。 | オムニバス方式<br><br>講義 ３０時間<br>演習 ３０時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1.小児期特有のきこえの問題と新生児スクリーニング（講義：能登谷）<br>2.小児期特有の聴覚の問題と発症年齢（講義：能登谷）<br>3.小児聴覚障害のコミュニケーション手段（講義：能登谷）<br>4.乳幼児期の聴力検査：BOAとCOR（講義：能登谷）<br>5.乳幼児期の聴力検査：BOAの実施（演習：橋本）<br>6.乳幼児期の聴力検査：CORの実施（演習：橋本）<br>7.幼児期の聴力検査：peep show testと数遊び（講義：能登谷）<br>8.幼児期の聴力検査：peep show testの実施（演習：橋本）<br>9.幼児期の聴力検査：数遊びの実施（演習：橋本）<br>10.小児聴覚障害における補装具と福祉制度（講義：橋本）<br>11.幼児期に使用する補聴器のしくみと調整法（講義：能登谷）<br>12.補聴器装用時の調整の実施（演習：橋本）<br>13.人工内耳のしくみとマッピング法（講義：能登谷）<br>14.人工内耳のマッピングの実施（演習：橋本）<br>15.人工内耳装用時の聞こえとことばの評価の実施（演習：能登谷）<br>16.補装具を装用した時の聴力検査（講義：橋本）<br>17.補装具を装用した時の聴力検査の実施（演習：橋本）<br>18.乳幼児期から幼児期の発達検査の実施（演習：能登谷）<br>19.幼児後半から就学以降の言語検査（WISC）（講義：橋本）<br>20.幼児後半から就学以降の言語検査（WISC）の実施（演習：橋本）<br>21.幼児後半から就学以降の言語検査（PVT-R，読書力検査）（講義：橋本）<br>22.幼児後半から就学以降の言語検査（PVT-R）の実施（演習：橋本）<br>23.幼児後半から就学以降の言語検査（読書力検査）の実施（演習：橋本）<br>24.聴覚障害例の検査評価と軽度例の指導立案（講義：能登谷）<br>25.軽度例の指導立案の実施（演習：能登谷）<br>26.聴覚障害例の検査評価と中度例の指導立案（講義：能登谷）<br>27.中度例の指導立案の実施（演習：能登谷）<br>28.聴覚障害例の検査評価と重度例の指導立案（講義：能登谷）<br>29.重度例の指導立案の実施（演習：橋本）<br>30.聴覚障害者の長期経過観察（講義：能登谷）<br><br>講義３０時間、演習３０時間 | |
| | | 成人聴覚障害学 | （概要）成人の聴覚障害では先天性聴覚障害、中途失聴の場合、老人性難聴、盲聾、知的障害と難聴などの重複障害について学ぶ。先天性聴覚障害では、手話、指文字、口話などのコミュニケーション手段による違いを理解する。中途失聴の場合には、失聴した年齢による問題の差とその対応についても、概説する。盲聾においては、障害発生の順序により対応が異なることについて学ぶ。また、補装具として補聴器や人工内耳の装用指導などを、演習も含めて講義する。<br><br>（オムニバス方式／全１５回）<br><br>（１　松平　登志正／２回）<br>老人性難聴、騒音難聴など疾患別の聴覚障害の特徴について講義し、演習を通して、その病態が患者の日常生活にどのような障害をきたし、社会生活にどのような制約を及ぼすかを考えさせ理解させる。さらに、治療で回復しない聴覚障害に対して、「補聴器・人工内耳」で学んだことを基盤として、患者の難聴の種類と程度、聴取場面に応じて、最適な補聴器や人工内耳を選択し調整する方法について学ぶ一方、その限界について把握することの必要性も理解させる。<br><br>（２　能登谷　晶子／８回）<br>先天性聴覚障害や中途失聴に伴うコミュニケーションや心理的な問題を講義する。演習では、学生に、（耳栓をしたり、雑音を聴取することにより）聴覚障害の実体験をさせて、コミュニケーションの困難や心理的な変化について学修させる。成人の場合には心理的な問題をはらむことが多いので、それを見極める評価法についても概説し、患者への支援や援助をする場合の補助となることを学ぶ。また、補聴器や人工内耳装用後の指導法についても演習を通して学ぶ。<br><br>（６　橋本　かほる／５回）<br>先天性聴覚障害で成人に達した人たちの問題や盲聾、知的障害と難聴などの合併例の実態を講義する。重複障害例のコミュニケーションの問題を演習を通して学ぶ。学生に目隠しをして雑音を聴取させることにより、盲聾と盲聾者とのコミュニケーションを体験させる演習も行う。重複障害の種類の違いや経過の違いによって、コミュニケーション手段の選択が異なることについても理解を図る。代償代替コミュニケーションの原則と方法について、基本的な情報を提供する。 | オムニバス方式<br><br>講義　１８時間<br>演習　１２時間 |

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 講義等の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 専門科目 | 展開科目 | | 各回の内容と授業方法<br>1. 疾患別にみた成人聴覚障害の特徴　（講義：松平）<br>2. 成人聴覚障害の症例　（演習：松平）<br>3. 先天性聴覚障害者のコミュニケーションの種類　（講義：能登谷）<br>4. 中途失聴者のコミュニケーションと心理　（講義：能登谷）<br>5. 難聴擬似体験　（演習：能登谷）<br>6. 難聴擬似体験の考察　（演習：能登谷）<br>7. 心理面の評価法　（講義：能登谷）<br>8. コミュニケーションの支援と援助①　（講義：能登谷）<br>9. コミュニケーションの支援と援助②　（講義：能登谷）<br>10. 補聴器・人工内耳装用後の指導　（演習：能登谷）<br>11. 成人の先天性聴覚障害者のリハビリテーション　（講義：橋本）<br>12. 重複障害者のコミュニケーション指導　（講義：橋本）<br>13. 盲聾の擬似体験　（演習：橋本）<br>14. 盲聾や知的障害の合併例　（演習：橋本）<br>15. 視覚・聴覚二重障害のリハビリテーション　（講義：橋本）<br><br>講義１８時間、演習１２時間 | |

## 3. 臨床実習の日程

臨床実習は、以下の期間で実施する：
２年次　臨床実習Ⅰ（見学実習）１週間
３年次　臨床実習Ⅱ（評価実習）４週間
４年次　臨床実習Ⅲ（総合実習）８週間

本年度の実習日程は下記の通りである：
臨床実習Ⅰ　平成○○年　○○月○○日～○○月○○日
臨床実習Ⅱ　平成○○年　○○月○○日～○○月○○日
臨床実習Ⅲ　平成○○年　○○月○○日～○○月○○日

## 4. 臨床実習の目標

臨床実習の目標は、臨床の場で対象者やスタッフと良好な関係を築き、チーム医療を理解し、意欲的に学ぶ姿勢を示した上で、以下の臨床スキルを習得することである：

１）観察した事象を適切な表現と用語を用いて記録することができる（観察）
２）対象者（患者）の病歴・障害歴をまとめて報告することができる（病歴）
３）観察（検査を含む）での所見を記録して適切に解釈できる（検査）
４）対象者の現状を整理して説明することができる（評価）
５）対象者に訓練（課題）を適切に実行することができる（訓練）
６）目標に適った課題設定を含む治療の計画を作ることができる（治療）

臨床実習Ⅰは１）～２)、臨床実習Ⅱは１）～４)、臨床実習Ⅲは１）～６）を自立的にできるレベルを目標とする。ただし、６）については臨床実習指導者のアドバイス受けて課題を設定して治療を計画できればよい。

臨床スキルの習得と臨床を支える知識の拡充のために、学生に次の課題を与える：
○臨床経験メモ（資料 B)：　日々の経験を記録し、実習期間での経験を整理する。
○観察ノート（資料 C)：　観察したことを適切に記録し、事実と解釈を分ける。
○自主学習帳（資料 D)：　理解できていない用語や状態を実習時間外に調べる。
他には、患者の病歴と障がい歴の報告（書)、評価の報告（書)、訓練・治療計画など、臨床実習の段階により、課題がある。

| 科目名 | 慢性期療養支援演習 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|
| 科目名（英語表記） | Chronic Health Care Nursing: Skills Laboratory | | |
| 担当者名 | 前川　直美、外山　稔、堀井　たづ子 | 旧科目名称 | |
| 授業概要 | 慢性期看護の基盤となる概念を理解するとともに、慢性疾患に伴う健康問題により、自己管理や生活の再構築が必要な患者やその家族に対する援助について学修する。具体的には、自身が病気を受け入れ、症状マネジメントやセルフケア能力を獲得できるためのケア方法について学修する。演習はチーム基盤型学習により、予習-確認-グループによる課題の取組の形式で、慢性期にある患者・家族に対して看護過程を展開する。演習授業として、糖尿病患者の教育指導の一環として、血糖測定やインスリン注射の指導について実施する。 | | |
| 教材（教科書） | 『新体系 看護学全書 経過別成人看護学③ 慢性期看護』（メヂカルフレンド社） 黒江ゆり子 2,800円<br>講義レジュメ・資料を配布する。 | | |
| 教材（参考資料） | 『ナーシング・グラフィカ成人看護学③セルフマネジメント』（メディカ出版） 安酸史子 3,000円<br>『写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス』（インターメディカ） 吉田みつ子 本庄恵子 4,800円<br>疾病病態学と看護Ⅰ（成人慢性期疾患）で使用した『系統看護学講座 成人看護学①②③④⑤⑥⑧』（医学書院） | | |
| 教育方法 | レジュメ・資料に沿って、パワーポイントを活用しながら講義法で行う。看護技術についてはグループ演習とする。看護援助がイメージしやすいように、適宜DVD教材を視聴する。 | | |
| 評価方法 | 1．定期試験（70%）<br>2．課題レポート、小テストおよび演習記録の提出状況と内容（30%） | | |
| 到達目標 | 1. 慢性期・終末期にある対象と家族の特徴について説明できる。<br>2. 慢性期看護に必要な代表的理論を用いて看護を展開できる。<br>3. 慢性期にある対象の病態を理解した上で、健康問題とそれに伴う反応の特徴が説明できる。<br>4. 慢性期・終末期にある対象及び家族の心理・社会的問題を踏まえた看護が立案できる。 | | |
| 授業時間外学習 | 1．疾病病態学と看護Ⅰで学修した内容を復習しておくこと<br>2．グループディスカッションを行うため、グループワークの方法について復習しておくこと。<br>3．授業終了時に、次回の範囲を指定するので、教科書を熟読して講義に臨むこと。<br>4．前回の授業内容に関わる小テストを行うので、復習しておくこと。 | | |

受講条件・受講のルール・学習上の助言など

1．受講生の学習環境を妨げるような私語は厳禁とする。
2．グループワークでは、各自の積極性と協調性が重要になるため、活発なディスカッションを期待する。

授業スケジュール

1. 授業ガイダンス、慢性期の概念および慢性状態を引き起こす疾患や治療の特徴
2. 慢性期にある人々の特徴
3. 慢性期にある人々への看護援助
4. 慢性期看護における看護過程
5. 慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族への看護
6. 慢性閉塞性呼吸障害をもつ人と家族への看護の展開1
7. 慢性閉塞性呼吸障害をもつ人と家族への看護の展開2
8. 慢性の循環機能障害をもつ人と家族への看護
9. 慢性心不全状態にある人と家族への看護の展開1
10. 慢性心不全状態にある人と家族への看護の展開2
11. 身体の防衛機能障害をもつ人と家族への看護1
12. 身体の防衛機能障害をもつ人と家族への看護2
13. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護
14. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護の展開（肝炎・肝硬変）1
15. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護の展開（肝炎・肝硬変）2
16. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護の展開（糖尿病）1
17. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護の展開（糖尿病）2
18. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護の展開（糖尿病）3
19. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護の展開（糖尿病）4
20. 内部環境調節障害をもつ人と家族への看護
21. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護の展開（腎不全）1
22. 栄養・代謝障害をもつ人と家族への看護の展開（腎不全）2
23. 慢性の脳・神経系機能障害をもつ人と家族への看護
24. 慢性の脳・神経系機能障害をもつ人と家族への看護の展開（脳梗塞）1
25. 慢性の脳・神経系機能障害をもつ人と家族への看護の展開（脳梗塞）2
26. 慢性の脳・神経系機能障害をもつ人と家族への看護
27. 慢性の脳・神経系機能障害をもつ人と家族への看護の展開（ALS）1
28. 慢性の脳・神経系機能障害をもつ人と家族への看護の展開（ALS）2
29. 運動機能に障害をもつ人と家族への看護
30. リハビリテーションの特徴と看護

| 人間力(6つの基礎力) | ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力 | 協働力 | 適応力 | 行動力 | 課題発見力 | 論理的思考力 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 期　待 | - | ★ | - | ★★ | - | ★ |

# 教員時間割表

2018年度 春学期　　00002131 堀井　たづ子（ホリイ　タヅコ）

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | J90051001 慢性期療養支援演習 太秦キャンパス E303講義室 | | |
| 2 | | | | J90051001 慢性期療養支援演習 太秦キャンパス E303講義室 | | |
| | 昼休み | 昼休み | 昼休み | 昼休み | 昼休み | 昼休み |
| 3 | | | | J90051002 慢性期療養支援演習 太秦キャンパス E303講義室 | | |
| 4 | | | | J90051002 慢性期療養支援演習 太秦キャンパス E303講義室 | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |

# 第315回（平成30年度　第4回）大学評議会　議事録

日　時　平成30年6月13日（水）15：05～16：05
場　所　法人会議室
出席者　篠原学長、深見副学長兼バイオ環境学部長、久副学長兼健康医療学部長、
宇佐美経済経営学部長、久保人文学部長、村田教育開発センター長兼法学研究科長、
大島経営学研究科長、藤塚事務局長、加藤事務局次長＜出席9名＞
事務局：村松総務財務課長（総務担当）
欠席者　前田副学長

**《 前回大学評議会議事録の確認 》**

---------- 省　略 ----------

**《 議題 》**

1．京都学園大学図書館司書課程委員会内規の廃止について

---------- 省　略 ----------

2．京都学園大学日本語教員養成課程委員会内規の廃止について

---------- 省　略 ----------

3．京都学園大学社会教育主事養成課程委員会内規の廃止について

---------- 省　略 ----------

4．教員公募について

---------- 省　略 ----------

5．専任教員の所属変更について

篠原学長より、教育開発センター所属の以下の者について、文部科学省の教員審査にて健康医療学部看護学科教授として「適格」となったため、所属を健康医療学部看護学科に変更する旨説明され、本件については、特に異議なく承認された。

○健康医療学部看護学科　特任教授　堀井　たづ子

6．平成30年度　私立大学研究ブランディング事業への応募について

---------- 省　略 ----------

**《 協議事項 》**

1．京都学園大学学則の一部改正案について

---------- 省　略 ----------

2．総合研究所規程の制定について

---------- 省　略 ----------

3．ナガモリアクチュエータ研究所(仮称)規程の制定について

---------- 省　略 ----------

**《 報告事項 》**

1．各種委員会報告について

---------- 省　略 ----------

以　上

この写は原本と相違ありません

京都学園大学学長 篠原総一